

平成30年度

事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉
法人

大分県社会福祉協議会

目 次

| | | |
|----------------|------------|----|
| 概 要 | ・・・・・・・・・・ | 1 |
| 各部所事業報告 | | |
| 総務・企画情報部 | ・・・・・・・・・・ | 2 |
| 地域福祉部 | ・・・・・・・・・・ | 5 |
| 市民活動支援部 | ・・・・・・・・・・ | 27 |
| 福祉資金部 | ・・・・・・・・・・ | 42 |
| 施設団体支援部 | ・・・・・・・・・・ | 49 |
| 身体障害者福祉センター | ・・・・・・・・・・ | 58 |
| 社会福祉介護研修センター | ・・・・・・・・・・ | 74 |
| 福祉サービス運営適正化委員会 | ・・・・・・・・・・ | 95 |

30年度事業報告（概要）

近年における家族形態の変容や地域での支えあい意識の低下など、人間関係の希薄化を背景とした児童・高齢者への虐待、高齢者等の孤立、孤独死などの問題が山積みしているなか、住民主体による地域福祉活動を積極的に推進し、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりのための事業を重点的に取り組んだ。また平成29年度に策定した第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018」の目標達成状況の確認を行ったほか、安定した財政基盤を維持していくための第二次経営基盤強化・発展計画の作成に取り組み、地域福祉推進のための各事業を中心に主に以下の取り組みを行った。

1 地域福祉推進の強化

住民主体による地域福祉活動の推進を図るとともに、福祉サービス利用者の権利擁護や県民への良質な福祉サービスを提供するための支援強化を図り、さらに地域に密着した福祉活動の一層の強化を図るため、社会福祉協議会の基盤強化に関する研究協議を重ね、地域共生社会の実現に向けた各事業に取り組んだ。

2 生活支援事業の取り組み

福祉人材の確保並びに自立支援を目的とした貸付事業に取り組むとともに、生活福祉資金貸付制度の充実強化を図り、生活困窮者への支援を行った。併せて日常生活自立支援事業の充実を図るとともに、社協における法人後見の実施に向けた取り組み支援を行った。また、社会福祉法人の社会貢献事業の取り組み支援を行った。

3 ボランティア活動の推進

災害時に備えた日頃からのボランティアネットワークづくりと災害ボランティアセンターの人材育成の取り組みを行うとともに、ボランティアとNPO、企業等との一層の連携強化を図った。

4 フードバンク活動及び子ども食堂事業の推進

平成28年に設立した「フードバンクおおいた」は、取扱量の増加への対応として専用の食品庫を整備し、寄せられた食品を子ども食堂や児童福祉施設、生活困窮者支援窓口やくらしサポート事業実施施設に提供し、食料支援を図った。

5 指定管理施設の充実

大分県社会福祉介護研修センター及び大分県身体障害者福祉センターでは、各種事業の充実を図るとともに、福祉人材の育成及び利用者へのサービスの一層の向上に努めた。

総務・企画情報部

総務企画課

適切な法人運営を行うため、理事会等各種会議を開催したほか、労務管理を適切に行うとともに、人材育成基本方針のもと人事管理の強化に努めた。

1 県社協組織の運営

(1) 役員会等の開催

| 会議名 | 期日 | 主な議題 |
|-----------|-------|-----------------------|
| 監事監査 | 5月16日 | 平成29年度事業実施状況、決算状況 |
| 第241回理事会 | 5月30日 | 平成29年度事業報告、決算等 |
| 第166回評議員会 | 6月27日 | 平成29年度事業報告、決算等 |
| 第242回理事会 | 2月1日 | 諸規程の改正、事業執行状況報告 |
| 第243回理事会 | 3月20日 | 平成31年度事業計画案、予算案、定款変更等 |
| 第167回評議員会 | 3月28日 | 平成31年度事業計画案、予算案、定款変更等 |

(2) 市町村社協との連絡調整及び各種会議の開催・参加

①市町村社会福祉協議会事務局長会議

| | |
|-----|-------------------------------|
| 期日 | 平成30年4月27日 |
| 場所 | 大分県総合社会福祉会館 大ホール |
| 出席者 | 25名 |
| 内容 | ・県行政説明 ・平成30年度県社協重点事業、事業計画 |

②全国社会福祉協議会・九州社会福祉協議会連合会関係会議等

(全国関係) (九州関係)

| 会議名 | 期日 | 場所 |
|-------------------|----------|--------|
| 全国社会福祉協議会評議員会 | 11月21日 | 全社協 |
| | 3月19日 | 全社協 |
| 都道府県社協常務理事・局長セミナー | 7月19～20日 | ロフオス湘南 |
| 全社協常務理事・事務局長会議 | 1月25日 | 全社協 |
| 九社連総務部課長・職員研究会議 | 10月2日 | 熊本県 |
| 九社連事務局長会議 (前期) | 9月13日 | 鹿児島県 |
| 〃 (後期) | 1月31日 | 福岡県 |

(3) 職員の資質向上等への取り組み

| | | |
|---------------------------|---------------|-----|
| ①社会福祉施設等新任職員研修会 | 前期（4月19日～20日） | 8名 |
| | 後期（5月17日～18日） | 10名 |
| ②社会福祉施設等新任介護担当職員研修 | （4月26日） | 2名 |
| ③ホスピタリティを表現する接遇マナー研修 | （7月11日） | 3名 |
| ④社会福祉施設事務担当職員研修会 | （8月31日） | 1名 |
| ⑤社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座初級 | | 1名 |
| ⑥社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座中級 | | 2名 |
| ⑦防災士養成研修 | | 2名 |
| ⑧職場内人権研修 | （3月19日・3月22日） | 60名 |

(4) 社会福祉関係従事者等の顕彰

10月18日、別府市ビーコンプラザで開催した「第13回大分県地域福祉推進大会」の席上において、113名・27団体の表彰を行った。

①県社協会長表彰

| | |
|----------------|---------|
| ・民生委員児童委員特別功労者 | 23名 |
| ・社会福祉事業関係功労者 | 63名 |
| ・自力更生者 | 4名 |
| ・ボランティア功労者・団体 | 12名・8団体 |
| ・善意銀行寄付者・団体 | 1団体 |

②県社協会長感謝状

| | |
|---------------|----------|
| ・ボランティア功労者・団体 | 11名・12団体 |
| ・善意銀行寄付者・団体 | 4名・7団体 |
| ・事業協力者 | 1団体 |

(5) 県社協職員人材育成基本方針による研修の実施

地域福祉の推進、特に地域の支えあい「共助」が求められている中、県民の役に立つ人材を戦略的に創出、育成し、意識改革を行い、組織風土を変革し、新たな地域コミュニティの創造に役立つ人材育成を目的にした研修を実施した。

(6) 指定管理施設の管理・運営

社会福祉介護研修センター及び身体障害者福祉センターの指定管理者として、両施設の効率的な管理・運営に努めた。

2 善意銀行の運営

指定預託金28件、一般預託金4件、合計32件の預託があった。このうち一般預託金の配分については、善意銀行配分委員会で、各福祉団体から申請のあった各種事業等に対する助成を行った。

3 総合社会福祉会館の運営

(1) 施設の利用状況

福祉関係団体をはじめ広く一般に、研修、会議、大会等の会場としての利用促進を図った。

(大分県総合社会福祉センター)

| 区 分 | 福 祉 関 係 | | 一 般 | | 計 | |
|------|--------------|--------------------|--------------|-------------------|--------------|--------------------|
| | 件数 | 利用人数 | 件数 | 利用人数 | 件数 | 利用人数 |
| 大ホール | 137 (132) | 8,358 (9,136) | 53 (43) | 7,727 (4,845) | 190 (175) | 16,085 (13,989) |
| 中研修室 | 60 (70) | 2,418 (2,490) | 52 (45) | 2,550 (1,855) | 112 (115) | 4,968 (4,345) |
| 小研修室 | 203 (203) | 2,657 (2,363) | 56 (77) | 1,119 (1,724) | 259 (280) | 3,776 (4,087) |
| 合 計 | 400 (405) | 13,433 (13,989) | 161 (165) | 11,396 (8,424) | 561 (570) | 24,829 (22,413) |

※ () 29年度

4 民間社会福祉施設従事職員の福利厚生

(1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実績

| | 29年度 | 30年度 |
|------|--------------|--------------|
| 加入者数 | 9,422人 | 9,365人 |
| 給付人数 | 1,131人 | 1,036人 |
| 給付金額 | 840,507,895円 | 700,247,074円 |

(2) 民間社会福祉施設互助共励事業の実績

| 給付金種類 | 29年度 | | 30年度 | |
|-------|-------|------------|-------|------------|
| | 人数(人) | 金額(円) | 人数(人) | 金額(円) |
| 弔慰金 | 7 | 170,000 | 8 | 390,000 |
| 傷病手当金 | 16 | 260,000 | 8 | 120,000 |
| 結婚祝金 | 215 | 2,910,000 | 190 | 2,820,000 |
| 出産祝金 | 271 | 4,080,000 | 269 | 3,705,000 |
| 入学祝金 | 251 | 5,020,000 | 230 | 4,620,000 |
| 脱退一時金 | 200 | 20,559,964 | 113 | 11,652,969 |
| 災害見舞金 | 20 | 510,000 | 4 | 110,000 |
| 合 計 | 980 | 33,509,964 | 822 | 23,417,969 |

地域福祉部

地域福祉課

社会福祉法人制度改革や地域共生社会の醸成に伴い、地域に密着した福祉活動の一層の強化を図るため、社会福祉協議会の基盤強化に関する研究協議や役職員の資質向上のための研修会及び地域住民や関係団体等を対象とした各種事業を実施した。

また、生活困窮者自立支援制度に係る就労支援事業の円滑な運営を目的に就労支援協議会を運営し、県内の多様な機関・団体で課題解決に向けた協議や情報共有による連携強化を行った。

さらに、支援が必要な子どもたちの課題を早期に発見し、早期支援に繋げることを目的の一つとした“子どもの居場所づくり”を推進するため、各市町村における子ども食堂等の設置を積極的に支援するとともに、運営者に対する支援を行った。

1 市町村社会福祉協議会の運営や活動強化に向けた支援

(1) 地域福祉推進委員会の運営

社協が取り組む地域福祉の推進と社協基盤の確立強化を図るため、当面する課題への解決策を明らかにすべく、調査研究や検討会等を開催した。

①本委員会の開催

第1回 平成30年7月4日（木）

1. 平成29年度事業報告について
2. 平成30年度各研究部会事業計画について

第2回 平成31年3月25日（月）

1. 平成30年度各部会の取り組み状況について
2. 平成31年度（令和元年度）委員会事業計画（案）について

②部会の開催

ア 法人経営・制度政策研究部会

7月23日(木)、1月11日（金）3月13日(水)

イ 地域・在宅福祉推進事業等研究部会

7月9日(月)、3月15日(金)

ウ 地域防災研究部会

1月30日(水)

③作業部会・情報交換会の開催

ア 我が事・丸ごと地域共生社会の推進に向けた研究作業部会

5月8日(火)、9月21日(金)、3月18日（月）

イ 地域防災研究作業部会

1月30日(水)

④資料提供

全社協など中央の情報等を随時メール配信した。

(2) 役職員の資質向上を目的とした会議・研修・学習会の開催

| 会議・研修名 | 期 日 | 会場 | 内 容 | 参加者 |
|-------------------------|-----------------------------|-------------|---|------|
| 市町村社協新任職員研修会 | 5月11日 (金) | 県総合社会福祉会館 | 1) 講義Ⅰ「社協職員としての心構えと接遇」 2) 講義Ⅱ「社会福祉協議会の使命、活動に必要な視点」 | 48名 |
| 地域福祉課長・係長研修会 | 6月1日 (金) | 県総合社会福祉会館 | 1) 講義・演習「行政における予算編成の基本と市町村社協の連携について～これだけ知っておけば間違いなし！行政予算の基本編～」大分県福祉保健部 | 41名 |
| | 10月22日 (月) | 県総合社会福祉会館 | 1) 講義・演習「予算の取り方教えますー行政予算の応用編ー」大分県福祉保健部 | 25名 |
| 社協常務理事・事務局長研究協議会 | 2月12日 (月) ～13日 (火) | 別府市ホテルサンバリー | 1) 講義・演習「職場の意識改革、職員のモチベーション向上に向けた取り組み～法人の経営改善に向けた組織内における働きかけ～」エデュテーター・パートナーズ 2) 研究協議（分散会） 事前に提出された議題により研究協議や情報交換を実施 | 29名 |
| 我が事・丸ごと地域共生社会推進会議 | 11月2日 (金) | 県総合社会福祉会館 | “地域共生社会推進に向けた計画(ビジョン)策定の重要性” 1) 行政説明「地域共生社会の推進に向けた国の動向」厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 2) 取組報告「地域共生社会に資する県内自治体の取り組み報告」①地域福祉計画の策定とその具現化に向けて： 中津市社会福祉課主幹、②地域福祉活動計画の策定とその具現化に向けて：由布市社会福祉協議会事務局長 | 84名 |
| | 2月22日 (月) | 県総合社会福祉会館 | 1) 「地域共生社会の推進」厚生労働省 2) 各市町村社協からの発表 3) 総括 厚生労働省 | 122名 |
| 我が事・丸ごと地域共生社会推進市町村職員研修会 | 11月2日 (金) | 県総合社会福祉会館 | 講義1「地域共生社会に関する概念の理解」厚生労働省 講義2「地域共生社会に資する実践的な取組例」中津市社会福祉協議会地域福祉課長 演習「地域共生社会の推進に向けた実践」コーディネーター：大分県地域福祉推進委員会地域共生社会に関する研究作業部会員 | 46名 |
| 我が事・丸ごと地域共生社会推進人材養成研修会 | 7月20日 (金) | 県総合社会福祉会館 | 第1クール（共通） 国の動向 厚生労働省、大分県の動向 大分県福祉保健企画課、講義・ワーク「包括化推進員・地域力強化推進員の役割と効果的な動きについて考える」研究作業部会員、大分県社協 | 76名 |

| | | | |
|---------------|-------------------|--|-----|
| 8月9日 (木) | 県総合 社会福 社会館 | 第2クール（地域力強化コース①） 1) 講義・ワーク「地域福祉の動向・地域づくりの手法」 関西学院大学人間福学部 | 33名 |
| 8月24日 (金) | 県総合 社会福 社会館 | 第2クール（地域力強化コース②） 1) 講義・ワーク「地域づくりの実践について」 全国コミュニティーライフサポートセンター理事長 ご近所福祉クリエイター | 33名 |
| 8月29日 (水) | 県総合 社会福 社会館 | 第2クール（相談支援包括化コース①） 講義「相談支援包括化支援員に求められるもの」 大分県社会福祉協議会 講義「相談支援に関わる各制度・施策」 大分県福祉保健企画課 地域福祉推進監 大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 大分県こども家庭支援課 育成支援班・家庭支援班 | 39名 |
| 8月30日 (木) | 県総合 社会福 社会館 | 第2クール（相談支援包括化コース②） 講義「相談支援包括化の必要性の理解と体験」 同志社大学 社会学部教授 報告「相談支援包括化支援員の実践」 藤沢市地域包括ケア推進班室長補佐 講義&ワーク「自分のまち包括的支援体制の構築」 | 37名 |
| | | 第3クール（ブロック別研修・内容共通） 講義・演習「地域共生社会のビジョンと方向性について」 コーディネーター 研究作業部会員 | |
| 11月7日 (木) | 県福祉 会館 | 大分会場 対象：大分市・由布市 | 27名 |
| 11月7日 (木) | 市福祉 会館 | 竹田会場 対象：竹田市・豊後大野市 | 40名 |
| 11月26日 (月) | メルサン ホール | 玖珠会場 対象：玖珠町・九重町 | 8名 |
| 11月27日 (火) | 南部振 興局 | 佐伯会場 対象：佐伯市・津久見市・臼杵市 | 21名 |
| 12月6日 (木) | 県東部 振興局 | 国東会場 対象：国東市・豊後高田市・姫島村 | 11名 |
| 12月12日 (水) | 町福祉 センター | 日出会場 対象：別府市・杵築市・日出町 | 26名 |
| 12月14日 (金) | 市教育 センター | 中津会場 対象：中津市・日田市・宇佐市 | 15名 |
| 1月18日 (金) | 県総合 社会福 社会館 | 第4クール準備会 説明：第4クールの概要・ねらい 作業部会 市町村別役割分担、発表内容検討 | 45名 |

| | | | | |
|---|-------------------------------|-----------------|---|----------------|
| | 2月22日 (月) | | 第4クール(共通・会議兼ねる) 厚生労働省:「地域共生社会の推進について」 ①導入(趣旨・進め方等説明):事務局 ②各市町村からの発表:18市町村×7~8分 厚生労働省:発表へのコメント、県外事例、次年度に向けた方針等 | 122 名 |
| 平成30年 豪雨災害 への職員 派遣 | 7月12日 (木)~ 9月23日 (日) | 広島県 坂町 | ・災害ボランティアセンターの運営支援 | 延べ 164 名 |
| 避難所運 営訓練へ の参加によ る避難所支 援のあり方 実証 | 12月10日 (日) | 別府市 亀川地 区 | 避難訓練への参加(社協としての避難所支援のあり方の 検証) | 15名 |
| | 3月17日 (日) | 別府市 境川地 区 | 避難訓練への参加(社協としての避難所支援のあり方の 検証) | 4名 |

(3) 市町村社協学習支援事業の実施

市町村社会福祉協議会職員等の資質向上並びに組織力の強化を図るため、市町村社協が希望する学習内容に対応し、講師及び職員の派遣を行った。

実施回数 年18回

(4) 社協職員連絡協議会の運営支援

社協職員の資質向上と情報交換を目的に組織された「大分県市町村社協職員連絡協議会」の運営支援を行った。

①交流・研鑽事業の支援

ア 平成30年度九州ブロック地域福祉研究会議への参加促進・助成

期 日 平成30年9月6日(木)~7日(金)

会 場 福岡県ヒルトン福岡シーホーク

参加者 12名

②総会の開催

期 日 平成30年7月25日(水)

(5) 生活困窮者自立支援制度への対応支援

①「自立相談支援事業等担当者連絡協議会」の運営

県内における自立相談支援事業担当者等が互いの理解と連携を深め、本事業利用者に係る自立促進の視点から、課題や情報の共有を図り円滑な相談事業の実施と本事業を通じた地域福祉の増進に資することを目的に開催した。

ア 第1回連絡協議会(新任職員研修会)

実施日 平成30年5月10日(木)

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 21名

- 内 容 1) 生活困窮者支援の基本的な考え方と自立支援の重要性
講師 大分県福祉保健部
- 2) 生活困窮者自立支援において連携すべき社会資源
～フードバンクおおいた／おおいた“くらしサポート”～
報告者 大分県社会福祉協議会
- 3) 事例から学ぶ「相談支援」及び「地域づくりに繋げるための
視点とポイント」
コーディネーター 大分大学福祉健康科学部
講師 川村岳人 氏

イ 第2回連絡協議会(テーマ：くらしサポートCSWとの連携・事例検討)
《県南会場》

- 実施日 平成30年9月13日(木)
場 所 佐伯市三余館 大会議室
参加者 26名
内 容 「事例検討～おおいた“くらしサポート”との連携～」
コーディネーター 大分大学福祉健康科学部
教授 衣笠一茂 氏
事例報告者 特別養護老人ホーム玉光苑 生活相談員

《県北会場》

- 実施日 平成30年10月4日(木)
場 所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
参加者 24名
内 容 「事例検討～おおいた“くらしサポート”との連携～」
コーディネーター：大分大学福祉健康科学部教授

ウ 第3回連絡協議会(生活困窮者支援を通じた地域づくり)
～自立相談支援事業等担当職員スキルアップ研修会～

- 実施日 平成31年2月26日(火)
場 所 大分県医師会館
参加者 23名
内 容 プログラム① 実践報告「就労支援に関するモデル的取組み」
報告者：中津市社会福祉協議会 地域福祉課
自立相談支援機関 相談支援員
大分県中小企業家同友会 中津支部
- プログラム② 演習
実践報告を踏まえた「就労支援の推進について考える」ワーク
アドバイザー：社会福祉法人生活クラブ風の村
生困・就労支援課長 川上 葉子 氏
- プログラム③ 講義
「相談者を就労につなげる見立て力について」
講師：特定非営利活動法人志塾フリースクール大分
理事 多々良友美 氏
- プログラム④ 演習
「相談者の分析と支援方策の検討」に関するワーク
アドバイザー：社会福祉法人生活クラブ風の村
生困・就労支援課長 川上葉子 氏

②「大分県生活困窮者就労支援協議会」の開催

関係機関が一堂に会し、生活困窮者自立支援制度に係る就労に関わる課題について協議・検討することにより、就労準備支援や就労訓練等の普及及び円滑な事業実施と、本事業を通じた地域福祉の増進を目的に開催した。

ア 広報啓発用チラシ(前年度作成)の配付《5,000枚発行》

各市町村社会福祉協議会及び各市町村自立相談支援機関他関係機関及び各種セミナー、研修会にて配付

イ 中小企業家同友会支部例会にて制度説明等

各支部例会を訪問し、制度説明等を実施(全6回)

ウ ダイバーシティ推進セミナーの開催

実施日 平成30年7月13日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館 4F 大ホール

参加者 75名

内 容 生活困窮者等多様な人材登用の推進による企業発展の可能性

1)「生活困窮者自立支援制度の概要、就労支援事業の取組みと今後の可能性」

講師 厚生労働省社会・援護局 生活困窮者自立支援室

2) シンポジウム

実践事例や現場の声を聞きイメージを作るとともに先進事例をベースに本県の目指す姿を探る

エ 中小企業家同友会との協働による同友会会員企業へのアンケート調査

実施期間 平成30年10月

配付企業 中小企業家同友会会員企業(全480件)

回 収 62社(約13%)

オ 中小企業家同友会との協働による企業における就労体験モデル事業

実施期間 2018年8月～12月

協力企業 4社

実習体験 3名

協 力 大分県中小企業家同友会中津支部、中津市社協

カ 第1回大分県生活困窮者就労支援協議会(本会議)

実施日 平成31年2月7日(木)

場 所 大分県社会福祉介護研修センター 3階302研修室

参加者 大分労働局、商工会連合会、JA大分中央会、コープおおいた、ワーカーズコープ、おおいた地域若者サポートステーション等

内 容 平成30年度取組み及び平成31年度取組み(案)について

(6) 善意銀行を通じた社協への物品等の配分

善意銀行をとおして寄贈の申し出があった介護用ベッド、車いす、巡回車両について、以下のとおり社協への配分を行った。

| 寄 贈 者 | 品 目 | 配 分 先 社 協 |
|---------------------|-------|-------------|
| 日産プリンス大分販売株式会社・労働組合 | 介護ベッド | 中津市、臼杵市、九重町 |
| 大分県生命保険協会 | 巡回車両 | 竹田市、九重町 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 車いす | 大分市、由布市、日出町 |
| 大分教区仏教婦人会連盟 | 車いす | 大分市、中津市、国東市 |

(7) 市町村社協事業・行事への支援

市町村社協主催の社会福祉大会等への出席

大分市、別府市、佐伯市、臼杵市、竹田市、杵築市、由布市

(8) 各種調査活動等

①市町村社協の現況調査作成

① 市町村社会福祉協議会役員名簿の作成

2 地域福祉活動の推進支援

誰もが安心して心豊かに生活できる地域社会を創出するため、住民が地域で互いに支えあい・助けあう小地域ネットワークを普及推進し、地域の福祉力を高めるための人材育成及び技術支援を行った。

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

①地域づくりを目的とした調査とその分析及び結果の活用

第1回（三役打合わせ）

実施日 平成30年4月5日（木）

場 所 大分県別府市 青山町公民館

参加者 自治会副会長、文化部長、大分県、県社協 等 5名

内 容 第1回「あおやま広場」開催に向けた打ち合わせ

第2回（第2回実行委員会）

実施日 平成30年4月7日（土）

場 所 大分県別府市 青山町公民館

参加者 自治会長等実行委員、大分大学、院生、別府市、別府市社協、大分県、県社協 等33名

内 容 実施レクの検討（ブレインストーミング）等

第3回（班長会※運営委員会）

実施日 平成30年4月12日（木）

場 所 大分県別府市 青山町公民館

参加者 自治会長等役員、大分県、県社協 約25名

内 容 新班長への事業説明

第4回（総会）

実施日 平成30年4月22日（日）

場 所 大分県別府市 青山町公民館

参加者 自治会長・理事・班長、大分大学、別府市、大分県、県社協 約50名

内 容 講演、レク班、調理班それぞれで取組内容の検討

第5回（第3回実行委員会）

実施日 平成30年4月26日（木）

場 所 大分県別府市 青山町公民館

参加者 自治会長等実行委員、大分大学、院生、別府市、別府市社協、大分県、県社協 24名

内 容 レク内容の検討・決定、調理に関する内容、準備物の協議

第6回（あおやま広場のプレ開催）

実施日 平成30年5月5日（土）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 自治会長等実行委員、大分大学、院生、別府市、別府市社協、
大分県、県社協
内 容 地域食堂の一日の流れの予行練習。

第7回（第1回あおやま広場の開催）

実施日 平成30年5月20日（日）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 青山町住民49名（内子ども21名）、他実行委員等 計85名
内 容 地域食堂(ちらし寿司等)およびレクリエーション

第8回（理事会）

実施日 平成30年6月7日（木）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 自治会長他理事、民生委員、福祉協力員、大分県、県社協 14名
内 容 第1回あおやま広場の振返り。

第9回（実行委員会）

実施日 平成30年6月19日（火）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 自治会長他実行委員、大分大学、大分県、県社協 等 約25名
内 容 第1回あおやま広場の振返り（KJ法による）

第10回（班長会※運営委員会）

実施日 平成30年6月26日（火）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 自治会長他班長、大分県、県社協 等 39名
内 容 第1回あおやま広場の振返り（理事会、実行委員会報告）

第11回（理事会）

実施日 平成30年7月6日（火）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 自治会長他理事、大分県、県社協 約15名
内 容 第2回あおやま広場について

第12回（レク班協議）

実施日 平成30年7月15日（日）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 レク班長、青年部長、院生、大分県、県社協 など 6名
内 容 第2回あおやま広場のレク内容、準備物、進め方について

第13回（レク班協議）

実施日 平成30年7月29日（日）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 自治会青年部、大分大学院生、大分県、県社協 13名
内 容 第2回あおやま広場のレクの練習等

第14回（第2回あおやま広場の開催）

実施日 平成30年8月5日（日）
場 所 大分県別府市 青山町公民館
参加者 青山町住民（うち子ども12名）、実行委員等 計67名

- 内 容 地域食堂(カレーライス等)およびレクリエーション
 第15回 (第3回あおやま広場の開催)
 実施日 平成30年11月4日(日)
 場 所 大分県別府市 青山町公民館
 参加者 青山町住民40名(うち子ども16名)、実行委員等 計68名
 内 容 地域食堂(カレーライス等)およびレクリエーション
 第16回 (関係者打ち合わせ)
 実施日 平成31年3月18日(月)
 場 所 大分県別府市 青山町公民館
 参加者 自治会長等実行委員、大分大学、院生、別府市、別府市社協、
 大分県、県社協 14名
 内 容 あおやま広場の打ち合わせ

(2) 買い物弱者支援事業

移動販売など買い物弱者支援を通じて、地域の多様な団体等が連携し、高齢者等の買い物環境の改善を図るとともに、見守りやサロン等地域のコミュニティ活動を強化することなど、地域振興・生きがいを創出することを目的に実施した。

① 買い物弱者支援による地域活性化連絡会の開催

本連絡会は、買い物弱者支援ならびに、地域住民への声かけや情報収集、官民連携をもって、見守りや災害時の支援、地域振興等包括的な地域支援につなげ、地域福祉の増進に資することを目的とし、下記の構成で協議体を組織しているもの。

| | |
|------------|--|
| 関係機関 (3機関) | ・生活協同組合コープおおいた ・株式会社ローソン ・株式会社Aコープ九州 |
| 行政・社協 | ※協議案件に応じ、当該地域の行政・社協職員が参画 |
| 事務局 | ・大分県社会福祉協議会 地域福祉部 |

ア 第9回買い物弱者支援による地域活性化連絡会

(※第1～8回は平成29年度に実施し、回数を引き継いでいるもの)

- 実施日 平成30年7月19日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館2階視聴覚室
 出席者 15名
 内 容 1) 移動販売 進捗状況・課題等
 杵築市向野地区・山浦地区における移動販売について
 2) 今後の展開について
 杵築市東山香地区における移動販売ルートについて
 3) 情報共有

イ 第10回 買い物弱者支援による地域活性化連絡会

- 実施日 平成30年8月9日(木)
 場 所 杵築市市役所
 出席者 12名
 内 容 1) 移動販売 進捗状況・課題等
 ドローンを活用した物流(配送等)の実証実験について
 2) 情報共有

②情報収集、情報提供

移動販売の先進的な取り組みについて市町村社協へ情報提供し、関係者への周知を図った。

(3) 大分県地域福祉推進大会の開催

地域福祉の全県的な推進を啓発する大会として「第13回大分県地域福祉推進大会」を開催するとともに、県社協会長表彰・感謝状の授与を行った。

② 大会実行委員会

期 日 平成30年7月5日(木)
会 場 大分県総合社会福祉会館

③ 第13回大分県地域福祉推進大会

期 日 平成30年10月18日(木)
会 場 別府ビーコンプラザ
内 容 表彰式典、基調講演
参加者 約2,000名

(4) 地域協議会の支援

社会福祉法第55条の2第8項に基づき、所轄庁が地域協議会を設置することとされており、平成29年度に複数地域におけるモデル開催を通じて検証し、円滑かつ効果的な地域協議会の設置促進を目的として実施した。(対象地域：日出町、玖珠郡、別府市、中津市)

①日出町

生活困窮者自立支援制度における「支援調整会議」をベースに地域協議会を組織した。取組経過は次のとおり。

| 時期 | 内容 |
|-----------|--------------------------|
| 平成30年4月5日 | 関係者協議(前年度の検証、平成30年度の方向性) |
| 6月15日 | 地域協議会(地域課題に関する情報交換等) |

②玖珠郡

既設の「玖珠郡災害ボランティアネットワーク会議」をベースに地域協議会を組織した。取組経過は次のとおり。

| 時期 | 内容 |
|------------|----------------------|
| 平成30年6月18日 | 関係者協議(平成30年度の方向性等) |
| 6月22日 | 地域協議会(地域課題に関する情報交換等) |

③別府市

別府市は、別府市地域福祉計画策定委員会をベースに地域協議会を組織した。取組経過は次のとおり。

| 時期 | 内容 |
|------------|-------------------------|
| 平成30年4月13日 | 関係者協議(地域協議会の持ち方・方向性) |
| 11月16日 | 地域協議会(地域における公益的な取組の報告等) |

④中津市

中津市では、社会福祉法人や関係団体が集まり地域課題の解決に向けて毎月協議する既存会議体として「福助ネットワーク」が存在していたことから、当該会議体をベースに地域協議会を組織。取組経過は次のとおり。

| 時期 | 内容 |
|------------------|------------------------|
| 平成 30 年 4 月 5 日 | 関係者協議①（地域協議会の持ち方・方向性） |
| 4 月 25 日 | 関係者協議②（地域課題の整理） |
| 5 月 25 日 | 関係者協議③（スケジュール、役割分担の確認） |
| 9 月 7 日 | 関係者協議④（地域協議会打ち合わせ） |
| 10 月 29 日 | 地域協議会（地域課題に対する取り組み報告） |
| 12 月 19 日 | 関係者協議⑤（部会のテーマ決め） |
| 平成 31 年 1 月 17 日 | 関係者協議⑥（地域協議会の今後の進め方等） |

⑤ 市町村に対する情報提供

ア 大分県社会福祉協議会のホームページ及びフェイスブックにてガイドラインを公開した。

イ 「我が事・丸ごと地域共生社会推進会議」にて、県内全ての市町村及び市町村社会福祉協議会に対して、随時地域協議会の役割等を説明した。

3 民生委員・児童委員活動の推進

地域社会における住民同士の支え合いや安全・安心の確保が求められるなか、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見し、行政や専門機関へつなぎ、その他福祉サービスの利用や支援につなぐ役割を担う民生委員・児童委員に対し、県民児協事務局として各種事業支援を行った。

(1) 各種会議・委員会の開催

①正副会長会議の開催（計7回）

②理事会の開催（計3回）

③各専門員会の開催

ア 総務委員会（計1回）（正副会長会議と同時開催）

イ 調査研究委員会（計1回）

ウ 児童福祉推進委員会並びに主任児童委員連絡会合同会議（計1回）

エ 児童福祉推進委員会（計1回）

オ 広報紙編集委員会（計7回）

(2) 県内研修会等の企画・実施

①単位民生委員児童委員協議会会長研修会（参加者180名）

②民生委員・児童委員等の相談に関する研修会（参加者319名）

③子育て環境セミナー（参加者480名）

④中堅民生委員児童委員研修会（参加者118名）

⑤主任児童委員研修会（参加者245名）

⑥民生委員・児童委員ブロック別研修会（県内8ブロック、参加者2,085名）

⑦新任民生委員児童委員研修会（参加者49名）

⑧民生委員・児童委員活動保険セミナー（参加者25名）

(3) 海外視察研修の企画・実施

第15回大分県民生委員児童委員福祉の翼（渡航先：台湾、参加者75名）

(4) 市町村社協事業との連携

- ①生活困窮者自立支援制度等、各種相談援助事業への協力
- ②生活福祉資金等貸付事業への協力
長期滞納世帯などの状況把握への協力
- ③法律巡回相談の実施
実施か所：10か所、相談者数：33人（相談件数：34件）

(5) 市町村民児協組織の整備と活性化支援

- ①指定民生委員児童委員協議会育成事業
ア 宇佐市宇佐地区民生委員児童委員協議会
イ 九重町民生委員児童委員協議会
- ②「民生委員・児童委員の日」活動強化週間にあわせ、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりを進めるとともに、地域住民へ各種民生委員活動への理解と協力をお願いした。
- ③児童福祉活動強化方策推進事業
子育てサロンや子ども食堂への助成（17か所）

(6) 全国及び九州ブロック会議、研修会への参加

- ①全民児連評議員会（東京都）
- ②全民児連評議員セミナー（東京都）
- ③全国民生委員互助共励事業運営委員会（東京都）
- ④全国民生委員互助共励事業公務審査委員会（東京都）
- ⑤都道府県・指定都市市民児協事務局会議（東京都）
- ⑥全国主任児童委員研修会（西日本ブロック）（滋賀県）
- ⑦全国民生委員児童委員大会（沖縄県）
- ⑧民生委員・児童委員リーダー研修会（神奈川県）
- ⑨全国児童委員研究協議会（神奈川県）
- ⑩全国民生委員児童委員指導者研修会（神奈川県）
- ⑪九州ブロック民生委員児童委員関係事業会議（福岡県）

(7) 互助事業等の実施

- ①慶弔事業の実施
- ②退任記念品料給付事業の実施
- ③傷病見舞金給付事業の実施
- ④全国互助事業給付の実施
- ⑤民生委員・児童委員活動保険への一括加入

(8) 各種表彰の実施並びに、受賞記念品料給付事業の実施

- ①全国民生委員児童委員連合会会長表彰
- ②九州社会福祉協議会連合会会長表彰
- ③厚生労働大臣表彰
- ④全国社会福祉協議会会長表彰
- ⑤大分県社会福祉協議会会長表彰

⑥大分県民生委員児童委員協議会会長感謝状

⑦叙勲

(9) 広報活動及び情報提供等

①広報紙「大分県民児協だより『愛』」の発行（年3回）

②PR用チラシ・ポケットティッシュの作成、配布

③全民児連ホームページ（mj ASSIST）の活用促進

④各種資料の提供・配布

- ・児童委員活動の手引き43・44集
- ・人権課題への理解を深めるために2018
- ・民生委員・児童委員による相談支援活動のヒント集第3集
（子ども・子育て家庭への支援）
- ・これからの民生委員・児童委員制度や活動のあり方に関する検討委員会」最終報告
- ・民生委員制度創設100周年記念全国モニター調査 報告書（第1分冊）
- ・民生委員制度創設100周年記念全国モニター調査 報告書（第2分冊）
- ・広がれ、こども食堂の輪！～地域とのつながりづくり～
- ・民生委員制度創設100周年活動強化方策推進の手引き～「地域版活動強化方策」の作成に向けて
- ・災害に備える民生委員・児童委員に関する指針 改訂第3版
- ・地域の介護予防活動支援マニュアル

4 子ども食堂等地域の居場所づくりの推進・普及に向けた研究協議

(1) ネットワークづくりに向けた取り組み

①第1回子ども食堂連絡会

実施日 平成30年6月5日（火）

場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

目 的 大分県内で子ども食堂を開設している運営者が集い、情報共有や意見交換を行うため実施

内 容 子ども食堂の紹介ホームページについての説明
子どもの居場所づくり推進事業についての説明
意見情報交換

②第2回子ども食堂連絡会

実施日 平成30年12月21日（金）

場 所 別府ビーコンプラザ3階 小会議室31

目 的 子ども食堂ネットワークを立ち上げるにあたり、今後の進め方などについての意見交換を行うため実施

内 容 おおいた子ども食堂ネットワークについての説明
ネットワーク各グループ別意見情報交換

③おおいた子ども食堂ネットワークブロック別連絡会

ブロック別の子ども支援に関するネットワークを立ち上げるにあたり、各地域の関係機関及び団体等と意見交換や情報共有を行うため実施した。

内 容 おおいた子ども食堂ネットワークについての説明

県内子ども食堂の活動報告

グループトーク（参加者同士の自己紹介、意見交換）

対象者 子ども食堂の運営者・支援者、民生委員・児童委員（主任児童委員）、PTA連合会、自治会長会、ボランティア連絡会、母子寡婦福祉会、社会福祉協議会、教育委員会（SSW）、市町村、県 等

実施日及び会場等

| | 開催日 | 会 場 | 対象地域 | 参加者 |
|----|--------------|-------------------|--------------|------|
| 1 | 2月20日 (水) | 由布市ほのぼのプラザ | 由布市 | 20名 |
| 2 | 2月21日 (木) | 臼杵市社会福祉センター | 臼杵市 津久見市 | 26名 |
| 3 | | 佐伯市社会福祉センター | 佐伯市 | 16名 |
| 4 | 2月27日 (水) | 日田市総合保健福祉センター | 日田市 | 21名 |
| 5 | | 九重町保健福祉センター | 九重町 玖珠町 | 20名 |
| 6 | 3月 1日 (金) | 中津市教育福祉センター | 中津市 | 28名 |
| 7 | | 宇佐市勤労者総合福祉センター | 豊後高田市 宇佐市 | 14名 |
| 8 | 3月 6日 (水) | 国東市武蔵保健福祉センター | 国東市 姫島村 | 15名 |
| 9 | | 杵築市健康福祉センター | 杵築市 日出町 | 41名 |
| 10 | 3月 7日 (木) | 別府市男女共同参画センター | 別府市 | 31名 |
| 11 | | 大分県総合社会福祉会館 | 大分市 | 36名 |
| 12 | 3月 8日 (金) | 竹田市総合社会福祉センター | 竹田市 | 15名 |
| 13 | | 豊後大野市三重農村環境改善センター | 豊後大野市 | 17名 |
| | | | 計 | 302名 |

④訪問調査「みやざき子ども未来ネットワーク」

期 日 平成30年9月18日（火）

場 所 デイサービス「みやこや」（宮崎県宮崎市）

内 容 「みやざき子ども未来ネットワーク」の立ち上げ経緯や趣旨・規約、宮崎県の子ども食堂についての聞き取り

⑤九州沖縄の子ども食堂がつながる研修会への参加

期 日 平成30年10月20日（土）

場 所 阿蘇熊本空港ホテル「エミナース」（熊本県益城町）

内 容 九州各縣市代表によるリレートーク、交流会・意見交換会

- ⑥「朝日こどもの未来 九州ブロック大会」への参加
 期 日 平成30年10月21日(日)
 場 所 熊本学園大学(熊本県熊本市)
 内 容 基調講演「子どもへの支援が地域のインフラとして根付くために」
 講義「子ども食堂が、まちのプラットフォームとなるために！」
 講義「“参加の力”が創る共生社会」
- ⑦「こども食堂地域ネットワーク(中間支援団体)全体交流会」への参加
 期 日 平成31年2月11日(火)
 場 所 カタログハウス本社(東京都渋谷区)
 内 容 グループワーク「現状の共有」「今後の展望の共有」
 NPO法人全国こども食堂支援センター「むすびえ」より報告
 (全国保健所調査の途中経過等)
 各都道府県での企業・団体協働事例の紹介

(2) 研修・セミナー等の開催

- ①第1回子ども食堂運営・支援者研修会
 期 日 平成30年8月16日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 2階視聴覚室、4階大ホール
 内 容 講義「食中毒とその予防について」
 ランチ交流会
 講義「フードバンクの活動報告と取り組みについて」
 映画「はなちゃんのみそ汁」上映、原作者による講演
- ②第2回子ども食堂運営・支援者研修会 ※「ボランティアリーダー研修会」と共催で実施
 期 日 平成30年10月11日(木)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
 内 容 講演「子ども食堂について」、活動発表(すみれ学級)、グループワーク、講義「子ども食堂の支援について」
- ③第3回子ども食堂運営・支援者研修会
 期 日 平成31年3月18日(月)
 場 所 別府亀の井ホテル 2階桜の間
 内 容 講義「子どもに関する相談支援について」
 講義「『居・場・所』の3文字について、しんけん考えてみた」
- ④子育て環境セミナー ※大分県民生委員児童委員協議会と共催で実施
 期 日 平成30年12月21日(金)
 場 所 別府ビーコンプラザ 3階国際会議室
 内 容 講演「子どもの居場所は、みんなのため」
 活動事例発表(県内子ども食堂3組による、活動発表)
- ⑤子どもの居場所づくり説明
 期 日 平成30年6月27日(水)
 場 所 日本文理大学(人間力育成センター)
 内 容 講義「子どもの居場所づくり」
- ⑥卒業研究研修会 ※別府溝部学園短期大学幼児教育学科2年生
 期 日 平成30年10月12日(金)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 1階ミーティングルーム
 内 容 講義「子どもの居場所づくり」、「フードバンクおおいた」

⑦市町村社協職員研修支援事業

期 日 平成30年11月11日(日)
場 所 日田市総合保健福祉センター 3階会議室
内 容 講義「平成30年度ボランティア養成講座」

⑧子ども食堂支援者養成講座

期 日 平成30年12月16日(日)
場 所 大在公民館 研修室(大分市)
内 容 講演「居場所づくりと地域社会のつながり」

(3) 子どもの居場所(食堂)の普及啓発

①食堂見学希望者と食堂とのマッチング

ア 食堂見学希望者へ既存の食堂を紹介(7件)
イ 県民からの相談対応

②子ども食堂立ち上げ支援

大分市の開設希望者(2件)と近隣の小中学校・高校・施設へ訪問

③広報並びに情報提供

ア リーフレット「知ってる?子ども食堂」の作成 5,000部
・日田市福祉委員会(日田会場、大山会場) 400部配布
・日本文理大学 人間力育成センター 20部配布、説明
・食育推進全国大会 200部配布、説明
・大分大学 80部配布
・家庭少年友の会 20部配布、説明
・県内子ども食堂訪問時 60部配布
・民生委員児童委員ブロック別研修会 1,885部配布
・子ども食堂運営・支援者研修会 410部配布
・民児協会長会(大分市校区民児協委員) 920部配布、説明
・ボランティアブロック別研修会 600部配布
・「みやざき子ども未来ネットワーク」訪問時 20部配布、説明
・放課後児童支援員研修会 300部配布
・大在校区民協定例会 30部配布、説明
・「推進機構実施事業テーマ別会議」 15部配布
・「こども食堂地域ネットワーク全体交流会」 50部配布
・「おおいた子ども食堂ネットワークブロック別連絡会」 350部配布
イ ホームページ「レッツゴー子ども食堂」開設(平成30年8月1日)
ウ メールマガジン「おおいた子ども食堂!メルマガ」を毎月15日に配信
(平成30年10月15日より)
エ フェイスブック「おおいた子ども食堂ネットワーク」開設(平成30年12月22日)
オ 取材対応(NHK平成30年4月、グリーンコープ平成30年5月、TOS平成30年6月、家庭少年友の会平成30年7月、西日本新聞平成30年12月)

④「第13回食育推進全国大会 in おおいた」

期 日 平成30年6月23日(土)
場 所 J:COMホルトホール大分
内 容 「フードバンクおおいた(大分県社会福祉協議会)」ブースでリー

フレット配布及び「子どもの居場所づくり」について説明

⑤助成金の情報提供等

ア 「平成30年度子ども支援活動推進事業 助成金」

県内食堂のうち、希望があった食堂へ助成金を交付

→新規食堂5万円（4件）、継続食堂3万円（5件）

イ 各種助成金の情報を子ども食堂運営者へ提供

5 関係団体との連携、支援

(1) 情報提供等

① 県社協主催のセミナーや研修会についての情報提供

② 市町村社協職員学習会との連携による支援

③ メーリングによる介護保険事業等の制度情報の提供

(2) NPO、小規模福祉団体への支援

県内で活動するNPO団体や小規模福祉団体への情報提供や活動等に対しての相談に応じた。

(3) フードバンク、大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会等との連携

生活困窮者等に対する相談支援の活性化を図るため、フードバンクおおいた及びおおいたくらしサポート事業との連携した活動を進めた。

(4) 県共同募金会との連携

募金活動及び配分についての意見を提示した。

(5) 九州ブロック社会福祉協議会並びに大分県市町村社協災害時応援協定等に基づく災害への支援

災害ボランティアセンター等の運営支援のための応援職員を派遣した。

広島県坂町災害ボランティアセンター

期 日 平成30年7月12日(木)～9月23日(日)

人 数 延べ164名

6 調査・情報機能の充実（広報啓発班）

(1) 県社協ホームページ及びFacebook等による情報提供

(2) 社協事業・活動等の広報啓発

県社協広報誌「だいふく(大分社会福祉)」の発行（年3回・2,400部）

(3) 広報啓発活動

① マスコットキャラクターの活用による福祉(社会福祉協議会)の周知・広報

赤い羽根共同募金伝達式、大分国際車いすマラソン大会開会式等の各種イベント・大会等への参加

② 日本郵便が実施する年賀状イベントへの参加 他

あんしんサポートセンター

日常生活自立支援事業を推進し、福祉サービス利用者の権利擁護に努めた。

1 日常生活自立支援事業の推進

(1) 相談受付件数及び契約・解約の状況

①相談受付の状況（平成30年4月～平成31年3月末）

| | |
|-------|--------|
| 相談の受付 | 初回相談件数 |
| | 291件 |

②契約締結の状況（平成30年4月～平成31年3月末）

| 契 約 | 締 結 | 解 約 | 合 計 |
|-----|------|------|-----|
| | ① | ② | ①－② |
| | 181件 | 156件 | 25件 |

【累計】

①相談受付の状況（平成11年10月～平成31年3月末）

| | |
|-------|--------|
| 相談の受付 | 初回相談件数 |
| | 6,263件 |

②契約締結の状況（平成11年10月～平成31年3月末）

| 契 約 | 締 結 | 解 約 | 現在締結件数 |
|-----|--------|--------|---------|
| | ① | ② | ③ (①－②) |
| | 2,787件 | 2,008件 | 779件 |

(2) 大分県契約締結審査会の開催

当審査会は、3カ月に1回を基本に開催し、生活支援員による調査の結果、利用者の判断能力に疑義が生じた案件等について諮った。

また、既契約締結済の利用者について、定期的な支援計画の見直しを行った。

| 開 催 日 | 審査件数 | |
|-------------|------|--------------|
| 平成30年 5月16日 | 0件 | ※審査案件なし。経過報告 |
| 平成30年 8月 8日 | 0件 | ※審査案件なしのため中止 |
| 平成30年11月22日 | 1件 | |
| 平成31年 2月14日 | 2件 | ※審査1件、経過報告1件 |
| 合 計 | 3件 | |

(3) 関係機関との連携

関係機関連絡会議を開催し、日常生活自立支援事業に関する意見交換等を行った。

日常生活自立支援事業関係機関連絡会議

期 日 平成31年2月26日（火）

会 場 大分県総合社会福祉会館 4F 大ホール

- | | |
|-----|--|
| 参加者 | 11名 |
| 内容 | 1) 権利擁護・成年後見関係事業について 2) 日常生活自立支援事業の実施状況について 3) その他 |

(4) 会議・研修会の開催

各種研修活動等を通じ、県社協職員及び市町村社協職員（生活支援専門員・生活支援員）の資質向上に努め、また、事業実施体制の充実を図るため、事業担当職員連絡協議会を開催し、事業実施について協議を行った。

①日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

- | | |
|-----|--|
| 期 日 | 平成30年 6月22日（金） |
| 会 場 | 県総合社会福祉会館 |
| 参加者 | 20名 |
| 内 容 | 報告「日常生活自立支援事業の現状と動向」 研究協議「日常生活自立支援事業から成年後見制度利用への移行について」 |

②生活支援員等事業関係職員研修会の開催

- | | |
|-----|--|
| 期 日 | 平成31年 2月 6日（水） |
| 会 場 | 県総合社会福祉会館 |
| 参加者 | 54名 |
| 内 容 | 講義・演習「認知症の理解と支援について」 講師 介護相談所たいじゅ 介護支援専門員 緒方 洋介 氏 |

(5) 各種会議・研修会等への出席

<県内>

- ① 家事関係機関との連絡協議会
- ② 日本司法支援センター大分地方協議会
- ③ 大分市社協やすらぎ生活支援事業委員会
- ④ 大分県成年後見制度推進連絡会議

<県外>

- ① 全国日常生活自立支援事業担当部・課・所長会議（平成30年5月30日）
- ② 専門員実践力強化研修会Ⅰ（平成30年7月17日～18日）
- ③ 市町村社協職員を対象とするセミナー（平成30年6月19日～20日）
- ④ 成年後見制度利用促進フォーラム（平成31年2月19日～20日）

(6) 普及・啓発

①パンフレットの配布

各市町村社協、県・市町村行政、社会福祉施設、金融機関、医療機関、民生委員、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関にパンフレットを配付し、事業の周知を図った。

②各種研修会等での事業説明

市町村社協、県・市町村、地域包括支援センター、介護支援専門員等関係者の参集する各種会議・研修会の場において、本事業の説明を行った。

| 開催日等 | 会議・研修名称 | 会 場 | 参加人数 |
|--------|--------------------|-------------|------|
| 6月 8日 | 新任担当職員研修会 | 県総合社会福祉会館 | 23名 |
| 7月12日 | 親なきあと相談員養成研修会 | 県総合社会福祉会館 | 20名 |
| 7月13日 | 竹田市生活支援員養成講座 | 竹田市役所 | 13名 |
| 8月 7日 | 臼杵市市民後見人養成講座 | 臼杵市社会福祉協議会 | 24名 |
| 9月 7日 | 宇佐市市民後見人養成講座 | 宇佐市社会福祉協議会 | 20名 |
| 10月24日 | 研修支援事業 | 佐伯市社会福祉協議会 | 54名 |
| 11月 3日 | 中津市市民後見人養成講座 | 中津市教育福祉センター | 20名 |
| 12月 9日 | 豊後大野市市民後見ささえあい養成講座 | 豊後大野市役所 | 15名 |
| 1月13日 | 大分市市民後見ささえあい養成講座 | 県総合社会福祉会館 | 23名 |

(7) 諸課題への対応

業務システムに関する対応

契約件数が年々増加していることへの事務負担軽減として、平成27年11月末に県内全ての市町村社協に業務システムを導入し、県社協と業務システムで結ぶネットワークを構築した。業務システムの活用に係る全般的な対応を行った。

2 権利擁護・成年後見推進事業

(1) 権利擁護・地域生活定着支援セミナー

高齢や障がいのために福祉的支援を必要とする矯正施設退所者について、福祉サービスの利用を通じての社会復帰の支援が進められる中で、矯正施設に入ってからからの支援ではなく、根本として罪を犯さないようにするため、発達障害者や福祉的支援を必要とする者等と共存するためにどうあるべきかなど、地域社会との関わりや支援のあり方について考えることを目的として開催した。

日 時 平成30年12月 8日 (土)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4F 大ホール

参加者 95名

内 容 発達障がいの人たち、支援する人たちで共に考える

～自由に生きていくために社会のルールを知ろう～

行政説明・活動報告「大分県地域生活定着支援事業について」

大分県福祉保健部福祉保健企画課 梶原 啓功 氏

「大分県内社会福祉協議会が進める権利擁護体制の構築について」

大分県社会福祉協議会 生野 佑介

講演「元刑事が見た発達障がいー真剣に共存を考える」

株式会社 kibi 代表取締役 榎本 澄雄 氏

(2) 権利擁護・成年後見推進連絡会議の開催

期 日 平成31年 2月18日 (月)
会 場 大分県庁舎 新館51会議室
参加者 55名
内 容 1) 成年後見制度利用促進に係る市町村セミナーについて
2) 大分県平成30年度事業及び平成31年度事業等の予定について
3) 大分家庭裁判所からの情報提供
4) 県内市町村の取り組みについて
参集团体 福祉行政関係機関、福祉関係団体、司法関係機関等

3 広域型権利擁護センター設置促進事業 (県委託事業)

(1) 広域型権利擁護センター設置準備会議の開催

①第1回広域型権利擁護センター設置準備委員会

期 日 平成30年 4月23日 (月)
会 場 県総合社会福祉会館
参加者 24名
内 容 1) 委員会設置要綱について
2) 広域型権利擁護センターのイメージについて

②第2回広域型権利擁護センター設置準備委員会

期 日 平成30年 6月27日 (水)
会 場 県総合社会福祉会館
参加者 21名
内 容 1) 進捗状況について
2) 広域型権利擁護センターのイメージについて
3) 意見交換

③第3回広域型権利擁護センター設置準備委員会

期 日 平成30年10月31日 (水)
会 場 県総合社会福祉会館
参加者 14名
内 容 1) センター運営について
2) 意見交換

④第4回広域型権利擁護センター設置準備委員会

期 日 平成31年 2月18日 (月)
会 場 大分県庁舎新館51会議室
参加者 20名
内 容 1) センター運営について
2) 意見交換

(2) 作業部会の開催

①第1回作業部会

期 日 平成30年 5月29日 (水)
会 場 中津市教育福祉センター (中津市社会福祉協議会)
参加者 11名
内 容 1) 中津市社協法人後見実施体制について
2) 質疑応答
3) 広域型権利擁護センターについて

②第2回作業部会

期 日 平成30年 7月26日 (金)
会 場 豊後高田市役所
参加者 13名
内 容 センター運営について
ア) 役割分担について
イ) 予算について

③第3回作業部会

期 日 平成30年10月 2日 (水)
会 場 豊後高田市役所
参加者 7名
内 容 1) 進捗状況
2) センター運営について

④第4回作業部会

期 日 平成30年11月30日 (土)
会 場 国東市社会福祉協議会 武蔵本所
参加者 11名
内 容 1) センター運営について
2) 事例検討 (シミュレーション)

⑤第5回作業部会

期 日 平成30年12月25日 (水)
会 場 国東市社会福祉協議会 武蔵本所
参加者 10名
内 容 1) センター運営について
2) 役割分担・業務フローについて (事例検討)

⑥第6回作業部会 (勉強会)

期 日 平成31年 3月19日 (木)
会 場 大分県総合社会福祉会館
参加者 10名
内 容 1) 進捗状況について
2) 役割分担・業務フローについて
3) 広報について

大分県ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動の推進を図るため、ボランティアリーダーやコーディネーター等の人材育成を図ったほか、各種ボランティア研修を行うとともにボランティアや市民活動に関する情報提供を行った。

福祉教育においては、福祉ボランティア体験学習等を通じてボランティア活動の活性化を図るとともに、中高年者・高齢者の生きがい健康づくりの啓発を行った。

平成28年6月に立ち上げた「フードバンクおおいた」は周知活動を積極的に行った結果、認知度が上がってきており、30年度は企業や一般家庭から18.7トンの食品を寄贈いただき、子ども食堂や食に困っている人に提供した。

7月に発生した西日本豪雨（平成30年7月豪雨）については、広島県坂町に県社協職員を派遣し、その後のブロック派遣につなげた。

また、県民や宿泊施設等に寄贈を呼び掛けて集まった、タオル約25,000枚から延べ7災害ボランティアセンターにその一部を送付した。

I ボランティア・市民活動センター

1 ボランティア・市民活動の推進

(1) ボランティア等の人材育成

市町村社会福祉協議会と連携を図り、地域のボランティア・NPO活動を推進するため、各研修会・講座等を開催した。

① ボランティアコーディネーター基礎研修の実施

大分県内の福祉施設や社会福祉協議会等で、ボランティアの受入などコーディネーター担当者の資質の向上を図ることを目的に研修を行った。

開催日 平成30年6月4日（月）

場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 57名

内 容 講義「施設におけるボランティアコーディネーションの基礎とリスク」

講師 京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科

講師 南 多恵子 氏

② 福祉ボランティアリーダー養成講座の実施

ボランティア団体の設立・運営・活動活性化方法等専門的な知識を習得した福祉ボランティアリーダーを養成し、中核的なボランティア団体の増加を図ることを目的に、5日間の日程で開催した。

【第1日】

日時：平成30年9月4日（火） 10：00～15：00

場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール 参加者46人

演題：「ボランティア・地域づくりコーディネーター力養成講座」

講師：住民流福祉総合研究所 所長 木原孝久 氏

【第2日】

日時：平成30年9月28日（金） 10：00～15：00
 場所：大分県母子父子福祉センター会議室 参加者25人
 講義1：「住民全体の助け合い活動のススメ」
 講師：竹田市社会福祉協議会 地域連携課長 吉岡庸博 氏
 講義2：「ボランティア組織のマネジメント」
 講師：Healing Forest 代表 明石二郎 氏

【第3日】

日時：平成30年10月11日（木） 10：00～15：00
 場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール 参加者72人
 講義：「子どもの居場所・子ども食堂」～社会問題としての子どもの貧困～
 講師：筑紫女学園大学 准教授 大西良 氏
 活動発表：「すみれ学級の現状について」
 発表者：（公財）すみれ学級 代表理事 藤井富生 氏

【第4日】

日時：平成30年10月17日（水） 10：00～15：00
 場所：地域包括ケア拠点施設カフェひなたぼっこ（豊後大野市）参加者40人
 講師：あんしん研究会 事務局長 神田幸子 氏
 認知症地域支援推進員 野崎里美 氏

【第5日】

日時：平成30年11月13日（火） 10：00～13：00
 場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール 参加者33人
 演題：『『ボランティア』これまで・これから』
 講師：ふくおかNPOセンター 代表 古賀桃子 氏

③ 福祉ボランティア専門研修の委託実施

県内で活動している地域福祉活動団体に対し、より高い専門性を持った人材を育成することを目的に研修企画を公募し、目的に沿った団体に研修を委託した。

審査会 平成30年6月25日（月）

委託先 5団体（1団体への研修委託金上限300千円）
 （申請団体：6団体）

| 団体名 | 研修内容 | 委託費 |
|---------------------|---------------------------------|-------|
| 弥生母親クラブ | 子どもの可能性を広げる関わり方のトレーニング | 300千円 |
| しげまさ子ども食堂 | 子ども食堂参加中学生対象の無料学習支援ボランティアスタッフ研修 | 300千円 |
| NPO法人 たすけあい組織鼓楼 | 地域力を高める生活支援員等助け合いボランティア養成事業 | 300千円 |
| 特定非営利活動法人 市民後見ささえあい | 市民後見人養成講座 | 200千円 |
| 特定非営利活動法人 碧い海の会 | 障がい者向け農福連携指導者養成事業 | 293千円 |

(2) 市町村ボランティア・市民活動の支援

①市町村社協ボランティア担当者会議の開催

市町村社協ボランティア担当及び地域福祉担当と合同で事業等に関する事業説明及び意見交換を行った。

(ア)第1回 平成30年4月13日(金)

場 所 大分県母子父子福祉センター研修室

参加者 ボランティア・地域担当者 20名

内 容 a 平成30年度ボランティアセンター関係事業について
b 平成30年度夏のボランティア体験月間について

(イ)第2回 平成30年11月20日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館 3階研修室

参加者 ボランティア担当者 16名

内 容 a 平成30年度ボランティアセンター関係事業の進捗
b 平成30年度夏のボランティア体験月間のふりかえり

②市町村ボランティア・市民活動推進のための「出前講座」の開催

いろいろなボランティアジャンルに対応するボランティア養成や団体や組織としての運営のあり方など、活動上の悩みをどのように解決するかに応え、活動を促進するための出前講座を開催した。

(ア)期 日 平成30年10月14日(日)

場 所 大分県総合社会福祉会館

主 体 写真ボランティア「シャボラン大分」

講 師 タケウチトモユキ 氏

内 容 写真撮影講座

(イ)期 日 平成30年11月14日(水)

場 所 臼杵市社会福祉センター

主 体 臼杵市ボランティア連絡協議会

講 師 ご近所クリエイター 酒井 保 氏

内 容 地域ボランティアの集い

(ウ)期 日 平成31年2月17日(日)

場 所 別府市亀川浜田公民館

主 体 別府市亀川地区社会福祉協議会

講 師 日本ペップトーク普及協会 工藤 美和 氏

内 容 地域活動の担い手の養成

(3) ボランティア・市民活動団体の育成

大分県ボランティア連絡協議会への支援

① 総会及び研修会の開催

開催日 平成30年5月17日(木)

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 市町村ボランティア連絡協議会会員及び社協職員 74名

内 容 総 会 ①平成29年度事業報告・決算について(監査報告)

②平成30年度事業計画・予算（案）について
研修会 演題「災害を支える協働」
講師：竹田市ボランティア連絡協議会
会長 吉弘央 氏 阿部香奈子 氏

② 理事会の開催

第1回 平成30年5月17日（木）

第2回 平成30年11月28日（水）

第3回 平成31年3月22日（金）

③ ブロック別研修会の実施

(ア) 県北ブロック 開催日 平成30年10月17日（水）

場 所 宇佐市

(イ) 別杵東速ブロック 開催日 平成30年9月19日（水）

場 所 国東市

(ウ) 大分ブロック 開催日 平成30年11月14日（水）

場 所 由布市

(エ) 県南ブロック 開催日 平成30年9月26日（水）

場 所 津久見市

(オ) 豊肥ブロック 開催日 平成30年12月7日（金）

場 所 竹田市

(カ) 日田玖珠ブロック 開催日 平成30年12月7日（金）

場 所 九重町

④ 県外研修への派遣

期 日 平成30年11月3日（土）～4日（日）

場 所 長野県軽井沢町

参加者 3名

内 容 ボランティア全国フォーラム2018への参加

⑤ 市町村ボランティア連絡協議会合同研修会の実施

期 日 平成30年11月28日（水）～11月29日（木）

場 所 ホテル別府パストラル（別府市）

参加者 55名

内 容 (ア) 講義①『「ペップトーク」元気、やる気を引き出す 励ましの言葉』

講師：日本ペップトーク普及協会 工藤 美和 氏

(イ) 活動事例発表

a 「湯布院ガイドあさぎり会」

発表者：由布市ボランティア連絡協議会会長 土師 敬士 氏

b 「九重町のボランティア活動」

発表者：九重町ボランティア協議会会長 酒井 利幸 氏

c 「ボランティア全国フォーラムに参加して」

発表者：豊後大野市ボランティア連絡協議会会長 佐々木 榮子 氏

(ウ) 情報交換会

(エ) 講義②「サロン活動や仲間での挑戦、楽しい折紙」

講師：大分県レクリエーション協会 浅田 初美 氏

(4) 大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

- ① 第1回 平成30年 7月 5日 (木)
場 所 大分県総合社会福祉会館
内 容 (ア)平成29年度事業報告について
(イ)平成30年度事業実施状況及び今後の計画(案)について
- ② 第2回 平成30年10月29日(月)
場 所 大分県総合社会福祉会館
内 容 (ア)平成30年度事業の進捗状況について
(イ)今後の事業実施予定について
- ③ 第3回 平成31年3月8日(金)
場 所 大分県総合社会福祉会館
内 容 (ア)平成30年度事業報告について
(イ)平成31年度事業計画(案)について

2 ボランティア・市民活動の啓発促進

(1) 第15回大分県ボランティア・NPO推進大会の開催

期 日 平成30年10月23日(火)
場 所 トキハ会館(ローズ)
参加者 280名
内 容

基調講演「まちづくりの視点から見る地域活動参画のすすめ」

講師：有限会社コダマ(サイクルショップ・コダマ)代表取締役
大分都心まちづくり委員会企画部長 児玉 憲明 氏

活動報告

- ①「福島子どもたちを大分へ招待しよう！
「ふくしまっ子応援プロジェクト8」活動報告」
県立芸術文化短期大学
- ②「福祉活動の発表」
楊志館高等学校
- ③「大分おもちゃ病院の紹介」
大分おもちゃ病院
- ④「南大分校区社会福祉協議会“ささえ愛の会”の活動報告」
南大分校区社会福祉協議会 ささえ愛の会

(2) ボランティア・市民活動センター機能の充実

コーディネート等による情報発信。

- ① ボランティアコーディネート
- ② ボランティア・NPOからの相談受付

(3) センターの情報発信

Facebook やインターネットサイト「ぼらのたねっと」によるボランティア・助成金・講座・お知らせ等に関する各種情報の発信。

(4) ボランティア・市民活動ルーム利用管理

ボランティアグループ、市民活動団体に部屋の貸出。

(5) ボランティア活動保険等加入受付業務

ボランティア活動保険、ボランティア行事保険等の加入受付。

(6) その他広報

- ① ボランティアグループ名簿（31年3月発行）の作成・配布
- ② 県社協広報誌「大分社会福祉（だいふく）」への寄稿

3 福祉教育の推進支援

福祉体験学習（体験・交流活動等）を通じ、県内の小・中・高等生に福祉への関心や理解の醸成を図る。また、県内の学生や社会人に、夏休みを中心に福祉施設等でのボランティア体験をしてもらいボランティア活動への振興を図った。

(1) 青少年福祉体験教室の実施

福祉施設等での1日体験学習

- 実施数3回・参加者数39名（小学校1回・33名、中学校2回・6名）

(2) ふれあい学習の実施

学校で障がい者自身の体験談等の講演や児童・生徒が擬似体験等を行うことにより、障がい者への理解と児童・生徒との交流を深めた。

- 実施数及び参加者数

| | | | |
|---------|------|--------|------|
| ・小学校15回 | 789名 | ・中学校2回 | 73名 |
| | | ・計17回 | 862名 |

(3) 夏のボランティア体験月間の実施

①期間 7月21日～8月31日

ア 参加者 1,601名

（高校生 1,107名、大学生等 123名、小中学生 357名、その他 14名）

イ 参加施設数 438施設

②説明会の開催 4月13日（金）市町村社協ボランティア担当者

③反省会の開催 11月20日（火）市町村社協ボランティア担当者

(4) 福祉教育実践研究発表会の開催

期 日 平成30年10月23日（火）

場 所 トキハ会館

参加者 280名（学校関係者・ボランティア・一般参加者等）

内 容 実践発表

①大分県立芸術文化短期大学

②楊志館高等学校

※県ボランティア・NPO推進大会と同時開催

4 企業・団体等のボランティア・市民活動への支援

(1) 第3回いきいきセカンドライフインターンシップの開催

※「シニア世代のための就職面談会」（県等主催）と同時開催

期 日 平成30年10月18日（木）

場 所 トキハ会館（カトレア）

参加者 150名（シニア世代・企業人事関係者等）

内 容 10団体の紹介ブースを設営し、NPO・ボランティア団体と参加者とのマッチングを行った。

(2) 住民参加型在宅福祉サービス研修会の実施

※「福祉ボランティアリーダー研修会」と同時開催

日 時：平成30年10月17日（水） 10：00～15：00

場 所：地域包括ケア拠点施設カフェひなたぼっこ（豊後大野市）

参加者：40人

講 師：あんしん研究会 事務局長 神田幸子 氏

認知症地域支援推進員 野崎 里美 氏

5 災害ボランティア活動の推進

(1) 災害ボランティアネットワーク体制の充実

① 大分県災害ボランティア運営スタッフ検討委員会の開催

・第1回 平成30年4月26日

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 7名

内 容 災害ボランティアセンター様式の変更について

・第2回 平成30年5月22日

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 8名

内 容 研修体系等について

・第3回 平成30年6月19日

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 5名

内 容 リーダー研修会等について

(2) 大分県災害ボランティアリーダー研修会の実施

①第1回

期 日 平成30年6月26日（火）

場 所 県総合社会福祉会館

参加者 31名

- 内 容 ①大分県災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂
様式について
②新様式の使用方法について（実際に使って学んでみよう）
③災害ボランティアセンター運営訓練の実施について
- 講 師 ①・②大分県災害ボランティアセンター運営支援事業検討委員
③玖珠町社協 長 千和 氏

②第2回

期 日 平成31年2月4日（月）～5日（火）

場 所 県総合社会福祉会館

参加者 4日：126名、5日：25人

内 容 i パネルディスカッション及び講演

「災害時に求められる被災者支援、地域支援のあり方とは」
～平常時活動の重要性と三者連携（社協、行政、NPO等）による
効果的な支援～

ii 講演

「被災者支援の現場から～三者連携の実例～」

iii 報告及びパネルディスカッション

「坂町災害たすけあいセンターでの支援活動から見えてきたもの」

iv 事例検討

「こんなときどうする？災害ボランティアコーディネーター（運
営リーダー）として必要な判断力を磨く」

- 講 師 i 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発）佐谷説子 氏
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネット
ワーク（JVOAD）事務局長 明城徹也 氏
全国社会福祉協議会全国ボランティア・市民活動振興センター
所 長 高橋良太 氏
大分県 生活環境部 県民生活・男女共同参画課
県民活動支援室 室 長 宮本裕治 氏
- ii 一般社団法人OPEN JAPAN オープンジャパン
緊急支援プロジェクトリーダー 肥田 浩 氏
- iii 日田市地域おこし協力隊
ひちくボランティアセンター 松永鎌矢 氏
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議
竹田市社会福祉協議会地域福祉課 課長 水野匡也 氏
津久見市社会福祉協議会 地域福祉班 主査 小野 喬 氏
大分県社会福祉協議会 総務・企画情報部 主事 森 美菜子
大分市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 松村匡貢 氏
日出町社会福祉協議会 事務局次長 堀 さおり 氏

③特別研修

期 日 平成30年6月12日(火)～13日(水)
場 所 国際ファッションセンターKFCホール
参加者 7名
内 容 「災害時の係を考える全国フォーラム」(JVOAD主催)

(3) 災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会の実施

①津久見市社会福祉協議会

期 日 平成30年4月26日(木)
場 所 津久見市ふれあい交流センター
参加者 10名
内 容 台風18号振り返り

②玖珠町・九重町社会福祉協議会

期 日 平成30年5月23日(水)
場 所 九重町保健福祉センター
参加者 40名
内 容 被災地支援、災害ボランティアセンター運営訓練の振り返り

③日田市社会福祉協議会

期 日 平成30年6月9日(土)
場 所 日田市大鶴公民館及びグラウンド
参加者 60名
内 容 災害ボランティアセンター運営訓練、炊き出し訓練

④佐伯市社会福祉協議会

期 日 平成30年6月26日(月)
場 所 佐伯市社会福祉協議会
参加者 25名
内 容 台風18号災害報告、検証

⑤宇佐市社会福祉協議会

期 日 平成30年6月30日(土)
場 所 駅館小学校体育館
参加者 50名
内 容 災害ボランティアセンター運営訓練

(4) 市町村災害ボランティアネットワーク協議会の設置・推進

県内の全ての市町村社協に災害ボランティアネットワークを設置してもらうため、未設置社協には訪問の上説明・要請を行った。

- ・設置済み・・・中津市、日田市、佐伯市、竹田市、豊後高田市、宇佐市、九重町、玖珠町、津久見市、杵築市、日出町
- ・設置予定・・・臼杵市、豊後大野市、大分市、別府市
- ・設置未定・・・由布市、国東市、姫島村

(5) 大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会の開催

①大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会の開催

期 日 平成31年2月4日(月)

場 所 県総合社会福祉会館

参加者 15人

内 容 パネルディスカッション及び講演

「災害時に求められる被災者支援、地域支援のあり方とは」
～平常時活動の重要性と三者連携(社協、行政、NPO等)による
効果的な支援～

講 師 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発)佐谷説子氏
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネット

ワーク(JVOAD)事務局長 明城徹也氏

全国社会福祉協議会全国ボランティア・市民活動振興センター

所 長 高橋良太氏

大分県 生活環境部 県民生活・男女共同参画課

県民活動支援室 室 長 宮本裕治氏

②大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会幹事会の開催

(開催なし)

(6) 大分県総合防災訓練への参加

期 日 平成30年11月25日(日)

場 所 豊後大野市 三重中学校

内 容 豊後大野市社協と災害ボランティアセンター運営訓練

(7) 災害ボランティアセンターへの支援

(災害ボランティアセンター運営支援事業現地研修として)

期 日 平成30年7月12日～7月15日 6名

平成30年7月15日～7月18日 6名

平成30年7月18日～7月21日 5名

場 所 広島県坂町災害たすけあいセンター

(8) その他

① 大分県災害ボランティアの登録

② 全国被災地への支援(ボランティア、運営支援者等コーディネートなど)

③ 講師としての活動等

6 福祉避難体制強化事業の実施

熊本地震を教訓に、福祉避難所の立ち上げがスムーズにできるよう、平成29年度に作成した福祉避難所総合マニュアルの周知を図るとともに、福祉避難所の人材を育成し、施設や行政の役割や連携について考えることを目的に研修を開催した。

(1) 福祉避難所実務者研修の実施

【第1回】

期 日 平成30年5月23日（水）

場 所 佐伯市文化会館

参加者 73名

【第2回】

期 日 平成30年5月24日（木）

場 所 臼杵市中央公民館

参加者 55名

【第3回】

期 日 平成30年6月6日（水）

場 所 湯布院福祉センター

参加者 73名

【第4回】

期 日 平成30年6月7日（木）

場 所 安心院文化会館

参加者 111名

(2) 福祉避難所サポーター登録制度

期 日 平成30年11月～

内 容 下記サポーターの登録業務受託

①福祉避難所の支援や相談への対応

②福祉避難所の設置が長期化した場合の交代要員の派遣

登録者数 144名（年度末現在）

7 その他

ふくしまっ子応援プロジェクト8の実施

東日本大震災により発生した福島原子力発電所事故により、海や山など大自然と親しむことが難しくなった福島子どもたちに、夏休み期間を利用して、九州の大自然の中でおもいっきり遊び、交流し、夏を満喫し、笑顔で過ごしてもらえるよう実施した。

経 費 県民からの募金及び関係団体・支援団体からの寄付等

協 力 生活協同組合コープおおいた、エフコープ生活協同組合、コープさが生活協同組合、大分県ボランティア連絡協議会

日 程 平成30年7月21日（土）～25日（水）

参加者 福島県相馬郡新地町の小学生（5・6年生）18名と引率者3名

内 容 海水浴（田ノ浦ビーチ）、おんせん体験、うみたまご（あそびーち）、九州北部豪雨被災地視察・交流（福岡県東峰村）、自然体験、ソーメン流し、地引き網体験、太宰府天満宮（梅ヶ枝餅づくり体験）等

Ⅱ フードバンクおおいた

フードバンクおおいたの運営

(1) 大分県下一斉「フードドライブ」キックオフイベントの開催

- 日 時 平成30年8月16日(木)
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
内 容 第1部 フードバンクおおいた活動状況報告
 フードドライブの取り組みについて
 第2部 映画「はなちゃんのみそ汁」無料上映会
 第3部 講演会 「食べることは生きること」安武信吾・はな 氏

(2) フードドライブの実施

- ・コープおおいた ・マルミヤ ・伊予銀行大分支店 ・大分県教職員組合
- ・プルデンシャル生命保険 ・九州労金 ・大分県食生活改善推進協議会
- ・大分県民生委員児童委員協議会 ・GAP JAPAN ・九電大分支店
- ・市町村社協 等

(3) フードバンクキッチンの実施

- 日 時 平成30年7月30日(月)
場 所 豊後高田市健康交流センター 花せいろ 調理室 和室
内 容 地域の子ども・保護者を対象に料理教室、食事会
参加者 18名

(4) 食品取扱量(30年度1年間)

寄贈食品 43,804品 18.66トン
提供食品 39,658品 17.12トン

※主な提供先：子ども食堂、市町村社協(生活困窮相談窓口)、くらしサポート事業実施施設、児童養護施設、大分県母子寡婦福祉連合会 等

(5) 年末年始、夏休み等長期休暇前の緊急食料支援

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の基金を原資として、緊急食料支援の三日間セット(9食分)を市町村社協やくらしサポート事業実施施設等へ配布

(6) 広報・周知

- 講 演：日本文理大学、県立芸術文化短期大学、
 第13回食育推進全国大会 in おおいた、大分市倫理法人会
行事参加：第13回食育推進全国大会 in おおいた(ブース設置)

Ⅲ 長寿いきいき班

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「豊の国ねんりんピック」の開催、「全国健康福祉祭とやま大会」への選手団派遣のほか、地域活動を促進するためのリーダーの育成及び普及啓発活動等の事業を実施した。

1 豊の国ねんりんピックの開催

(1) 第29回豊の国ねんりんピック 美術展 等

期 日 平成30年5月9日(水)～5月14日(月)
 会 場 大分県立美術館 OPAM(大分市寿町)
 入場者数 1,333名

① 美術展 (点)

| 部 門 | 日本画 | 洋画 | 彫刻・彫塑 | 工芸 | 書 | 写真 | 合計 |
|-----|-----|----|-------|----|----|----|-----|
| 作品数 | 40 | 45 | 6 | 66 | 42 | 68 | 267 |

※ほかに、ジュニア絵画2点、工芸(集団創作)4点。全作品を展示。

② シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展 (点)

| 部 門 | 短 歌 | 俳 句 | 川 柳 | 合 計 |
|-----|-----|-----|-----|-------|
| 作品数 | 289 | 795 | 447 | 1,531 |

※36点(各部門12点)の特選及び入選の作品を展示。

(2) 第29回豊の国ねんりんピック スポーツ交流等

期 日 平成30年9月23日(日)を主日程として開催
 会 場 県立総合体育館、大洲総合運動公園ほか

| 事 業 名 | 会 場 | 日 程 | 参加 人員 |
|---------------------|------------|-------|----------|
| 総合開会式 | 県立総合体育館 | 9/23 | 3,368名 |
| スポーツ交流大会(12競技) | 大洲総合運動公園ほか | 9/23 | |
| 〃 ゴルフ | 別府の森ゴルフ倶楽部 | 10/23 | |
| ふれあい交流大会(4競技) | 大洲総合運動公園ほか | 9/23 | |
| シルバー囲碁大会 | 県総合社会福祉会館 | 9/23 | |
| シルバー将棋大会 | 県総合社会福祉会館 | 9/23 | |
| (協賛イベント)親善交流登山会 | 本宮山(大分市) | (中止) | |
| (〃)太極拳交流大会 | 県立総合体育館 | 9/23 | |
| (〃)第4回大分県パークゴルフ交流大会 | 糸ヶ浜パークゴルフ場 | 11/5 | |
| (〃)大分県ミニテニス交流大会 | 大分市日吉原体育館 | 10/7 | |

(3) 国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭応援企画の実施

第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術・文化祭を応援するための企画として、美術展の期間中OPAMにおいて、分野ごとにワークショップを開催した。

| | | |
|-------|-----------|-----|
| 書 | 大字書 | 69人 |
| 工芸 | エコバッグ絞り染め | 15人 |
| 彫刻・彫塑 | 油粘土細工 | 11人 |
| 絵画 | 絵手紙 | 28人 |
| 短文学 | 写俳 | 68人 |

2 第31回全国健康福祉祭とやま大会への派遣

(1) 選手団の派遣

| | |
|------|-------------------------|
| 結団式 | 平成30年10月26日(金) |
| 開催期間 | 平成30年11月3日(土)～6日(火) |
| 参加人員 | 選手82名、本部役員7名(計14種目、89名) |

| 種目等 | 人員 | 種目等 | 人員 | 種目等 | 人員 |
|--------|----|-----------|----|---------|----|
| 卓球 | 7 | マラソン | 0 | ダンススポーツ | 0 |
| テニス | 6 | 弓道 | 6 | バウンドテニス | 0 |
| ソフトテニス | 7 | 剣道 | 5 | 囲碁 | 0 |
| ソフトボール | 15 | 太極拳 | 6 | 将棋 | 3 |
| ゲートボール | 5 | グラウンド・ゴルフ | 6 | 健康マージャン | 4 |
| ペタンク | 3 | ソフトバレーボール | 6 | | |
| ゴルフ | 3 | サッカー | 0 | 役員 | 7 |

(2) 試合等の結果

①スポーツ等交流大会 《未実施》

- <優勝>
該当なし
- <優秀賞>
該当なし

②美術展

- <入賞>
 - 銅賞 工芸 「伊勢形紙の巧」 安達 比敏 (別府市)
 - 銅賞 書 「心の稼働」 内梨 櫻舟 (大分市)
 - 銅賞 写真 「一心」 親松 榮子 (大分市)

※ 豊の国ねんりんピック美術展で最優秀賞を受賞した日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の各2作品を出品

3 生きがいと健康づくり事業の普及・啓発

ホームページによる情報提供

- ① 第29回豊の国ねんりんピック（美術・短文学）
- ② 第29回豊の国ねんりんピック（スポーツ交流等）
- ③ 第31回全国健康福祉祭とやま大会
- ④ ニューススポーツ用具の貸し出し

ほか

4 ニューススポーツ用具の貸し出し

- (1) 用具の貸出回数 117回
- (2) 延べ利用人数 5,659名（平成30年度1年間）

用具一覧

| | | | |
|----|-------------|----|-----------|
| 1 | オーバーボール | 14 | フリーブロー |
| 2 | カラーリング | 15 | ペタンク |
| 3 | グラウンドゴルフ | 16 | ポケネット |
| 4 | ゲーゴルフゲーム | 17 | 輪投げ |
| 5 | じゃんけんペタンコ | 18 | フライングディスク |
| 6 | ストライクトレーナー | 19 | 囲碁ボール |
| 7 | スマイルボウリング | 20 | ビーンボウリング |
| 8 | ソフトペタンク | 21 | ユニカール |
| 9 | ターゲットバードゴルフ | 22 | 絵手紙セット |
| 10 | クロリテー | 23 | カラー玉入れ |
| 11 | チームラビリンス | 24 | ラガーゲッター |
| 12 | バグゴ | 25 | ターゲットゲーム |
| 13 | ヒットだ!ターゲット | | |

5 全国会議・研修会

(1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構会議への参加

①全国健康福祉祭担当係長会議

5月24日（木）～25日（金） 富山県

②全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

7月4日（水） 東京都

③全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

平成31年2月26日（火） 東京都

(2) 九州ブロック明るい長寿社会づくり推進機構会議の開催

九州地区明るい長寿社会づくり推進機構実務者会議

平成31年1月25日（金） 別府市

福祉資金部

低所得者、障がい者または高齢者の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図るため、迅速な資金貸付を行った。

償還が遅れている世帯に対して、市町村社協や民生委員を通じて世帯状況の把握に努めたほか、電話や戸別訪問による償還指導を行った。

また、借受人が死亡、自己破産、行方不明となった債権は、会長職権による償還免除を行ったほか、必要に応じて弁護士に委任し訴訟を行った。

この貸付事業は、事務の一部を市町村社協に委託していることから、相談窓口の担当職員の相談支援技術の向上を図るため、新任担当職員研修会を開催した。

福祉人材の確保を目的に、一定期間、就労することで貸付金の返還が免除される「介護福祉士等修学資金」や「保育士修学資金」等の貸付を行った。

また、生活基盤の確保が困難な方の自立支援を目的に、一定期間、就労することで貸付金の返還が免除される「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」や「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」の貸付を行った。

1 生活福祉資金貸付事業の推進

(1) 制度周知

ア. 広報用パンフレットの配布

市町村社協、市町村行政（生活保護担当課）、ハローワーク
3, 170部配付

イ. ホームページによる情報提供

ウ. 民生委員研修会・会議等での制度説明

日田市民生委員児童委員協議会 平成30年10月29日 参加者50名

エ. 関係機関への説明

大分いのちの電話 全体研修会 平成30年6月27日 参加者40名

オ. おおいたくらしサポート事業

CSW養成研修 平成31年2月28日 参加者10名

(2) 研修会の実施

貸付事務を委託している市町村社会福祉協議会職員の事務の円滑化を目的に、新任担当職員を中心に制度内容の周知とケース事例研修を通じ、相談支援における留意事項を周知した。

・市町村社協新任担当職員研修会 平成30年4月23日 参加者14名

(3) 貸付審査等運営委員会の開催

本委員会は、厚生労働省社会援護局長通知に基づき設置するものであり、資金貸付の可否審査、償還の支払い猶予・免除等について会長に意見を述べることとなっている。

委員会の委員は、関係行政機関の職員、社会福祉協議会関係者、民生員

児童委員の代表、社会福祉審議会委員、学識経験者の計10名で構成している。

また、不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金の貸付審査は、弁護士、不動産鑑定士、民生委員の代表及び県社協職員による貸付審査会で貸付の可否を審査した。

ア. 生活福祉資金貸付審査等運営委員会 (単位：千円)

| | 開催日 | 申 請 | | 決 定 | |
|------|--------|-----|-------|-----|-------|
| | | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 第1回 | 4月17日 | 3 | 691 | 3 | 691 |
| 第2回 | 5月17日 | 2 | 1,229 | 2 | 1,229 |
| 第8回 | 11月20日 | 3 | 1,091 | 3 | 1,091 |
| 第9回 | 12月13日 | 2 | 330 | 2 | 330 |
| 第11回 | 2月20日 | 3 | 3,446 | 3 | 3,446 |

イ. 不動産担保型資金審査会 (単位：千円)

| | 開催日 | 申 請 | | 決 定 | |
|-----|-------|-----|--------|-----|--------|
| | | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 第1回 | 7月10日 | 3 | 33,992 | 3 | 33,992 |
| 第2回 | 12月7日 | 2 | 22,576 | 2 | 22,576 |

(4) 借入申請・決定状況

ア. 生活福祉資金 (単位：千円)

| 資金種類 | 申 請 | | 決 定 | |
|-----------------------|-----|---------|-----|---------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 1 総合支援資金 | 6 | 2,377 | 6 | 2,290 |
| (1) 生活支援費 | 5 | 2,310 | 5 | 2,223 |
| (2) 住宅入居費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (3) 一時生活再建費 | 1 | 67 | 1 | 67 |
| 2 福祉資金 | 655 | 70,478 | 655 | 70,478 |
| (1) 福祉費 | 159 | 33,389 | 159 | 33,389 |
| (2) 生活復興支援資金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (3) 緊急小口資金 | 496 | 37,089 | 496 | 37,089 |
| 3 教育支援資金 | 113 | 50,342 | 113 | 50,342 |
| (1) 教育支援費 | 31 | 26,721 | 31 | 26,721 |
| (2) 就学支度費 | 82 | 23,621 | 82 | 23,621 |
| 4 不動産担保型生活資金 | 5 | 56,498 | 5 | 56,498 |
| (1) 不動産担保型生活資金 | 2 | 21,980 | 2 | 21,980 |
| (2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 | 3 | 34,518 | 3 | 34,518 |
| 計 | 779 | 179,695 | 779 | 179,608 |

イ. 臨時特例つなぎ資金 (単位：千円)

| 資金種類 | 申請 | | 決定 | |
|-----------|----|-----|----|-----|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 臨時特例つなぎ資金 | 6 | 159 | 6 | 159 |

(5) 資金種類別債権の状況

(単位 円)

| 資金種類 | 貸付中件数 | 貸付中金額 |
|------------|-------|-------------|
| 更生資金 | 120 | 61,302,364 |
| (障害者) 更生資金 | 39 | 25,464,920 |
| 生活資金 | 1 | 47,350 |
| 福祉資金 | 440 | 141,756,184 |
| 福祉資金 (住宅) | 23 | 11,440,140 |
| 教育支援資金 | 849 | 271,946,195 |
| 療養・介護等資金 | 6 | 1,796,930 |
| 災害援護資金 | 6 | 4,160,330 |
| 生活復興支援資金 | 5 | 2,851,550 |
| 緊急小口資金 | 1,324 | 85,578,331 |
| 離職者支援資金 | 126 | 124,138,585 |
| 総合支援資金 | 498 | 246,537,563 |
| 合計 | 3,437 | 977,020,442 |

(6) 資金種類別償還率

(単位：円)

| 資金種類 | 償還計画額 (A) | 償還実績 (B) | 償還率 (B/A) |
|------------|--------------|------------|-----------|
| 総合支援資金 | 12,235,115 | 6,413,605 | 52.42% |
| (障害者) 更生資金 | 315,000 | 315,000 | 100.00% |
| 福祉資金 | 27,232,547 | 22,776,647 | 83.64% |
| 教育支援資金 | 26,790,880 | 17,872,360 | 66.71% |
| 緊急小口資金 | 26,527,360 | 20,843,100 | 78.57% |
| 生活復興支援資金 | 313,280 | 245,250 | 78.28% |
| 合計 | 93,414,182 | 68,465,962 | 73.29% |

※期限内の健全債権に係る当年度の償還計画額・償還実績額・償還率を表示。

2 生活福祉資金債権管理強化推進事業

滞納を続けている債務関係者に対する戸別訪問等による督促や、転居先の住民票請求による所在調査を実施した。

(1) 督促通知 (年4回発行)

3ヶ月間連続して償還のない借受人等に対し、督促を送付した。

5月 1,672件

| | |
|-----|-----------|
| 8月 | 1, 5 5 2件 |
| 11月 | 1, 5 2 3件 |
| 2月 | 1, 4 9 7件 |
| 計 | 6, 2 4 4件 |

(2) 住民票調査

通知が返送された借受人等の住民票請求を行った。

| | |
|-------------|--------|
| 調査件数 | 1 9 7件 |
| うち 所在判明 | 1 4 3件 |
| 行方不明 | 1 2件 |
| (保管期間経過を含む) | |
| 死亡 | 7件 |
| 異動なし | 3 3件 |
| 回答待ち | 2件 |

(3) 訴訟

償還指導を行ってきたが、再三にわたり償還指導を行ったが償還しない方について本会顧問弁護士に訴訟を委任した。

(単位 円)

| 資金種類 | 件数 | 金額 | | | |
|---------|----|-------------|----------|-------------|-------------|
| | | 元金 | 利子 | 延滞利子 | 計 |
| 教育支援資金 | 1 | 3, 202, 720 | | | 3, 202, 720 |
| 総合支援資金 | 3 | 2, 196, 550 | 94, 775 | 121, 401 | 2, 412, 726 |
| 離職者支援資金 | 1 | 1, 751, 460 | 188, 340 | 1, 257, 404 | 3, 197, 204 |

(4) 償還免除の実施状況

| | |
|------|---------------|
| 決定件数 | 31件 |
| 元 金 | 9, 435, 722円 |
| 利 子 | 822, 777円 |
| 延滞利子 | 19, 174, 447円 |

(5) 延滞利子免除の実施状況

| | |
|------|---------------|
| 決定件数 | 129件 |
| 決定金額 | 57, 872, 241円 |

(6) 償還猶予の実施状況

| | |
|------|----|
| 決定件数 | 2件 |
|------|----|

3 生活福祉資金生活再建・償還相談事業

(1) 対象世帯(先)数

滞納が初期段階と概ね6か月以上滞っている世帯(先)を中心に実施。

(2) 取組内容

- 電話連絡による世帯状況の把握
- 通知書の発送による世帯状況等の把握
- 訪問による償還相談
- 面談による償還相談
- 誓約書等を提出した返済合意先の期日管理（電話、通知、再面談等）

(3) 償還相談、償還指導の取り組み

- ア. 電話連絡 1,926件
- イ. 通知書等発送 77件
- ウ. 訪問（自宅等） 125件
- エ. 面談（社協） 20件

(4) 取組実績（内容）

貸付先訪問や償還要請を書面により通知することにより、生活福祉資金の返済に関する合意又は誓約書等受領および回収実績は、以下のとおりとなった。

①生活福祉資金管理案件回収実績（継続管理中の25年度取扱案件も含む）

（単位：円）

| 大分市 | 別府市 | 杵築市・日出町 | その他 | 計 |
|------------|-----------|-----------|------------|------------|
| 12,748,026 | 6,146,720 | 7,290,272 | 16,127,855 | 42,312,873 |

②合意又は誓約書等受領件数（取組内容別）

| 訪問 | 郵便（通知書） | 電話 | 社協面談 | 計 |
|----|---------|-----|------|-----|
| 56 | 23 | 861 | 19 | 959 |

4 生活福祉資金関係の全国会議等への参加

- ア. 全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会
- イ. 全国生活福祉資金担当部課長会議
- ウ. 九州ブロック生活福祉資金運営研究協議会

5 新たな貸付事業

(1) 各貸付制度の周知

県内の介護事業所、保育所、児童養護施設のほか、県・市町村、福祉関係機関・団体に対し、制度案内チラシや貸付の手引きを送付し周知した。

また、本会ホームページに貸付の手引きやチラシを掲載したほか、借入者等からの要望のあった借入申請や返還免除手続きに必要な諸様式をダウンロードできるようにした。

(2) 募集方法と募集期間及び貸付実績

ア. 介護福祉士修学資金

- 介護福祉士修学資金

募集方法

県内の介護福祉士養成施設を通じて借入申請してもらった。

募集人員 30名

募集期間

平成30年5月25日まで

貸付件数 28件

貸付決定金額 45,080,000円

●社会福祉士修学資金

募集方法

県内の社会福祉士養成施設を通じて借入申請してもらった。

募集人員 5名

募集期間

平成30年5月25日まで

貸付件数 5件

貸付決定金額 5,000,000円

●介護実務者研修受講資金

募集方法

県内の実務者研修実施機関を通じて借入申請してもらった。

募集人員 15名（第1次募集枠）*11名推薦（内1名後日辞退）有り
29名（第2次募集枠）

募集期間

第1次募集 平成30年10月31日まで

第2次募集 平成31年1月31日まで

貸付件数 26件

貸付決定金額 5,200,000円

●離職介護人材再就職準備金

募集方法

借入希望者に直接申請してもらった。

募集人員 50名

募集期間

平成30年6月1日から平成31年3月31日まで

（ただし、募集定員に達したときは申請受付は終了）

貸付件数 14件

貸付決定金額 2,800,000円

イ. 保育士修学資金

●保育士修学資金

募集方法

県内外の保育士養成施設を通じて借入申請してもらった。

募集人員 80名

募集期間

平成30年5月31日まで

応募人員 128名

貸付件数 80件

貸付決定金額 119,120,000円

●保育士就職準備金

募集方法

借入希望者に直接申請してもらった。

募集人員 80名

募集期間

平成30年6月11日から平成31年3月31日まで

(ただし、募集定員に達したときは申請受付は終了)

貸付件数 52件

貸付決定金額 20,800,000円

ウ. 児童養護施設入所者等自立支援資金

募集方法 施設または児童相談所を通して借入申請してもらった。

募集期間

平成31年3月31日まで

応募人員 16名

貸付件数 32件

貸付決定金額 14,728,620円

エ. ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

募集方法 市町村等関係機関への周知による募集を行った。

募集期間

平成30年5月31日まで

応募人員 21名

貸付件数 21件

貸付決定金額 9,599,000円」

施設団体支援部

施設団体支援課

種別協議会を通して各福祉分野における課題に対応した研修事業、調査・研究活動等を行うとともに、新たな社会福祉法人制度に対応したセミナーや経営指導事業を行った。

県受託事業による球技大会等の実施、各種別協議会が主催する九州関係の研修や研究大会の運営支援を行った。

1 社会福祉施設経営指導事業

(1) 個別指導

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と利用者サービスの向上を図ることを目的に経営指導員による指導・助言を行った。

平成30年度の相談実績は、54件となった。

相談実績

| 項 目 | 件 数 (件) | 割 合 (%) |
|---------------|---------|---------|
| 利用者サービスに関すること | 24 | 44.4 |
| 施設経営に関すること | 4 | 7.4 |
| 会計及び経理に関すること | 1 | 1.9 |
| 施設整備に関すること | 0 | 0.0 |
| その他の運営に関すること | 25 | 46.3 |
| 合 計 | 54 | 100.0 |

(2) 集団指導「経営支援セミナー」の実施

2 社会福祉施設経営支援事業

社会福祉施設の健全かつ発展的な経営を目的とした各種研修会・セミナーを10回実施した。

- ① ハラスメント防止研修
- ② ホスピタリティを表現する接遇マナー研修
- ③ 効果的な部下・新人育成の実務研修
- ④ 職場内研修の手法研修
- ⑤ チームワーク力向上研修
- ⑥ メンタルヘルス研修
- ⑦ クレーム対応研修
- ⑧ 権利擁護／虐待防止とリスクマネジメント研修
- ⑨ プロ意識醸成研修
- ⑩ アンガーマネジメント研修

3 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業

教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施している本事業について25大学から318名の申込みがあり、各社会福祉施設での5日間の体験学習を実施した。

介護等体験修了者数

| 県内・県外の別 | 大学名等 | 体験者数(人) |
|---------|-------------|---------|
| 県内 | 大分大学等 6大学 | 291 |
| 県外 | 津田塾大学等 19大学 | 27 |
| 合計 | 25大学 | 318 |

4 児童福祉関係行事委託事業の実施

児童福祉施設や知的障がい施設の利用者に対し、各種スポーツ大会を実施した。

- (1) 平成30年度大分県知的障がい施設球技大会(ティールール・グラウンドゴルフ)
- (2) 第54回大分県児童福祉施設等卓球大会
- (3) 第64回九州地区児童福祉施設球技大会(野球、バレーボール)

5 種別協議会等の運営の支援

(1) 大分県老人福祉施設協議会

① 各種会議等の開催

総会(1回)、正副会長会議(4回)、役員会(3回)、制度政策専門委員会(1回)研修専門委員会(3回)、特養委員会(1回)、養護老人ホーム委員会(1回)、軽費・ケアハウス委員会(1回)、デイサービス委員会(2回)

② 研修会等の開催

実践研究大会、施設長研修会、介護職員研修、相談員研修、在宅関係事業所等職員研修、軽費・ケアハウス職員研修、デイサービスセンター職員研修、マナー研修、BCP研修、口腔ケア研修、写真の撮り方研修、法務対策セミナー等の開催

③ その他の活動

九州老人福祉施設職員研究大会(大分大会)、同実行委員会の開催、「介護って素晴らしいフォトコンテスト」の実施、法務対策協議会事業の実施、県福祉保健部職員施設体験実習の受入協力、県との意見交換会、国・県に対する予算要望活動等

(2) 大分県身体障害児者施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会(3回)

② 研修会の開催

職員研修会「自分も相手も大切にコミュニケーション」

③ 国・県等に対する要望活動の実施

- ④ 関係団体会議等への出席
- ⑤ その他県関係の会議出席

(3) 大分県児童養護施設協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（7回）、企画運営委員会（7回）
- ② 研修会等の開催
新任職員研修会、子どもの人権権利擁護研修、社会的養護を考える現場セミナー、社会的養育施設職員等合同研修会、調理師・栄養士等職員研修、施設心理士連絡研修会、職業指導員連絡会、施設看護師連絡研修会 等
- ③ 第64回九州地区児童福祉施設球技大会の運営協力
- ④ 啓発事業
第4回「オレンジリボンたすきリレー」の実施
- ⑤ その他の活動
国・県に対する要望活動の実施

(4) 大分県知的障害者施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（3回）、施設長会（3回）、正副会長会（3回）、研修委員会（3回）、施設長対象部会会議（1回）、職員対象部会会議（1回）、支援スタッフ部会（4回）、球技大会実行委員会（4回）、制度政策委員会（1回）
- ② 研修会の開催
職員研修会（2回）
- ③ 各種スポーツ大会等の開催
第38回大分県ゆうあいスポーツ大会、第54回卓球大会、第22回施設利用者ボウリング大会、親善球技大会（ティーボール・グラウンドゴルフ）
- ④ その他の活動
平成30年7月豪雨に関する義援金募集
国・県に対する要望活動の実施

(5) 大分県就労支援事業所協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（3回）、役員会（2回）、研修委員会（1回）、PR委員会（1回）
- ② 研修会・大会等の開催
施設長研修会（1回）、職員研修会（1回）
- ③ その他の活動
セルフ自動販売機設置事業の推進、報酬改定後の運営に関するアンケート、
国・県に対する要望活動の実施 等

(6) 大分県母子生活支援施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、運営委員会（4回）
- ② 研修会等の開催
職員研修会（2回）
第53回九州ブロック母子生活支援施設研究大会（大分大会）

(7) 大分県里親会

- ① 各種会議等開催
総会（1回）、理事会（5回）
- ② 里親サロン事業（県内6ブロックで実施）
- ③ 里親賠償責任保険業務
- ④ 広報誌「トライアングル」の発行

(8) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、理事会（3回）、幹事会（1回）
- ② 研修会等の開催
職員研修会、ブロック別研修会
- ③ その他の活動
国、県、市町村に対する要望活動の実施

(9) 大分県社会福祉法人経営者協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（2回）
- ② 研修会の開催
法人経営に関する講演会（1回）防災士養成研修（3日間）、制度改革対応セミナー（2回）、BCP（事業継続計画）策定研修（1回）、外国人介護人材受入れに関する研修（1回）、中長期計画策定研修（1回）、法人登記事務説明会（1回）
- ③ その他の活動
組織強化に向けた入会促進、経営協情報の提供
- ④ 国、県に対する要望活動の実施

(10) 大分県社会福祉法人経営青年会

- ① 各種会議等開催
総会（1回）、役員会（2回）
- ② 研修会等の開催
4Eの会、資質向上研修会（2回）等
- ③ その他の活動
組織強化に向けた入会促進

(11) 大分県知的障害児者生活サポート協会

①協会の運営支援

総会（1回）、理事会（2回）、事務担当者連絡会（1回）

②研修会の開催

リスクマネジメント研修

③交流事業

ボウリング大会の実施、お楽しみ抽選会の実施、クリスマスパーティーの実施

6 善意銀行関係・その他事業

(1) 児童就学支度金給付

母子生活支援施設、児童養護施設に入所する子どもで高等学校等へ入学する子に対して支給（1人あたり20,000円） 件数：33名（11施設）

(2) 渡邊昭子傘寿記念奨学基金

児童養護施設に入所児で大学、短大等へ進学する際の入学金、授業料等に対して支給 件数：4名（3施設）

(3) 物品等の寄贈

九州納豆組合（納豆）、大分県農業共済組合（感謝米）等の寄贈物品を児童福祉施設等に対して配分

(4) 老人福祉事業助成金

「老人はげみの里見会」の助成金を県内高齢者施設に対し、車いす、電化製品を配分するとともに、高齢者施設職員への感謝記念品として配分した。

社会貢献推進班

県内社会福祉法人（施設）で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」と連携・協働して、社会福祉法人の地域公益活動（社会貢献活動）の推進のほか、施設職員（CSW）による、制度の狭間で困っている生活困窮者等に対する相談支援事業「おおいたくらしサポート事業」を実施した。

1 社会福祉法人による地域公益活動（社会貢献活動）の推進

県社協及び経営協をはじめとする各種別協議会が連携・協働して地域公益活動（社会貢献）を推進した。

（1）協議会への運営支援

①総会の開催

平成30年6月4日

②大分県社会貢献活動推進運営委員会の開催

第1回 平成30年5月11日

第2回 平成30年11月9日

第3回 平成31年3月11日

（2）社会福祉法人に対する地域公益活動の推進支援

①社会貢献活動助成事業の実施（4法人）

- ・子ども食堂・居場所づくり事業
- ・無料低額宿泊事業・就労支援事業

②「社会貢献活動実践レポート」の作成

- ・買い物支援事業
- ・子ども食堂・学習支援・居場所づくり事業
- ・生活困窮者就労訓練事業
- ・就労準備支援プログラム

③「地域公益活動の展開を考えるセミナー」の実施

- ・期日：平成30年11月9日
- ・講師：大阪子どもの貧困アクショングループ（NPO法人CPAO）
代表 徳丸 ゆき子 氏

（3）「おおいたくらしサポート事業」の推進

①社会福祉法人（施設）のCSWによる生活困窮者等への相談支援事業

- ・経済的援助実人数 84名（現物給付）
- ・相談受付 139件

②人材養成の実施

- ・第7回コミュニティソーシャルワーカー養成研修会の開催
平成30年6月8日・14日・29日（3日間）

- ・第8回コミュニティソーシャルワーカー養成研修会の開催
平成31年2月15日・28日、3月1日（3日間）
- ・“おおいた” 暮らしサポート” 事業事例検討会
（第1回）平成30年6月29日
（第2回）平成30年9月13日（県南ブロック）
平成30年10月4日（県北ブロック）
（第3回）平成30年12月14日
- ③生活困窮者自立支援事業等との連携
 - ・エリア連携会議の開催
 - ・各種会議・研修への参画
- ④暮らしサポート事業の実施体制整備
 - ・CSW 現況・活動調査の実施
 - ・拠点施設 CSW 連絡会議の開催（3回）
 - ・CSW 活動保険の加入
 - ・弁護士との連携体制の整備

（4）広報・啓発活動の実施

- ①事例集の発行
 - ・「社会福祉法人による社会貢献活動事例集 VOL 3」の発行、配布 5,000 部
平成31年1月発行（14法人紹介）
- ②新聞社との連携による発信
 - ・社会福祉法人の社会貢献の取り組みを大分合同新聞で広報

福祉サービス評価センターおおいた

福祉サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的とする福祉サービス評価事業として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施した。

1 福祉サービス評価委員会の開催

| 回数 | 期 日 | 主 な 内 容 |
|-----|-------|--|
| 第1回 | 4月20日 | (1)平成29年度事業実績及び決算見込について (2)平成30年度事業計画及び収支予算について |
| 第2回 | 9月 3日 | (1)平成30年度事業の進捗状況について |
| 第3回 | 2月 8日 | (1)平成30年度事業の進捗について |

2 地域密着型サービス等外部評価審査委員会の開催

| 期 日 | 主 な 内 容 |
|-------|---|
| 3月 1日 | (1)平成30年度評価センター事業経過報告 (2)平成30年度地域密着サービス等外部評価事業経過報告 |

3 評価・調査実績

評価結果は、評価を受けた事業者の同意を得て独立行政法人福祉医療機構の WAM・NET や当センターのホームページに公表し、福祉サービス利用者へ情報提供を行った。

(1) 福祉サービス第三者評価

| 種 別 | H30 件 数 | H29 件 数 | H28 件 数 | H27 件 数 | H26 件 数 |
|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 特別養護老人ホーム | 1 | 2 | 2 | 2 | |
| 通所介護 | 1 | 3 | 1 | 4 | 1 |
| 訪問介護 | | | | 1 | 1 |
| 保育所(認定こども園含む) | 2 | 2 | | 3 | |
| 障害者支援施設 | | 2 | | 1 | 2 |
| 児童養護施設 | 2 | 5 | 2 | 2 | 4 |
| 母子生活支援施設 | | 1 | 2 | | 1 |
| 児童自立支援施設 | | 1 | | | 1 |
| 乳児院 | | 1 | | | 1 |
| 障害児施設 | | 1 | | | 1 |
| 児童心理治療施設 | | 1 | | | |
| 計 | 6 | 19 | 7 | 13 | 12 |

(2) 地域密着型サービス等外部評価

| 種 別 | H30 件 数 | H29 件 数 | H28 件 数 | H27 件 数 | H26 件 数 |
|--|------------|------------|------------|------------|------------|
| 認知症対応型共同生活介護 事業所（認知症高齢者グル ープホーム） | 36 | 57 | 33 | 65 | 46 |
| 小規模多機能型居宅介護支 援事業所 | — | — | — | — | 15 |
| 計 | 36 | 57 | 33 | 65 | 61 |

※平成22年度から、「大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱第3の2」の規定が適用された
場合、外部評価実施回数が緩和されること（2年に1度受審）となったため件数が減少している。

※平成27年度から、大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱及び地域密着型サービス等外部評価実施
要領が改正されたため、小規模多機能型居宅介護支援事業所は外部評価から除外した。

4 研修・会議の開催

| 研 修 名 | 期 日 | 会 場 | 参加者 |
|----------------------------------|----------------|-----------|-----|
| 社会的養護関係施設第三者評価 事業「評価調査者」継続研修会 | 4月 5日 ～ 6日 | 全国社会福祉協議会 | 1名 |
| 社会的養護関係施設第三者評価 事業「評価調査者」養成研修会 | 5月 7日 ～ 10日 | 全国社会福祉協議会 | 1名 |
| 第三者評価調査者及び外部評価 調査員意見交換会 | 9月27日 | 県総合社会福祉会館 | 8名 |
| 福祉サービス第三者評価事業 「評価事業者普及協議会」 | 6月11日 | 全国社会福祉協議会 | 1名 |

5 第三者評価機関に関する情報公開

当センターのホームページに、規程をはじめ評価手数料等を公開している。

I 管理業務の実施状況

1 事業の成果

- (1) 障がい者の社会参加を推進するため、障がい者関係団体、ボランティア等の協力を得て、スポーツ・レクリエーション、趣味・文化及び機能訓練等の各種教室や、共生社会推進のための講座等の文化行事、スポーツ大会等を開催した。また、障がい者関係団体等の会議、研修、訓練の場として幅広く活用いただいた。
- (2) 自主事業として障がい者と県民の交流を目的とした第8回ふれあいフェスタを開催した。大会当日は、ふれあい市、バリアフリー講演会、センターが主催する各種教室受講者による学習成果の披露等を通じ、交流・体験型のイベントとして多くの参加者で賑わった。

2 サービス改善提案事業の成果

(1) 文化芸術地域支援講座

障がい者支援施設や団体等の創作活動等を支援するため、6月と12月に3つの団体に対して講師を派遣した。

(2) 介護予防支援講座

IADL向上に向けた介護予防に関するセルフケアやストレッチングなど生活と運動についての個別指導を平成30年5月から31年3月にかけて実施した。

II 管理施設の利用状況

1 全体の利用状況

| | 平成30年度 | 平成29年度 | 前年対比 |
|------------|---------|---------|--------|
| 開所日数 | 303日 | 301日 | 100.6% |
| 障がい者利用者数 | 25,747人 | 28,460人 | 90.4% |
| 介護者・ボランティア | 11,031人 | 10,850人 | 101.6% |
| 福祉団体等 | 7,732人 | 7,474人 | 103.4% |
| 障がい者以外利用者 | 31,181人 | 31,722人 | 98.2% |
| 総利用者数 | 75,691人 | 78,506人 | 96.4% |

2 利用登録団体

- ① 文化施設利用登録団体 (57団体)
- ② スポーツ団体利用登録団体 (29団体)

3 スポーツ大会の開催

(1) 第16回あすぴあおおいた卓球バレー大会

期 日 平成30年7月1日(日)

参加者 14チーム 122名(うち障がい者 88名)

内 容 卓球台を6人1チームで囲んで対戦する競技。

| 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|-------------------|----------------|----------------|
| 中津ろうタイガー (中津市) | コスモスB (大分市) | コスモスA (大分市) |

(2) 第24回あすぴあおおいたふうせんバレーボール大会

期 日 平成30年6月3日(日)

参加者 12チーム 152名(うち障がい者 75名)

内 容 6人1チームでふうせんを1人必ず1回ずつ触れて、相手チームに返す競技。

| 部 門 | 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 | 交 流 の 部 |
|--------|------------------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 由布ブロック | おおいたふうせんバレーボ- ル振興委員会(宇佐市) | ポップコーン (大分市) | 美多みんシックス (大分市) | 大山うめぐり (日田市) |
| 鶴見ブロック | ゆめいろB (大分市) | ベビーモンスター (大分市) | スカイラブ (大分市) | 糸口学園 (宇佐市) |

(3) 第33回あすぴあおおいたサウンドテーブルテニス大会

期 日 平成30年12月9日(日)

参加者 40名(うち障がい者 17名)

| 部 門 | 優 勝 | 準 優 勝 |
|----------|-------------|-------------|
| 全盲の部(男子) | 山下 美智雄(宮崎県) | 幸 和久(大分県) |
| 全盲の部(女子) | 藤田 泰子(山口県) | 豊武 敦子(大分県) |
| 弱視の部 | 小園 文子(宮崎県) | 歌津 美智子(宮崎県) |
| 弱視の部 特別賞 | 小園 勇(宮崎県) | |

(4) 第14回あすぴあおおいたフライングディスク大会

期 日 平成30年11月25日(日) 10:00~13:00

参加者 69名(うち障がい者 32名)

内 容 アキュラシー(的あて)で、20回投げ、通過したディスクの数で競う。

※ 的までの距離を、1~10投は5m、11~20投は7mで実施。

| 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|-------------|-------------|------------|
| 持田 朗(太陽の家) | 梅田 昇(第一博愛寮) | 広瀬 正男(大分市) |
| 第 四 位 | 第 五 位 | 第 六 位 |
| 平山 大地(太陽の家) | 木部 毅(別府市) | 後藤 容堂(大分市) |

(5) 第33回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会

期 日 平成30年12月9日(日)

参加者 151名(うち障がい者 39名)

※ 会長杯の部、交歓の部それぞれで男子、女子の部門に分けて実施。

| 部 門 | 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|----------------|-------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会長杯の部 [男 子] | 小竹 紀広 (大分市) NEXT | 佐藤 幸恭 (大分市) 大分県障卓連 | 広田 哲也 (大分市) 平川卓球クラブ |
| 会長杯の部 [女 子] | 尾崎ゆかり (大分市) 秋 桜 | 大津美代子 (大分市) NA・SI・KA | 青野 佳子 (大分市) 秋 桜 |
| 交歓の部 [男 子] | 大川 睦男 (大分市) 上宗方卓球 | 守屋 直己 (大分市) 卓三クラブ | 秋吉 暉夫 (大分市) 春日校区体育協 |
| 交歓の部 [女 子] | 工藤 春子 (大分市) 上宗方卓球 | 溝部 悦子 (大分市) NEXT | 橋口まゆみ (大分市) NEXT |

(6) 第5回あすぴあおおいたスポーツ吹矢大会

期 日 平成31年2月10日(日)

参加者 31名(障がい者16名)

内 容 6m先にある的に向けて、吹き矢を放ち、どれだけ多くの点を取るかで競う。

| 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|---------------|----------------|----------------|
| 高橋 正 (大分市) | 糸永 勝一 (大分市) | 半沢 千秀 (大分市) |

4 趣味・文化行事大会の開催

(1) 夢物語作品展

平成30年10月28日(日)～11月30日(金)開催

教室受講生や講師の作品を身障センターの展示スペース(1、2階)にて展示。

(各部門の作品数)

| 展示内容 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 絵画・造形 | 合同作品 | 15 | 15 | 22 |
| 書 道 | 11 | 8 | 6 | 7 |
| 絵 手 紙 | 18 | 53 | 59 | 44 |

(2) 第34回あすぴあおおいた囲碁交流大会

期 日 平成30年6月23日(土)

参加者 8名

内 容 段位、級に応じて置き碁にて実施。

| 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|-------------|------------|-------------|
| 原田 耕一 (大分市) | 高倉 強 (別府市) | 三宮 洋史 (大分市) |

(3) 第34回あすぴあおおいた将棋大会

期 日 平成30年6月23日(土)

参加者 34名(うち障がい者16名)

実施方法 A(有段者)、B(1~5級)、C(初心者等)のレベル別に分かれ対戦。

| 種 目 | 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|------|-------------|-------------|-------------|
| Aクラス | 重見 次生 (宇佐市) | 下河 義秀 (大分市) | 織田秀次郎 (大分市) |
| Bクラス | 辛島 潤 (大分市) | 大澤 信一 (大分市) | 熊谷 博臣 (大分市) |
| Cクラス | 三浦 颯斗 (大分市) | 勝野 陽介 (大分市) | 篠田 一徳 (大分市) |

(4) 第3回あすぴあおおいたオセロ交流大会

期 日 平成31年1月20日(日)

参加者 5名

実施方法 総当たりのリーグ戦を実施した後、トーナメントにより実施。

| 優 勝 | 準 優 勝 | 第 三 位 |
|-------------|------------|-------------|
| 今洲 庄吉 (別府市) | 村尾 猛 (大分市) | 後藤 洋海 (大分市) |

5 ボランティアの育成

(1) センターボランティア登録者数

45名

(2) ボランティアの活動状況(延べ参加人数)

| 区 分 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-------|--------|--------|
| 教 室 | 345 | 221 |
| 大会・行事 | 74 | 36 |

6 講座等の開催

(1) 共生社会推進啓発講座(第1回)

期 日 平成30年11月11日(日) 13:30~15:00

講 師 大分県立美術館 副館長 加藤 康彦氏

内 容 「人生を豊かにする『芸術』に親しむ」

参加者 17名

(2) 共生社会推進啓発講座 (第2回)

期 日 平成30年12月2日(日) 13:30～15:00

講 師 佐伯中央病院 看護副部長 藤崎 郁氏

内 容 「障がい者と共に生きる社会(第1回)」
～当事者の生活を体験して得たこと～

参 加 者 24名

(3) 共生社会推進啓発講座 (第3回)

期 日 平成30年12月16日(日) 13:30～15:00

講 師 社会福祉法人シンフォニー 理事長 村上 和子氏

内 容 「障がい者と共に生きる社会(第2回)」
～知的障がい者と社会との折り合い～

参 加 者 21名

(4) 共生社会推進啓発講座 (第4回)

期 日 平成30年12月23日(日) 13:30～15:00

講 師 大分県立芸術文化短期大学 名誉教授 宮本 修氏

内 容 「人生を豊かにする『音楽』に親しむ」

参 加 者 26名

(5) 共生社会推進啓発講座 (第5回)

期 日 平成31年1月13日(日) 13:30～15:00

講 師 共生社会実現サポート機構とんとんとん 代表 山内 勇人氏

内 容 「障がい者と共に生きる社会(第3回)」
～認知症に向き合い寄り添う地域～

参 加 者 26名

7 障がい者福祉関係機関、団体等への支援協力

(1) 第33回障害者による書道・写真全国コンテスト

主 催 (公財)日本リハビリテーション協会

実施機関 全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)

募集期間 平成30年7月20日(金)～9月14日(金)

内 容 ○書道の部 4点出展(全国 931点応募)

○写真の部 3点出展(全国 165点応募)

○携帯の部 1点出展(全国 19点応募)

* 審査結果 書道の部 奈良 芳和氏 「鶴寿千歳」銅賞
写真の部 南 啓子氏 「朧氣に」銅賞

8 センター利用調整会議

(1) 第1回(平成30年度下半期施設利用調整会議)

日 時 平成30年7月28日(土) 13:30～14:30

団 体 数 26団体 34名

内 容 各施設の利用について、センターへの意見・要望等

(2) 第2回(平成31年度上半期施設利用調整会議)

日 時 平成31年2月23日(土) 13:30～14:30
団 体 数 20団体 20名 手話通訳1名
内 容 各施設の利用について、センターへの意見・要望等

9 運営委員会

日 時 平成31年2月27日(水) 13:30～15:00
内 容 ① 平成30年度事業報告について
② 2019年度事業計画(案)について

10 自主事業

(1) 夏季期間の温水プール個人利用開放

期 日 平成30年7月26日(木)から8月30日(木)までの期間中の木曜日(水曜日は水中リフレッシュ教室、金曜日は水中ウォーキング教室、土・日曜日は団体使用のため、また、火曜日は前日休館によるプール温度調整のため除外)
時 間 10:00～12:00
対 象 障がい者(児)とその介助者

(2) 冬期期間の温水プール個人利用開放

期 日 平成30年11月20日(金)から平成31年3月22日(金)までの期間中の月2回の金曜日の午後13:00～15:00の間を個人利用時間として開放した。
時 間 13:00～15:00
対 象 障がい者(児)とその介助者

(3) あすぴあフェスタ2018の開催

目 的 大分県身体障害者福祉センター(あすぴあおおいた)を広く県民に対して周知を図るとともに障がい者と地域住民との交流、ふれあいを目的とする。
日 時 平成30年10月28日(日) 10:00～15:00
会 場 大分県総合社会福祉会館
参加人数 1,898人
参加料 無 料
アンケート 98人より回答
内 容

<4階>大ホール

10:00～11:20 講演会(木島英登バリアフリー研究所 木島 英登氏)
13:00～13:30 みゅじっくフェスタ①手話劇 「手話サークルはぐるま(夜の部)」
13:30～14:00 みゅじっくフェスタ②ジャズダンス「GENKIっず」
14:10～ お楽しみ抽選会

< 3 階 > 研修室 1・2

10:00～14:00 スポーツ吹矢体験（日本スポーツ吹矢協会大分中央支部）

< 3 階 > 母子・父子福祉センター研修室

10:00～14:00 手話体験、点訳・音訳体験（県聴覚障害者協会、県盲人協会）

< 3 階 > 母子・父子福祉センター和室

10:00～14:00 メンタルヘルス相談（大分メンタルヘルスネット）

< 2 階 > 視聴覚室

10:00～14:00 まちの保健室（県看護協会）

< 2 階 > 生活訓練室（洋室）

11:00～14:00 電気の秘密、びっくりポン（チーム2℃おおいた協議会）

< 2 階 > 生活訓練室（和室）

10:00～14:00 おもちゃの広場（おもちゃ図書館まこと）

< 2 階 > 創作作業室

10:00～14:00 かんたんDIY（寺司 孝志氏）

< 1・2 階 > 掲示板

10:00～15:00 夢物語作品展～教室受講者の作品（絵画・造形、書道、絵手紙）の展示

< 1 階 > 体育室

10:00～14:00 ふれあい市 各種雑貨・軽食を販売

10:00～14:00 絵手紙ライブ（日本絵手紙協会認定講師 原野彰子氏）

< 1 階 > 療育訓練室

10:00～14:00 サウンドテーブルテニス体験（めじろんクラブ）

< 1 階 > 卓球室

10:00～14:00 卓球バレー体験（卓球バレー大分&コスモス）

1.1 職員の会議、研修等への参加状況等

（1）身障センター内職員研修

第1回

期 日 平成30年7月5日（木）～6日（金）

内 容 窓口受付事務等について

場 所 事務室内

参加者 5名

第2回

期 日 平成30年11月14日（水）

内 容 障害者差別解消法、県条例等について

場 所 事務室内

参加者 7名

第3回

期 日 平成31年3月7日（木）

内 容 「防災・部分避難訓練」

会 場 県身体障害者福祉センター

参加者 5名

(2) 研修会

- ① (前期) 社会福祉施設等新任職員研修
期 日 平成30年4月19日(木)～20日(金)
場 所 県社会福祉介護研修センター
内 容 行政説明、講義、演習
参加者 1名
- ② (後期) 社会福祉施設等新任職員研修
日 時 平成30年5月17日(木)～18日(金)
場 所 県社会福祉介護研修センター
内 容 講義、演習
参加者 1名
- ③ 水泳プール安全管理者講習会
期 日 平成30年5月22日(月) 13:30～16:30
場 所 大分県教育センター 講堂
参加者 1名
- ④ 日本赤十字社水上安全法救助員継続研修会
期 日 平成30年6月6日(火) 10:00～15:00
会 場 日本赤十字社大分支部3階会議室
参加者 1名
- ⑤ 経営協(接遇マナー研修)
期 日 平成30年7月11日(水)
内 容 「ホスピタリティを表現する接遇マナー研修」
会 場 4階大ホール
参加者 1名
- ⑥ 日本赤十字社救急法基礎研修
期 日 平成30年7月11日(水)
会 場 日本赤十字社大分支部3階会議室
参加者 1名
- ⑦ 防災士フォローアップ研修会
期 日 平成30年8月28日(火)
会 場 ホルトホール大分
内容① 第1部「近年の豪雨災害から得られた教訓」
講 師 大分地方気象台長 北崎 康文 氏
内容② 第2部「間違っていないですか?」
講 師 気象予報士・防災アドバイザー 花宮 廣務 氏
参加者 1名 (防災士資格者)
- ⑧ 平成30年度障害者福祉センター職員等管理運営研修会・総会
期 日 平成31年2月14日(木)～15日(金)
会 場 東京都
内 容 行政説明、分科会、全体会、特別講演
参加者 1名
- ⑨ 平成30年度職場内人権研修会
期 日 平成31年3月19日(火)～20日(水)
会 場 視聴覚室・生活訓練室(洋室)
内 容 人権研修 参加者 6名

(3) 視察

① 蔚山障害者総連連合会視察

期 日 平成30年6月21日(木) 14:00～15:30

会 場 生活訓練室(洋室)

参加者 23名

② 大分市立日岡小学校 特別支援学校 遠足

期 日 平成30年10月19日(金) 10:00～14:00

会 場 温水プール、卓球室、洋室

参加者 18名

③ 韓国聴覚障害者福祉協会視察

期 日 平成30年10月30日(火) 13:30～14:00

会 場 施設見学

参加者 18名

(4) 会議

① 日本オストミー協会大分県支部 第30回通常総会

期 日 平成30年4月27日(金) 10:30～11:20

場 所 県身体障害者福祉センター 視聴覚室

内 容 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画他

参加者 1名

② 大分県障害者社会参加推進協議会定期総会

期 日 平成30年5月25日(金) 13:30～

会 場 県母子・父子福祉センター 会議室

参加者 1名

③ 指定管理者評価部会

期 日 平成30年8月7日(火) 11:30～12:30(現地調査)

” 14:35～15:20(第三者評価)

会 場 県庁舎1階12会議室

参加者 3名

④ 県監査事務局の監査

期 日 平成30年11月29日(木)～30日(金)

会 場 視聴覚室

参加者 3名

⑤ 社会福祉施設の指導監査

期 日 平成30年12月14日(金)

会 場 生活訓練室(洋室)

参加者 3名

⑥ 平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業補助金報告会

期 日 平成30年12月21日(金)

会 場 生活訓練室(洋室)

参加者 2名

1 2 大会等への参加

- (1) 第37回24時間マラソンスポーツ大会
 期 日 平成30年8月25日(土)
 会 場 体育室
 参加者 1名
- (2) 第15回大分県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会
 期 日 平成30年9月20日(木) 10:00～
 [降雨のため開会式直前に中止決定]
 会 場 七瀬川自然公園グラウンド(大分市)
 参加者 1名
- (3) 第18回全国障害者スポーツ大会大分県選手団結団式
 期 日 平成30年9月28日(金)
 会 場 大分県庁本館2階 正庁ホール
 参加者 1名
- (4) 第33回大分県身体障がい者ゲートボール大会
 期 日 平成30年10月25日(木)
 会 場 七瀬川自然公園グラウンド(大分市)
 参加者 1名
- (5) ときめき作品展 開会式
 期 日 平成30年11月1日(木)
 会 場 iichko アトリウムプラザ
 参加者 1名 ※センターの絵画・造形教室参加者全員による合作の造形作品を出展

1 3 施設・設備の維持管理状況

(1) 施設維持管理

① 温水プールの水質検査 ※ 各項目とも検査基準に適合

(毎日) 残留塩素、水温管理：センター職員による測定

(毎月) 委託業者(株) エスク横浜分析センター

| 検 査 項 目 | 検 査 日 |
|-----------------------|-----------------|
| ア 水素イオン濃度 | 4月 4日 ; 10月 27日 |
| イ 濁度 | 5月 8日 ; 11月 27日 |
| ウ 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) | 6月 1日 ; 12月 8日 |
| エ 大腸菌 | 7月 3日 ; 1月 15日 |
| オ 一般細菌 | 8月 15日 ; 2月 5日 |
| | 9月 5日 ; 3月 2日 |

(年1回) 委託業者(株) エスク横浜分析センター

| 検 査 項 目 | 検 査 日 |
|--|-------|
| ア 総トリハロメタン(クロホルム、ジブromクロロメタン、プロモジクロロメタン、ブromホルム) | 8月 7日 |
| イ レジオネラ属菌 | |

② 温水プール水の入替および掃除 委託業者：(株) メンテナンス

- ア 平成30年7月30日(月) 8:00～14:00
- イ 平成30年10月1日(月) 8:00～14:00
- ウ 平成31年3月25日(月) 8:00～14:00

③ 消防設備関連 委託業者：(株) メンテナンス

- ア 消防設備点検 平成30年8月27日(月)、平成31年2月20日(水)
- イ 消防部分訓練 平成31年3月7日(木) 身障センター内
- ウ 総合防災訓練 平成31年3月7日(木) 総合社会福祉会館敷地内

(2) 県施設整備

- ① 濾過機交換設置工事 (平成31年1月)
- ② プール更衣室換気工事 (平成31年1月)
- ③ 体育室換気装置設置工事 (平成31年1月)
- ④ エアロバイク備品更新 (平成31年3月)

(3) 小修繕工事

| | 修繕内容 | 修繕月 |
|---|------------------------|-----|
| ① | 卓球ブラインド破損により遮光カーテン改修工事 | 5月 |
| ② | プール女子用トイレ水栓レバー工事 | 5月 |
| ③ | 赤色灯非常バッテリー等交換工事 | 5月 |
| ④ | プール掃除ロボット修繕 | 9月 |
| ⑤ | 交流談話室椅子張替 | 9月 |
| ⑥ | プール送風Vベルト3本交換 | 12月 |
| ⑦ | 卓球台キャスター交換 | 12月 |
| ⑧ | 卓球室ブラインド改修工事 | 3月 |
| ⑨ | プール壁防かび工事 | 3月 |
| ⑩ | 視聴覚室プロジェクター設置工事 | 3月 |

(4) 省力化の取り組み

- ① バコテンボイラーの制御タイマーによる調整
- ② 冷暖房空調機の温度管理(遠隔操作盤設置)
- ③ 各部屋空調の温度管理(温度コントローラ設置)
- ④ LED照明改修による電力省力化
- ⑤ 小便器の節水用個別センサー排水装置設置による水道の節水
- ⑥ ガス契約(ディマンド)によるガス基本料の低減
- ⑦ 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(CO2削減ポテンシャル診断受診)

1.4 広報の状況

(1) ホームページ等による情報提供 URL <http://www.sc-oita.net/>

- ① 行事・お知らせ等の最新情報(随時更新)
- ② 施設予約状況の案内

(ホームページアクセス件数) 36,611件(平成29年度 45,675件)

(2) 印刷物による広報

| No. | 内 容 | 枚 数 | 配 布 先 |
|-----|------------------|----------|----------------|
| ① | センター主催教室受講生募集 | 2, 000部 | 各関係機関、施設、受講生 |
| ② | 利用案内（プール用） | 100部 | 利用者用 |
| ③ | 利用案内（体育室・卓球室） | 100部 | 利用者用 |
| ④ | 年報（平成29年度版） | 200部 | 各関係機関、施設等 |
| ⑤ | あずびあフェスタ2018 ちらし | 26, 000部 | 利用登録者、地域住民、施設等 |

(3) テレビCM等による広報

OCN 大分ケーブルネットワークにおいて、1ヶ月間ふれあいフェスタの開催案内を放映。

1.5 関係機関との連携状況（NPO団体等との連携による教室・大会の開催）

(1) 各種教室実施に係る連携

- ①親子水泳教室 [県障害者福祉水泳指導者協会]
- ②スポーツ吹矢教室 [大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部]
- ③水中リフレッシュ教室・いきいきリフレッシュ教室
[NPO法人にここフィットネス協会]

(2) 各種大会開催に係る連携

- ①卓球バレー大会 [大分県卓球バレー協会]
- ②県社協会長杯卓球大会 [大分県障害者卓球連盟]
- ③秋の交歓会 卓球バレー・ふうせんバレーボール大会 [県障害者社会参加推進協議会]
- ④ふうせんバレーボール大会 [大分県ふうせんバレーボール協会]
- ⑤サウンドテーブルテニス大会 [大分県障害者卓球連盟]
- ⑥フライングディスク大会 [大分県フライングディスク協会]
- ⑦スポーツ吹矢大会 [大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部]
- ⑧24時間スポーツマラソン大会 [24時間スポーツマラソン大会実行委員会]

1.6 利用者満足度調査（アンケート調査の実施）

| | 調査時期 | 対象者（人数・団体数） |
|-----|--------|--------------------|
| 第1回 | 1月～2月 | 会議室等利用団体（登録57団体） |
| 第2回 | 1月～2月 | スポーツ施設使用団体（登録29団体） |
| 第3回 | 通年・適宜 | 個人の利用者（一般を含む） |
| 第4回 | 教室等終了時 | 教室等受講者 |

1.7 サービス改善事業

(1) 文化芸術地域支援事業

「地域で障がい者の芸術体験をしたい」その活動のヒントやアイデアがほしい障がい者支援施設・団体等に対し、創作活動（書道、絵手紙、おりがみ）に講師を派遣。

| No. | 期 日 | 受講人数 | 内 容 | 講 師 | 派 遣 先 |
|-----|-----------|------|-----------|--------|----------|
| 1 | 6月24日(日) | 55名 | 曼荼羅アート | 溝邊 恵 | 県身障協 |
| 2 | 12月16日(日) | 11名 | クイリングペーパー | 山下 かの子 | 県発達支援親の会 |
| 3 | 12月23日(日) | 60名 | ライブペイント | 芳賀 健太 | 県身障協 |

(2) 介護予防支援講座等の開催

① プールパーソナルレッスン

期 間 平成30年5月～31年3月
 講 師 稲田 亜紀（日本水泳連盟 基礎水泳指導員）
 内 容 水泳の個人指導を通じて、身体機能の向上等につなげる。
 開催回数 計185回 受講者数 延185名

② トレーニングアドバイス

期 日 平成30年5月～平成31年3月
 講 師 芝崎 信也（体操訓練士） [センター職員]
 内 容 機能回復訓練室の機器を使用して個別の運動能力に応じた個別指導を実施した。
 開催回数 計 44回 受講者数 延べ44名

③ 健康体操教室

期 日 平成30年5月～平成31年3月
 講 師 芝崎 信也（体操訓練士） [センター職員]
 内 容 日々の生活に取り入れやすい体位を座位、立位、臥位等で行う。
 開催回数 計20回 受講者数 延べ94名

④ いきいきリフレッシュ教室

期 日 平成30年11月～平成31年2月
 講 師 岡田 理絵（NPO法人にこにこフィットネスクラブ）
 内 容 ふだん動かしていない身体の各部を動かし、活性化し、日常の健康の維持と参加者同士の交流を図る。
 開催回数 計10回 受講者数 延べ106名

⑤ リハビリ運動教室

期 日 平成30年5月～平成31年2月
 講 師 大平 高正（ハートリハ ソラ・理学療法士）
 内 容 健康に毎日を過ごすための生活の見直し、大病にかからないための予防法を学ぶ。
 開催回数 計10回 受講者数 延べ71名

2 教室別参加人数内訳

(1) スポーツ・レクリエーション教室

| 教室・講座・大会名 | 回数 | 受講者・参加者内訳 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-------------|----|-----------|----|----|-----|----|----|-----|-----|------------|-----|-----------|-------|----|
| | | 障がい者 | | | | | | | 介護 | ボラン ティア | 福祉 | その他 一般 | | |
| | | 肢体 | 視覚 | 聴言 | 知的 | 内部 | 精神 | 小計 | | | | | | |
| 親子スポーツ教室 | 10 | 11 | 2 | 9 | 45 | 0 | 23 | 90 | 55 | 0 | 31 | 0 | 176 | |
| 親子スポーツ教室 | 10 | 0 | 0 | 0 | 107 | 0 | 0 | 107 | 54 | 0 | 31 | 0 | 192 | |
| 親子水泳教室 | 10 | 13 | 0 | 0 | 40 | 0 | 21 | 74 | 107 | 35 | 31 | 0 | 247 | |
| 卓球バレー教室 | 12 | 15 | 0 | 0 | 70 | 0 | 3 | 88 | 59 | 7 | 22 | 0 | 176 | |
| スポーツ吹矢教室 | 10 | 16 | 0 | 9 | 42 | 0 | 1 | 94 | 19 | 6 | 30 | 0 | 149 | |
| ミニテニス教室 | 10 | 23 | 0 | 0 | 70 | 1 | 0 | 68 | 63 | 15 | 40 | 0 | 186 | |
| ポッチャ教室 | 9 | 19 | 0 | 0 | 67 | 0 | 4 | 90 | 12 | 10 | 20 | 0 | 132 | |
| フライングディスク教室 | 4 | 6 | 0 | 1 | 23 | 0 | 2 | 32 | 13 | 9 | 10 | 0 | 64 | |
| 計(a) | 75 | 103 | 2 | 19 | 464 | 1 | 54 | 643 | 382 | 82 | 215 | 0 | 1,322 | |

(2) 趣味・文化教室

| 教室・講座・大会名 | 回数 | 受講者・参加者内訳 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----------|----|-----------|----|----|-----|----|----|-----|-----|------------|-----|-----------|-------|----|
| | | 障がい者 | | | | | | | 介護 | ボラン ティア | 福祉 | その他 一般 | | |
| | | 肢体 | 視覚 | 聴言 | 知的 | 内部 | 精神 | 小計 | | | | | | |
| 料理教室A | 10 | 26 | 10 | 1 | 51 | 9 | 0 | 97 | 20 | 27 | 22 | 0 | 166 | |
| 料理教室B | 10 | 13 | 0 | 7 | 44 | 2 | 0 | 66 | 20 | 29 | 22 | 0 | 137 | |
| 絵画・造形教室 | 10 | 38 | 0 | 0 | 44 | 0 | 6 | 88 | 63 | 17 | 20 | 0 | 188 | |
| 書道教室 | 10 | 39 | 0 | 0 | 37 | 7 | 1 | 84 | 28 | 11 | 29 | 0 | 152 | |
| 絵手紙教室 | 9 | 73 | 0 | 0 | 42 | 0 | 13 | 128 | 31 | 31 | 29 | 0 | 219 | |
| パソコン教室 | 10 | 35 | 17 | 0 | 23 | 0 | 6 | 81 | 13 | 8 | 44 | 0 | 146 | |
| おりがみ教室 | 10 | 21 | 10 | 0 | 22 | 0 | 3 | 56 | 31 | 18 | 23 | 0 | 128 | |
| 計(b) | 69 | 245 | 37 | 8 | 263 | 18 | 29 | 600 | 206 | 141 | 189 | 0 | 1,136 | |

(3) 機能訓練教室

| 教室・講座・大会名 | 回数 | 受講者・参加者内訳 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----------------|----|-----------|----|----|----|----|----|-----|-----|------------|-----|-----------|-------|----|
| | | 障がい者 | | | | | | | 介護 | ボラン ティア | 福祉 | その他 一般 | | |
| | | 肢体 | 視覚 | 聴言 | 知的 | 内部 | 精神 | 小計 | | | | | | |
| 水中ウォーキング教室 | 15 | 190 | 0 | 0 | 0 | 17 | 0 | 207 | 39 | 29 | 31 | 0 | 306 | |
| 水中リフレッシュ教室 | 13 | 111 | 0 | 0 | 4 | 13 | 1 | 129 | 36 | 10 | 29 | 0 | 204 | |
| いきいきリフレッシュ教室 | 13 | 84 | 0 | 0 | 9 | 13 | 0 | 106 | 38 | 10 | 27 | 0 | 181 | |
| お手軽健康体操教室 | 20 | 77 | 0 | 0 | 0 | 17 | 0 | 94 | 29 | 25 | 33 | 0 | 181 | |
| リハビリテーション教室 | 10 | 43 | 0 | 4 | 15 | 9 | 0 | 71 | 26 | 24 | 19 | 0 | 140 | |
| こころのリハビリテーション教室 | 6 | 11 | 0 | 6 | 10 | 7 | 7 | 41 | 16 | 10 | 86 | 64 | 217 | |
| 計(c) | 77 | 516 | 0 | 10 | 38 | 76 | 8 | 648 | 184 | 108 | 225 | 64 | 1,229 | |

(4) 自主教室・講座等

| 教室・講座・大会名 | 回数 | 受講者・参加者内訳 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------------------|-----|-----------|----|----|-----|----|----|-----|-----|------------|-----|-----------|-----|----|
| | | 障がい者 | | | | | | | 介護 | ボラン ティア | 福祉 | その他 一般 | | |
| | | 肢体 | 視覚 | 聴言 | 知的 | 内部 | 精神 | 小計 | | | | | | |
| ブルーパーソナルレッスン | 186 | 63 | 0 | 9 | 79 | 20 | 15 | 186 | 84 | 0 | 186 | 0 | 456 | |
| トレーニング&アドバイス | 44 | 26 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 44 | 12 | 0 | 44 | 0 | 100 | |
| 人生を豊かにする「芸術」に親しむ | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 7 | 2 | 3 | 3 | 2 | 17 | |
| 障害者と共に生きる社会(1) | 1 | 4 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 8 | 6 | 2 | 3 | 5 | 24 | |
| 障害者と共に生きる社会(2) | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 7 | 1 | 3 | 4 | 21 | |
| 人生を豊かにする「音楽」に親しむ | 1 | 4 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 8 | 3 | 4 | 4 | 7 | 26 | |
| 障害者と共に生きる社会(3) | 1 | 5 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 | 13 | 2 | 4 | 6 | 1 | 26 | |
| 計(d) | 235 | 108 | 3 | 13 | 102 | 25 | 21 | 272 | 116 | 14 | 249 | 19 | 670 | |

(5) 大会等

| 教室・講座・大会名 | 回数 | 受講者・参加者内訳 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|---------------------|----|-----------|----|----|----|----|----|-----|-----|------------|-----|-----------|-----|----|
| | | 障がい者 | | | | | | | 介護 | ボラン ティア | 福祉 | その他 一般 | | |
| | | 肢体 | 視覚 | 聴言 | 知的 | 内部 | 精神 | 小計 | | | | | | |
| ふうせんバレーボール大会(第24回) | 1 | 26 | 9 | 4 | 31 | 5 | 0 | 75 | 17 | 11 | 49 | 0 | 152 | |
| 囲碁大会(第34回) | 1 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 | 8 | |
| 将棋大会(第34回) | 1 | 11 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 16 | 7 | 1 | 3 | 7 | 34 | |
| 卓球バレー大会(第16回) | 1 | 54 | 0 | 7 | 16 | 3 | 8 | 88 | 17 | 4 | 13 | 0 | 122 | |
| サウンドテーブルテニス大会(第33回) | 1 | 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 5 | 6 | 12 | 0 | 40 | |
| フライングディスク大会(第14回) | 1 | 9 | 0 | 3 | 20 | 0 | 0 | 32 | 25 | 2 | 10 | 0 | 69 | |
| 県社協会長杯卓球大会(第33回) | 1 | 22 | 1 | 1 | 9 | 0 | 6 | 39 | 50 | 1 | 4 | 57 | 151 | |
| オセロ大会(第3回) | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 2 | 3 | 0 | 11 | |
| スポーツ吹矢大会(第5回) | 1 | 2 | 0 | 3 | 9 | 0 | 2 | 16 | 5 | 2 | 10 | 0 | 33 | |
| 計(e) | 9 | 131 | 27 | 20 | 86 | 8 | 21 | 293 | 127 | 29 | 107 | 64 | 620 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----|-------|----|----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|
| 教室・講座等 総計(a~e) | 465 | 1,103 | 69 | 70 | 953 | 128 | 133 | 2,456 | 1,015 | 374 | 985 | 147 | 4,977 |
|----------------|-----|-------|----|----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|

Ⅲ 平成30年度の教室・講座等の開催

1 教室・講座等の開催

(1) スポーツ・レクリエーション教室

| No. | 教室名 | 内容 | 期間 | 回数 | 時間 | 講師 |
|-----|-------------|--|---------------------|------|----------------------------|--------------------------|
| 1 | 親子スポーツ教室A/B | トランポリンなどを使った様々な運動で体を動かし、スポーツの楽しさを体感します。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 各10回 | 13:30～15:00 15:00～16:30 | 山崎 陽二 フィットネストレーナー |
| 2 | 親子水泳教室 | 水に慣れることや泳ぎの基本を学び、遊泳の楽しさを体感します。 | 平成30年5月～11月 | 10 | 10:00～11:30 | 藤本 正広 県障がい者福祉水泳協会 |
| 3 | 卓球バレー教室 | 6人1チームで卓球台を囲み、障がいの程度に関係なく楽しむことのできる競技です。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 12 | 10:00～11:30 | 佐藤 貞子 県卓球バレー協会公認指導員 |
| 4 | ミニテニス教室 | やわらかいスポンジボールを使ったミニテニス！テニスを楽しまたい方に最適な教室です。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 10 | 10:00～12:00 | 福島 文男 Spash代表 |
| 5 | スポーツ吹矢教室 | 複式呼吸を応用した「スポーツ吹矢式呼吸」で健康増進を図り、的を狙う楽しさを体感できます。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 10 | 10:00～11:30 | 大西 寛 県スポーツ吹矢協会 |
| 6 | ポッチャ教室 | パラリンピックの公式種目で「床の上のカーリング」とも呼ばれています。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 9 | 10:00～12:00 | 渡辺 法子 ポッチャス分代表 |
| 7 | フライングディスク教室 | 円盤(ディスク)を遠くに投げたり、標的の輪をめがけて投げる競技です。 | 平成30年5月～11月 | 4 | 10:00～12:00 | 大分県障害者フライングディスク協会 指導者 |

(2) 趣味・文化 教室

| No. | 教室名 | 内容 | 期間 | 回数 | 時間 | 講師 |
|-----|-----------------|---|---------------------|------|-------------|-----------------------|
| 8 | 料理教室A(土曜)/B(日曜) | 地元の旬の食材を使った料理を作り、楽しい時間を過ごします。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 各10回 | 10:00～13:00 | 櫻井 キヨ 食生活改善推進指導員 |
| 9 | 絵画・造形教室 | 絵画をはじめとした芸術にふれ、絵を描くことや工作することの楽しさを学べます。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 10 | 13:30～15:30 | 梅本 弥生 梅本美術研究所代表 |
| 10 | 書道教室 | 日常的に使うペン字や筆ペンを使った熨斗書きの他、毛筆や硬筆を楽しく学びます。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 10 | 13:30～15:30 | 河野 悦子 県美術協会会員 |
| 11 | 絵手紙教室 | 四季の野菜・果物・花などを題材にし、絵手紙を作成します。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 9 | 10:00～12:00 | 原野 彰子 絵手紙協会認定講師 |
| 12 | パソコンアドバイス教室 | ワードやエクセルの実用的な機能を中心に学びます。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 10 | 10:00～12:00 | 佐藤 清一 ボランティアみちの会代表 |
| 13 | おりがみ教室 | おりがみで季節を感じる作品を作り、手先と頭を活性化し、楽しい時間を過ごします。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 10 | 10:00～12:00 | 羽田 清子 日本おりがみ学会指導員 |

(3) 機能訓練 教室

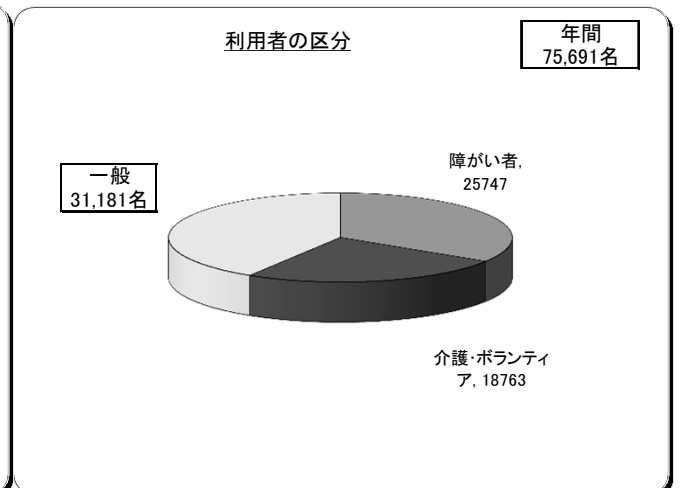
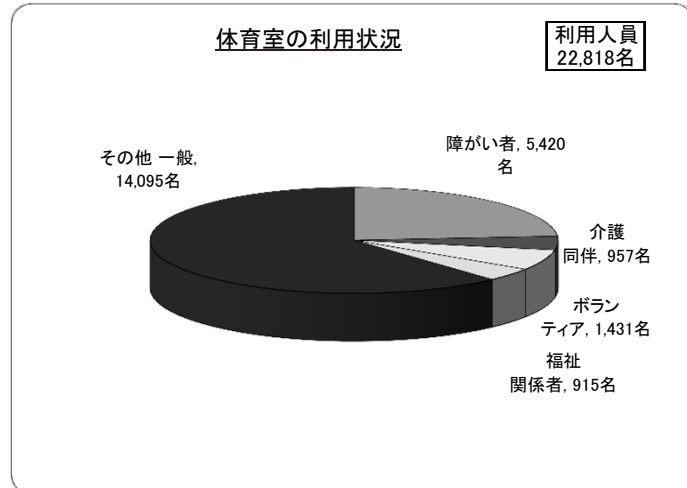
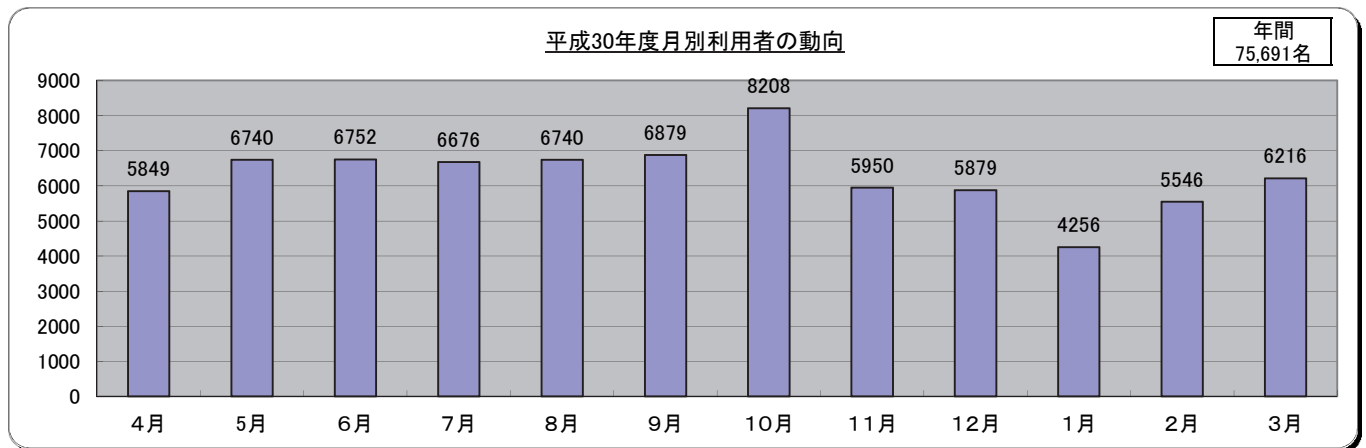
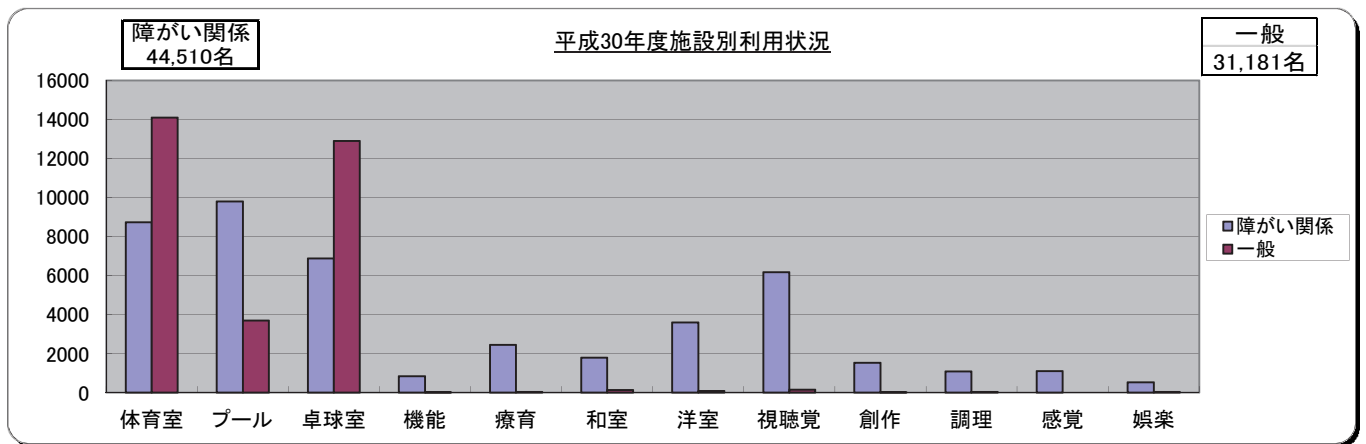
| No. | 教室名 | 内容 | 期間 | 回数 | 時間 | 講師 |
|-----|-----------------|--|----------------------|-----|-------------|----------------------------|
| 14 | 水中ウォーキング教室 | 温水プールで歩くことの楽しさを体感し、リハビリにつながります。 | 平成30年5月～10月 | 15 | 10:30～12:00 | 木城八都子 フィットネストレーナー |
| 15 | 水中リフレッシュ教室 | 入水前の体操や温水プール内では、普段使わない身体を意識して使い、身体機能を高めます。 | 平成30年5月～10月 | 13 | 10:30～11:30 | 岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネス協会 |
| 16 | いきいきリフレッシュ教室 | 日常生活でも取り組める簡単な運動を学んでいきます。 | 平成30年11月 ～平成31年2月 | 13 | 10:30～11:30 | 岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネス協会 |
| 17 | 健康体操教室 | 日々の生活に取り入れやすい体操を紹介します。立位、座位、臥位で運動を行います。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 20 | 10:30～12:00 | 芝崎 信也 体操訓練士 |
| 18 | リハビリ運動教室 | 健康に毎日を過ごすための生活の見直し、大病にかからないための予防方法を学びます。 | 平成30年5月 ～平成31年2月 | 10 | 10:30～11:30 | 大平 高正 ハートリハビリPT |
| 19 | こころのリハビリテーション教室 | 健やかな毎日を過ごすために、心とからだを整えるいくつかの療法について学びます。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 6 | 13:60～15:00 | 中村 廣光 大分メンタルヘルスネット代表 |
| 20 | 水泳パーソナルレッスン | 温水プールでの遊泳の楽しさを体感し、リハビリにつながります。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 186 | 10:30～12:00 | 稲田 亜紀 日本水泳連盟基礎水泳指導員 |
| 21 | トレーニングパーソナルレッスン | 様々な運動や測定などをしながら、健康増進を図り、介護予防に繋げる方法を学びます。 | 平成30年5月 ～平成31年3月 | 44 | 10:30～12:00 | 芝崎 信也 体操訓練士 |

(4) 共生社会推進啓発講座

| No. | 講座名 | 内容 | 期間 | 回数 | 時間 | 講師 |
|-----|------------------|-----------------|----------------|----|-------------|-----------------------------------|
| 1 | 人生を豊かにする「芸術」に親しむ | 古今東西の絵画の魅力 | 平成30年11月11日(日) | 1 | 13:30～15:00 | 加藤 康彦 県立美術館 副館長 |
| 2 | 障害者と共に生きる社会(1) | 当事者の生活を体験して得たこと | 平成30年12月2日(日) | 1 | 13:30～15:00 | 藤崎 郁 佐伯中央病院看護副部長 |
| 3 | 障害者と共に生きる社会(2) | 知的障がい者と社会との折り合い | 平成30年12月16日(日) | 1 | 13:30～15:00 | 村上 和子 社会福祉法人シンフォニー理事長 |
| 4 | 人生を豊かにする「音楽」に親しむ | 心をふるわす音楽の魅力 | 平成30年12月23日(日) | 1 | 13:30～15:00 | 宮本 修 県立芸術文化短期大学名誉教授 |
| 5 | 障害者と共に生きる社会(3) | 認知症に向き合い寄り添う地域 | 平成31年1月13日(日) | 1 | 13:30～15:00 | 山内 勇人 共生社会実現サポート機構 とんとんとん代表 |

IV 平成30年度 施設別・障がい別利用状況表

| | 団 体 利 用 | | | | | 個 人 利 用 | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-----------|---------|----------|------------|-----------|-----------|---------|----|-----|-----|-----|-----|----------|------------|-----------|-----------|--|----|--------|
| | 障がい者 | 介護 同伴 | ボラン ティア | 福祉 関係者 | その他 一般 | 肢体 | 視覚 | 聴、言 | 知的 | 内部 | 精神 | 介護 同伴 | ボラン ティア | 福祉関 係者 | その他 一般 | | | |
| 体 育 室 | 5,420 | 957 | 1,431 | 915 | 14,095 | | | | | | | | | | | | | 22,818 |
| 温 水 プ ー ル | 4,149 | 2,160 | 99 | 687 | 1,036 | 1,193 | 40 | 9 | 421 | 200 | 60 | 533 | 246 | 0 | 2,654 | | | 13,487 |
| 卓 球 室 | 351 | 35 | 49 | 51 | 53 | 4,518 | 6 | 897 | 279 | 288 | 396 | 8 | 0 | 0 | 12,837 | | | 19,768 |
| 機能回復訓練室 | 40 | 11 | 0 | 40 | 0 | 553 | 8 | 21 | 33 | 54 | 22 | 56 | 2 | 1 | 24 | | | 865 |
| 療 育 訓 練 室 | 1,328 | 414 | 430 | 279 | 29 | | | | | | | | | | | | | 2,480 |
| 生活訓練室(和) | 622 | 351 | 480 | 340 | 137 | | | | | | | | | | | | | 1,930 |
| 生活訓練室(洋) | 1,296 | 273 | 498 | 1,526 | 92 | | | | | | | | | | | | | 3,685 |
| 視 聴 覚 室 | 1,414 | 542 | 1,019 | 3,196 | 157 | | | | | | | | | | | | | 6,328 |
| 創 作 作 業 室 | 762 | 214 | 233 | 321 | 6 | | | | | | | | | | | | | 1,536 |
| 調 理 実 習 室 | 678 | 121 | 165 | 128 | 32 | | | | | | | | | | | | | 1,124 |
| 感 覚 訓 練 室 | 434 | 172 | 372 | 132 | 0 | | | | | | | | | | | | | 1,110 |
| 娛 楽 室 | 255 | 63 | 97 | 116 | 29 | | | | | | | | | | | | | 560 |
| 合計 | 16,749 | 5,313 | 4,873 | 7,731 | 15,666 | 6,264 | 54 | 927 | 733 | 542 | 478 | 597 | 248 | 1 | 15,515 | | | 75,691 |



社会福祉介護研修センター

平成30年度は、第3期指定管理者（平成28～32年度）としての3年目になり、「2018大分県社会福祉介護研修センター研修体系」に基づき、福祉に関わる行政職員や施設職員等の資質の向上を図るとともに、県民への福祉・介護に対する正しい知識の普及と介護技術の向上に努めた。

具体的には、社会福祉施設等の職員を対象に、階層別・職種別に業務遂行に必要な知識・技術の習得のための研修をはじめ、認知症介護実践者研修や排泄ケア、看取りケア等ニーズの高い専門研修を行うとともに、障がい者の自立を支援する相談支援従事者の専門性を高める研修や放課後児童支援員の資格認定に係る専門研修等を開催したほか、指定研修実施機関として介護支援専門員研修を実施した。

一般県民向けの講座では、超高齢社会の進展に伴い、要介護状態に陥りやすい高齢者の増加、とりわけ一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれることから、基本的な介護技術を学ぶ「介護技術教室」で新たに「洗髪・陰部浴」を実施するとともに、心と体の健康、ひいては健康寿命の延伸や認知症予防につながる「太極拳・気功体験」、「笑いヨガ体験」、「園芸療法」、「折り紙教室」及び、知識を深める「看取りを知る教室」、「介護保険を知る教室」等の多様な研修を開催した。

さらには、第3期指定管理のサービス改善提案事業として「福祉用具・介護ロボット地域普及・啓発事業」に取組み、地域の高齢者等の集会で、福祉用具・介護ロボットを活用したケアの紹介、試用体験等を行い、県内全域での普及・啓発を推進した。

また、介護ロボットの無料貸出を行い、実際の有用性を実感してもらうことにより、福祉施設での導入促進を図った。

その他、県の指定を受け、介護支援専門員実務研修受講試験を実施したほか、センター施設を地域に開放し、大分県保健医療団体協議会等と連携して、健康や介護予防に関する体験・相談コーナーを設けるとともに、福祉用具アイデア作品展を実施するなど県民参加型の「センターまつり」を開催した。

課題である福祉・介護人材確保対策としては、新たに、介護現場における職員の離職防止・定着促進等を図るための「ノーリフティングケア（持ち上げない・抱え上げない・引きずらない）導入促進事業」や子育てが一段落した人や定年退職者などを対象とした「介護入門者研修」を実施するとともに、課題の共有化、解決のための協議・情報交換を行う福祉人材確保推進会議の開催、福祉のしごと就職フェアの地域開催や、介護の仕事に関心を有する者に職場を体験する機会を提供したり、ハローワークでの相談等を通じ、福祉・介護現場への参入促進を行った。

介護研修・総合相談部

【介護実習・普及センター事業】

少子高齢社会において、家庭及び地域における介護機能の強化と、県民の健康寿命を伸ばすため、認知症予防や介護予防の推進など、個人の尊厳と自立を基本にした介護の重要性がますます高まっている。

そのため介護予防の意識づけと、介護知識・技術の普及・啓発並びに認知症予防を目的とした研修を実施した。更に、福祉用具の研修・展示・相談、なかでも、介護支援及び自立支援型ロボットの啓発や効果的な活用の普及を図った。

(1) 介護研修関係

(回、人)

| 研 修 名 | 対 象 者 | 回 数 | 参 加 者 |
|---------------------------|---------------------------------|-----|------------------------------|
| 見学コース (一般) | 県民・企業・海外他 | 24 | 570 |
| 介護入門コース (一般) | 県民・企業・海外他 | 78 | 2,255 |
| 介護予防教室(1日間) | 県民 | 18 | 559 |
| 介護技術教室(8日間) | 県民 | 3 | 689 |
| 認知症予防教室(1日間) | 県民 | 18 | 531 |
| 認知症介護教室(1日間) | 県民 | 12 | 304 |
| テーマ別教室(1日間) | 県民 | 10 | 263 |
| 福祉用具・介護ロボット地域普及・啓発事業(1日間) | 県民 | 9 | 1,098 |
| 公開介護教室(1日間) | 県民 | 4 | 1,044 |
| 福祉用具・介護ロボット等研修(1日間) | 介護支援専門員、福祉用具貸与事業者等 | 2 | 152 |
| 福祉用具プランナー研修(8日間) | 介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、介護福祉士等 | 1 | 36 |
| 福祉用具専門相談員指定講習会(7日間) | 福祉用具専門相談員を目指す者 | 1 | 26 |
| リフトリーダー研修(2日間) | 施設等で腰痛予防策を積極的に推進しようとする者 | 1 | 32 |
| 介護技術講師養成研修(11日間) | 特別養護老人ホーム・障害者支援施設等の介護福祉士、訪問介護員等 | 1 | 13 |
| 介護技術講師継続研修(1日間) | 介護技術講師 | 1 | 40 |
| 啓発及び情報提供 | 一般県民 | | パンフレット・リーフレットの配布、図書・ビデオの貸し出し |
| 合 計 | | 183 | 7,612 |

(2) 介護担当職員技術研修

(回、人)

| 研 修 名 | 対 象 者 | 回 数 | 参 加 者 |
|----------------------------------|--|-----|-------|
| 介護技術セミナー 看取りケアセミナー | 資格の有無は問わず | 1 | 79 |
| 介護技術セミナー ストーマ保有者のケア | 資格の有無は問わず | 1 | 27 |
| 摂食・嚥下セミナー(5日間) | 「食」に携わる医療、介護、福祉職等 | 1 | 46 |
| 排泄初級セミナー(5日間) | 排泄ケアに関わっている者、または今後今後関わる者 | 1 | 36 |
| 摂食・嚥下セミナーおよび排泄初級セミナー合同スキルアップセミナー | ① 摂食・嚥下セミナー、排泄初級セミナー受講者 ② 排泄ケアについて学びたい方 | 1 | 28 |
| 合 計 | | 5 | 216 |

(3) 訪問介護・通所介護事業所職員養成研修関係

(回、人)

| 研 修 名 | 対 象 者 | 回 数 | 参 加 者 |
|---|---|-----|-------|
| 介護保険事業所トップセミナー | 指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における開設者、管理者等 | 2 | 104 |
| サービス計画担当者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(4日間) | 指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者 | 2 | 163 |
| | | 2 | 42 |
| 介護職員現任者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(3日間) | 指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における現任の介護職員 | 2 | 65 |
| | | 2 | 26 |
| 障がい者(児)居宅介護職員養成研修(2日間) | 介護保険法に基づく訪問介護職員養成研修終了者で、現に従事している者、又はこれから従事する者 | 1 | 51 |
| 合 計 | | 11 | 451 |

(4) ノーリフティングケア普及促進事業

介護現場における職員の離職防止・定着促進及び生産性の向上などを目指して、ノーリフティングケア(持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア)の普及促進を図った。

ア マネジメント研修(7月6日:130人参加)

- ①施設長等の意識改革、②導入に係る組織体制・職員研修、③福祉機器導入支援
- イ 推進施設における実地研修（6回（8～10月）：30施設参加）
 - ①推進施設見学、②推進施設の取組、③導入検討施設の課題検討
- ウ 新規取組施設における実地研修（施設毎に4回（11～3月）：7施設参加）
 - ①導入に係る目的・目標設定、②教育担当者への技術指導、③今後の取組への助言

【介護ロボット普及推進班事業】

おおいた介護ロボット導入促進事業

介護職員の負担軽減のため、福祉施設等へ介護ロボットの無料貸出しを行い、その有用性を実感してもらうことにより、福祉施設での導入促進を図った。

《貸出介護ロボット》

- ①ロボットスーツHAL（介護支援腰タイプ）、②ロボヘルパーSASUKE、③施設向けみまもりシステム、④リフト付きシャワーキャリー、⑤ロボットアシストウォーカーRT. 1、⑥服薬支援ロボ

《貸出実績》

17施設（21台）への貸出を実施

【高齢者総合相談事業】

急速に進行する高齢社会に対応するため、高齢者やその家族が日常生活において抱える心配ごと・悩みごと、また介護の問題や福祉用具、高齢者が住みやすい住宅の改修などの相談に応じた。また、情報の収集や提供をすることにより、高齢者及びその家族の福祉の増進に努めた。

(1) 相談事業

- ① 日常生活における心配ごと・悩みごとなどの一般相談
- ② 法律、年金、税金、医療・介護・機能回復、認知症介護、排泄ケア、住宅増改築の専門相談
- ③ 相談件数 5, 753件
 - 電話 2, 251件
 - 来所 3, 502件

(内訳)

(件、%)

| | 生活安全 | 法律 | 経済 | 福祉サービス | 保健・医療 | 計 |
|----|-------|------|------|--------|-------|--------|
| 電話 | 753 | 155 | 86 | 985 | 272 | 2,251 |
| 来所 | 371 | 24 | 22 | 2,957 | 128 | 3,502 |
| 計 | 1,124 | 179 | 108 | 3,942 | 400 | 5,753 |
| 割合 | 19.5% | 3.1% | 1.9% | 68.5% | 7.0% | 100.0% |

(相談件数の推移)

| 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 4,565件 | 5,345件 | 6,237件 | 4,726件 | 5,212件 | 5,753件 |

(2) 福祉情報の収集・提供

- ① 大分県高齢者総合相談センターホームページに研修、利用者情報を掲載
- ② 「相談窓口のごあんない」を作成し、関係機関に配布
- ③ 広報紙「大分県社会福祉介護研修センターだより」や、新聞広告による情報提供
- ④ 相談業務担当職員に対する研修の実施 2回 113名

(3) 啓発事業

- ① 生活・介護用品アイデア作品展

福祉専門校、福祉施設や一般から募集した介護用品について、独自の工夫等により介護者の負担の軽減を図ったアイデア作品を展示した。

出品数 37点

(4) 福祉用具等の相談内容 (件、%)

| 項目 | 件数 | 率 | 項目 | 件数 | 率 |
|---------|-----|------|------------|-------|-------|
| 排泄 | 182 | 6.9 | 被服 | 184 | 7.0 |
| 入浴 | 399 | 15.1 | 自助具 | 203 | 7.7 |
| 移動 | 607 | 23.0 | コミュニケーション | 218 | 8.3 |
| 移乗 | 329 | 12.5 | ユニバーサルデザイン | 30 | 1.1 |
| ベッド、床ずれ | 187 | 7.1 | 住宅改修等 | 298 | 11.3 |
| 合計 | | | | 2,637 | 100.0 |

(5) 高齢者の居住環境の改善に関する啓発

住宅改造モデル展示場のリーフレットなどによる啓発と具体的な相談対応などの活用

(6) 障がい者への専門相談の実施

障がい者やその家族から「障がい者110番」(大分県障害者社会参加推進センターが実施している障がい者の相談窓口)に相談のあった中で、障がい者の人権や財産侵害、年金、労災などの相談に対して弁護士による専門相談を行った。

・相談件数：1件

(7) 関係機関との連携

地域包括支援センター、在宅介護支援センター、地域総合相談支援センター、保健所、福祉事務所、市町村社協など関連機関と随時情報交換を行い、各種相談に応じた。

・相談件数：418件

総務・人材部

【福祉人材センター事業】

福祉関係の求人・求職の紹介・斡旋、情報提供、人材確保に関する実態調査や青少

年の福祉の心醸成事業などを実施して、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

- ① 情報提供 求人情報一覧の配布（毎月）
 求人票の掲示（福祉人材センター内）
 「福祉のお仕事」での求人情報の掲載（インターネット）
 介護研修センターホームページへの求人・求職者情報の掲載

② 月別求職・求人・紹介・就職状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 相談(件) | 185 | 189 | 254 | 222 | 172 | 229 | 313 | 203 | 179 | 287 | 237 | 206 | 2,676 |
| 求職(名) | 24 | 51 | 26 | 39 | 41 | 61 | 36 | 34 | 50 | 37 | 44 | 36 | 479 |
| 求人(件) | 103 | 83 | 122 | 198 | 116 | 141 | 179 | 89 | 165 | 183 | 133 | 116 | 1,628 |
| (名) | 239 | 127 | 238 | 392 | 180 | 243 | 340 | 151 | 296 | 343 | 214 | 201 | 2,964 |
| 紹介(名) | 4 | 4 | 4 | 0 | 7 | 5 | 9 | 13 | 15 | 5 | 13 | 18 | 97 |
| 就職(名) | 4 | 2 | 0 | 0 | 3 | 4 | 5 | 11 | 17 | 7 | 6 | 12 | 71 |

(2) 福祉職場への就職説明会の実施

- ① 2018年夏 福祉のしごと就職フェアの開催
 会場：大分県社会福祉介護研修センター
 期日：平成30年8月5日（日）
 参加者：339名（学生121名、一般求職者44名、職安等11名、事業所163名）
 内容：合同面談会（参加事業所：87事業所）
 相談コーナー（福祉の仕事・資格取得方法など）
 就職決定者数：28名
- ② 2019年春 大分・別府・由布地域 福祉のしごと就職フェアの開催
 会場：大分県社会福祉介護研修センター
 期日：平成31年2月9日（土）
 参加者：241名（学生18名、一般求職者92名、職安等5名、事業所126名）
 内容：合同面談会（参加事業所：65事業所）
 相談コーナー（福祉の仕事など）
 就職決定者数：15名
- ③ 保育のしごと就職フェア
 会場：大分県社会福祉介護研修センター
 期日：平成31年2月9日（土）
 参加者：57名（学生6名、一般求職者18名、事業所33名）
 内容：合同面談会（参加事業所：25事業所）

相談コーナー（保育の仕事・資格取得方法など）
就職決定者数：2名

(3) 福祉人材確保推進事業の実施

① 大分県福祉人材確保推進会議の開催

福祉、特に介護労働の人材確保を図るため、課題の共有化、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催した。

期 日：平成31年1月25日（金）

内 容：平成30年度の取り組み状況等について

委 員：県（高齢者福祉課、障害福祉課、雇用労働政策課）、大分労働局、大分公共職業安定所、介護労働安定センター大分支部、社会福祉法人経営者協議会、老人福祉施設協議会、老人保健施設協会、知的障害者施設協議会、身体障害児者施設協議会、介護福祉士会、智泉福祉製菓専門学校、別府溝部学園短期大学、県立大分南高校の各代表者

② 再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する者等を対象に介護技術や認知症の介護の研修を実施することを通して、就職支援を図った。

期 日：平成31年2月7日、14日、19日、21日の4日間

内 容：介護サービスの基本視点、介護現場のリーダーから、介護技術

参加者：4名（延12名）

③ 子どものための福祉講座（青少年福祉の心醸成事業）

県内の小・中・高校生を対象に車いす、アイマスク体験等福祉の入門講座を開催し、福祉を体験する機会を提供することにより福祉に対する理解と関心を深め「福祉の心」の一層の醸成を図ることを目的に実施した。

ア 介護研修センター実施分

実 施 主 体：大分県社会福祉介護研修センター

実 施 回 数： 12回

参加延人数： 878名

| | ジュニア基礎コース | | 親子ふれあい スクール |
|-------|--|--|----------------|
| | 半 日 コ ー ス | 1 日 コ ー ス | |
| 対 象 者 | 小・中・高校生 | 小・中・高校生 | 小学生・保護者 |
| 実施場所 | 大分県社会福祉介護研修センター、公民館、小学校 | | |
| 実施回数 | 小学生 10回 中学生 0回 高校生 0回 計 10回 | 小学生 1回 中学生 0回 高校生 0回 計 1回 | 1回 |
| 受講者数 | 小学生 689名 中学生 0名 高校生 0名 計 689名 | 小学生 162名 中学生 0名 高校生 0名 計 162名 | 27名 |

イ 地域実施分

実 施 主 体：市町村社会福祉協議会

実施回数： 52回

参加延人数： 3,149名

| | | |
|------|------------------------------------|------------|
| | 福祉巡回教室 | 親子ふれあい入門教室 |
| 対象者 | 小・中・高校生 | 小学生・保護者等 |
| 実施場所 | 9地域（市町村社協） | |
| 実施回数 | 小学生38回 中学生9回 高校生0回 計47回 | 計5回 |
| 受講者数 | 小学生2,361名 中学生525名 高校生0名 計2,886名 | 計263名 |

(実施内容)

| 区分 | 実施日 | 実施団体名 | 参加者 | 実施内容 |
|--------|----------------------|-----------------------------|----------------|-----------------------|
| 福祉巡回教室 | 6月6日 | 千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 22名 (小学生) | 認知症サポーター養成講座 |
| | 6月9日 | 弥生児童館 (佐伯市社会福祉協議会) | 33名 (小学生) | アイマスク体験、点字体験、読み聞かせ |
| | 6月13日 | 千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 22名 (小学生) | 高齢者疑似体験 |
| | 6月28日 | 護江小学校 (杵築市社会福祉協議会) | 82名 (小学生) | 手話体験 |
| | 6月29日 | 蒲江翔南中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 52名 (中学生) | 車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験 |
| | 7月19日 | 彦陽中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 28名 (中学生) | 車いす体験、アイマスク体験 |
| | 7月23日 | 姫島中学校 (姫島村社会福祉協議会) | 15名 (中学生) | デイスーパー実習（車いす、食事介助他） |
| | 8月3日 | 杵築市内幼稚園・小学生 (杵築市社会福祉協議会) | 100名 (小学生) | 車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験 |
| | 8月29日 | 津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 25名 (小学生) | 手話交流会 |
| | 8月31日 | 八幡小学校 (大分市社会福祉協議会) | 29名 (小学生) | 車いす体験 |
| | 9月7日 | 野津原小学校 (大分市社会福祉協議会) | 29名 (小学生) | 点字体験、福祉講話 |
| | 9月11日 | 鶴谷中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 76名 (中学生) | 車いす体験、高齢者疑似体験、介護用品展示 |
| | 9月12日 | 鶴谷中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 76名 (中学生) | 車いす体験、高齢者疑似体験、介護用品展示 |
| | 9月14日 | 東雲中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 7名 (中学生) | 車いす体験、手話体験、福祉講話 |
| 9月14日 | 碩田学園 (大分市社会福祉協議会) | 95名 (小学生) | 点字体験、福祉講話、手話体験 | |

| | | | | |
|--------|-------------------------|-------------------------|------------------|--------------------------|
| 福祉巡回教室 | 9月19日 | 森岡小学校 (大分市社会福祉協議会) | 40名 (小学生) | 福祉講話、点字体験、 盲導犬学習 |
| | 9月21日 | 金池小学校 (大分市社会福祉協議会) | 125名 (小学生) | 福祉講話、点字体験、 手話体験 |
| | 9月26日 | 鶴見中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 19名 (中学生) | 車いす体験、高齢者疑似 体験 |
| | 9月28日 | 川添小学校 (大分市社会福祉協議会) | 54名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体 験、盲導犬学習 |
| | 10月 3日 | 桃園小学校 (大分市社会福祉協議会) | 67名 (小学生) | 福祉講話、点字体験 |
| | 10月 5日 | 下郡小学校 (大分市社会福祉協議会) | 137名 (小学生) | 福祉講話、点字体験、 盲導犬学習、手話体験 |
| | 10月 9日 | 津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 49名 (小学生) | 高齢者疑似体験 |
| | 10月12日 | 横瀬小学校 (大分市社会福祉協議会) | 71名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体 験、点字体験 |
| | 10月16日 | 明治北小学校 (大分市社会福祉協議会) | 88名 (小学生) | 福祉講話、盲導犬学習、 手話体験 |
| | 10月19日 | 駕野小学校 (大分市社会福祉協議会) | 43名 (小学校) | 車いす体験、点字体験、 福祉講話 |
| | 10月23日 | 木立小学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 7名 (小学生) | 車いす体験、高齢者疑似 体験 |
| | 10月23日 | 堅徳小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 49名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体 験、交流会 |
| | 10月26日 | 津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 49名 (小学生) | 認知症サポーター養成講 座 |
| | 10月29日 | 安心院小学校 (宇佐市社会福祉協議会) | 24名 (小学生) | 高齢者疑似体験 |
| | 10月29日 | 千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 20名 (小学生) | 障がい学習 |
| | 10月30日 | 石垣小学校 (別府市社会福祉協議会) | 81名 (小学生) | 福祉講話、盲導犬学習 |
| | 10月30日 | 宗方小学校 (大分市社会福祉協議会) | 80名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体 験、点字体験 |
| | 10月30日 | 堅徳小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 18名 (小学生) | 認知症サポーター養成講 座 |
| | 11月 2日 | 津留小学校 (大分市社会福祉協議会) | 78名 (小学生) | アイマスク体験、点字体 験 |
| | 11月 5日 | 南大分小学校 (大分市社会福祉協議会) | 106名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体 験、車いす体験 |
| 11月 5日 | 津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 49名 (小学生) | 高齢者施設交流会 | |
| 11月 5日 | 千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 19名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体 験 | |

| | | | | |
|--------|--------|-------------------------|---------------|------------------------------------|
| 福祉巡回教室 | 11月6日 | 石垣小学校 (別府市社会福祉協議会) | 81名 (小学生) | 福祉講話、アイマスク体験 |
| | 11月6日 | 堅徳小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 17名 (小学生) | 高齢者疑似体験 |
| | 11月14日 | 中部中学校 (別府市社会福祉協議会) | 166名 (中学生) | 福祉講話 |
| | 11月14日 | 千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 19名 (小学生) | 車いす体験 |
| | 11月15日 | 上人小学校 (別府市社会福祉協議会) | 48名 (小学生) | 福祉講話、車いす体験、 盲導犬学習 |
| | 11月20日 | 上野小学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 23名 (小学生) | アイマスク体験 |
| | 11月26日 | 津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会) | 49名 (小学生) | 車いすバスケット選手と の交流会 |
| | 12月1日 | 春木川小学校 (別府市社会福祉協議会) | 327名 (小学生) | 車いす体験、福祉講話、 盲導犬学習、アイマスク 体験 他 |
| | 12月11日 | 渡町台小学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 106名 (小学生) | 車いす体験、高齢者疑似 体験、アイマスク体験 |
| | 1月22日 | 佐伯南中学校 (佐伯市社会福祉協議会) | 86名 (中学生) | 車いす体験、アイマスク 体験 |

| | | | | |
|----------------|----------------|------------------------------------|---------------|---|
| 親子ふれあい 入門教室 | 9月11日 | 賀来小学校 (大分市社会福祉協議会) | 105名 (小学生) | 手話体験、福祉講話、盲 導犬学習、アイマスク体 験 |
| | 10月27日 ～28日 | 臼杵小学校 (臼杵市社会福祉協議会) | 40名 (小学生) | 障がい児交流 |
| | 12月1日 | 上北小学校 (臼杵市社会福祉協議会) | 67名 (小学生) | 福祉講話 |
| | 12月6日 | 野上小学校 (九重町社会福祉協議会) | 34名 (小学生) | 福祉講話、手話体験 |
| | 3月16日 | 姫島村青少年健全育成村民 会議 (姫島村社会福祉協議会) | 17名 (小学生) | 福祉講話、車いす体験、 アイマスク体験、介護実 習、高齢者疑似体験 |

④ 調査・研究事業の実施

ア 県内の社会福祉施設等での職員採用や退職の実態、中高年齢者の受入状況、さらには人材確保や定着のための対策等を調査して今後の人材確保に資するため「社会福祉施設等における人材確保に関する調査」を実施した。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「福祉の仕事・資格ガイドブック」(改訂版)を作成した。

(4) 人材確保特別推進事業の実施（※詳細は社会福祉従事者研修に掲載）

① 社会福祉施設等新任職員研修及び新任介護担当職員研修の開催

ア 社会福祉施設等新任職員研修

社会福祉従事者として必要な基礎知識、心得や福祉の理念及び介護技術等を習得するとともに、自己啓発を図ることを目的として実施した。

期 日：平成30年4月19日～5月18日 計5日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：149名

内 容：講義・演習

イ 社会福祉施設等新任介護担当職員研修

介護業務に携わる職員の均質化を図るとともに、サービスの全体の質の向上を図ることを目的に実施した。

期 日：平成30年4月26日～6月30日 計5日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：62名

内 容：講義・演習・実技講習

② 資格取得試験準備講習会の開催

ア 社会福祉士養成講座

平成30年度（第31回）社会福祉士国家試験の受験対策に資するため、社会福祉士会と協力し受験対策講座を実施した。

期 日：平成30年9月8日～10月22日 計11日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：講座 51名 模試 103名

内 容：講義19科目、模擬試験

【福祉・介護人材確保対策事業】

福祉・介護職員等の福祉人材の確保・定着を図るため、小規模な事業所が共同して合同研修を行うことができるような事業所連携の支援事業や、福祉に関心のある者に対して職場を体験する機会を提供し、福祉職場への参入を促した。

また、ハローワーク等での相談や事業所訪問を通じて福祉・介護人材のマッチング支援を行った。

(1) 複数事業所連携研修事業

複数の小規模事業所がネットワークを形成（1ユニット 5事業所以上）し、共同で合同研修等を行うことによりキャリアアップ開発等を支援し、福祉・介護人材の

確保・育成を図った。

① 支援した施設・事業所

- ・大分県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会（東部圏域ブロック）
代表事業所 別福会・福祉の森 （ 9 事業所）
- ・杵築知恵袋
代表事業所 杵築中央病院 （ 5 事業所）
- ・うすきジャンクション
代表事業所 早稲田イーライフ臼杵 （ 9 事業所）
- ・大分市小規模看護多機能型居宅介護連絡会
代表事業所 看護多機能ホーム ふじっこ （14 事業所）
- ・豊後大野市認知症ケア研究会
代表事業所 天心堂おおの診療所 （ 7 事業所）
- ・おおいた個別ケア研究会
代表事業所 ヘルパーステーション想い （ 8 事業所）

(2) 職場体験事業

福祉・介護の仕事に関心を有する者に対して、職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供することにより、福祉・介護の仕事への関心を高め、人材の参入を促進した。

実施期間：平成30年6月1日から2月28日まで（うち原則3日間）

受入施設： 53施設（実数43施設）

体験者数： 80名（実数56名） 延べ124日（名、日）

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 計 |
|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 延人員 | 3 | 14 | 34 | 2 | 15 | 2 | 5 | 2 | 3 | 80 |
| 延日数 | 7 | 17 | 45 | 4 | 35 | 4 | 7 | 2 | 3 | 124 |

就職決定者数：20名

(3) 介護入門者研修

会場 大分県社会福祉介護人材センター

期日 平成30年11月3日、4日、18日、12月2日（4日間）

参加者 33名

内容 介護未経験かつ無資格の方が、日常に役立つ介護の知識や介護職としての必要な基本的な技術の実践的な手法を学ぶ。3時間の「基礎講座」と18時間の「入門講座」。 （合計21時間）

(4) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

福祉人材センターに福祉人材確保推進員3名を配置し、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を実施した。

① ハローワーク等における出張相談

大分を除く6ヶ所のハローワークで月1回（別府、日田は月2回）「福祉のしごと出張相談」を実施した。また、大分市内（ホルトホール大分）で月2回実施した。

ハローワーク等出張相談実績 (名)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 相談者総数 | 10 | 10 | 8 | 5 | 5 | 9 | 7 | 13 | 6 | 7 | 8 | 5 | 93 |
| ハローワーク別 | | | | | | | | | | | | | |
| 別府 | 4 | 5 | 6 | 1 | 5 | 7 | 7 | 8 | 4 | 3 | 7 | 2 | 59 |
| 日田 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 宇佐 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 5 |
| 中津 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| 佐伯 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 豊後大野 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| ホルトホール大分 | 6 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| 性別 | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 4 | 3 | 6 | 1 | 1 | 3 | 5 | 5 | 3 | 4 | 2 | 1 | 38 |
| 女性 | 6 | 7 | 2 | 4 | 4 | 6 | 2 | 8 | 3 | 3 | 6 | 4 | 55 |
| 福祉関係資格 | | | | | | | | | | | | | |
| 無資格者 | 7 | 5 | 2 | 2 | 2 | 8 | 6 | 8 | 6 | 5 | 6 | 3 | 56 |
| 有資格者 | 3 | 5 | 6 | 3 | 3 | 1 | 1 | 5 | 0 | 2 | 2 | 2 | 33 |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | |
| 10代 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20代 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 6 |
| 30代 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 14 |
| 40代 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 5 | 2 | 5 | 1 | 2 | 2 | 2 | 25 |
| 50代 | 5 | 2 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 4 | 2 | 3 | 2 | 1 | 31 |
| 60代 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 16 |

（「福祉関係資格」及び「年齢」には、不明の者は含まない。）

相談内容については「求人を知りたい」が38件（24.7%）、「福祉の仕事について知りたい」が59件（38.3%）、「資格の取得方法を知りたい」が28件（18.2%）、「職場体験事業について」が8件（5.2%）、「その他」が21件（13.6%）であった。

② その他の出張相談等

ア 出張相談・出張登録等

| 名称 | 月日 | 会場 | 相談者数 |
|---------------|-------|-----------------|------|
| 出張相談（進学ガイダンス） | 6月13日 | 大分国際情報高校 | 0名 |
| 合同企業就職相談会 | 6月19日 | 竹田市総合社会福祉センター | 2名 |
| 合同企業就職相談会 | 7月22日 | アストくにさき「アグリホール」 | 1名 |
| 出張相談 | 9月7日 | 介護労働安定センター | 29名 |
| 出張相談 | 9月11日 | 河野文化学園 | 10名 |
| 出張相談 | 10月7日 | 日田市役所 | 1名 |
| 出張相談 | 1月4日 | 河野文化学園 | 3名 |

| | | | |
|-----------|-------|-----------------|-----|
| 企業合同面談交流会 | 2月16日 | 竹田市総合社会福祉センター | 0名 |
| 企業合同面談交流会 | 3月23日 | アストくにさき「アグリホール」 | 1名 |
| 計(9回) | | | 47名 |

※ その他福祉人材確保推進員による就職決定者数 1名

③ 就職フェア等の開催

ア 豊肥地区福祉のしごと就職フェア

会場：豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの

期日：平成30年9月22日(土)

参加者：4名

内容：就職面接会(参加事業所：9事業所)

イ 県北地区福祉のしごと就職フェア

会場：宇佐市勤労者総合福祉センター さんさん館

期日：平成30年10月6日(土)

参加者：10名

内容：就職面接会(参加事業所：15事業所)

ウ 速見・杵築・国東地域福祉のしごと就職フェア

会場：日出町保健福祉センター

期日：平成30年11月17日(土)

参加者：15名

内容：就職面接会(参加事業所：11事業所)

エ 県南地区福祉のしごと就職フェア

会場：三余館

期日：平成30年12月1日(土)

参加者：6名

内容：就職面接会(参加事業所：16事業所)

※ 就職フェアによる就職決定者数

合計 2名

④ 事業所訪問

円滑な人材確保・定着や働きやすい職場づくりを支援するため、福祉人材確保推進員が県内の事業所を訪問し、人材確保や職員教育などについての指導、助言を行った。

【日田市福祉人材バンク事業】

(1) 福祉人材バンク事業

求職登録者への求人情報紙の配布(3ヶ月に1回)

日田市社会福祉協議会のホームページに求人情報一覧を掲載(7回)

求人確保のための施設訪問等実施 140回

月別求職・求人・紹介・就職状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 相談(件) | 16 | 19 | 14 | 17 | 37 | 15 | 20 | 17 | 14 | 19 | 16 | 20 | 224 |
| 求職(名) | 0 | 1 | 17 | 4 | 0 | 0 | 18 | 18 | 17 | 17 | 0 | 2 | 94 |
| 求人(件) | 35 | 28 | 39 | 29 | 30 | 35 | 29 | 28 | 34 | 47 | 29 | 33 | 396 |
| (名) | 58 | 37 | 70 | 49 | 38 | 56 | 50 | 38 | 69 | 83 | 40 | 60 | 648 |
| 紹介(名) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| 就職(名) | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

(2) 説明会・講習会等の実施

①就職フェア等の実施

ア 「2018 福祉のしごと 就職フェア」の開催

開催日：平成30年8月25日（土） 13:30～16:00

会場：日田市総合体育館・剣道場

参加者：14名（一般福祉職場希望者）

内容：合同面接会（参加事業所：10事業所）

相談コーナー設置

イ 「平成30年度介護職場就職支援講習会」の開催

開催日：平成30年12月8日（土） 10:00～12:30

会場：日田市総合保健福祉センター

参加者：4名

内容：講話、就職ガイド、施設見学

② 福祉人材確保相談事業の実施

・第1回 企業合同 ビジネス合コン面談交流会

開催日：平成30年10月6日（土） 12:30～16:00

会場：日田市役所7階 大会議室

内容：相談コーナー設置（相談来所者 4名）

③ 啓発、広報事業の実施

・機関誌の発行

「社協だより ひた」（日田市社会福祉協議会と共同発行）に福祉人材情報を掲載（年3回）

26,800部を作成し、市内全戸に配布

- ・福祉の就職フェアの広報
チラシ作成：新聞折り込み(21,900枚)、関係諸機関配布(1,620枚)
ケーブルテレビ、新聞2社に広告掲載
- ・関係市町との連携
日田市、玖珠町、九重町の広報誌に福祉人材情報を掲載
日田市公式ウェブサイト福祉人材センター・バンク情報の掲載

【自主研修事業】

- (1) 介護支援専門員実務研修受講試験受験準備講習会（講義3日・模擬試験1日）
平成30年度（第21回）介護支援専門員実務研修受講試験受験対策に資するため、受験準備講習会を実施した。

期 日：講義 平成30年7月1日、8日、15日 計3日間

模擬試験 平成30年8月19日

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：講義 ・介護支援分野 18名
 ・保健医療サービス分野 13名
 ・福祉サービス分野 12名
 ・模擬試験、解説 20名

【福利厚生センター事業】

福祉人材確保対策の一環として、民間社会福祉従事者等の福利厚生を充実することを目的に、平成6年度に設置された福利厚生センターへの加入促進を図るとともに、県内会員を対象とした会員交流事業などを実施した。

1 福利厚生センター事業の実施

(1) 会員の加入促進

① 加入勧奨事業

- ・福祉施設への戸別訪問

② 広報活動

- ・研修センターだより案内記事を掲載
- ・社会福祉施設長研修会参加者に資料配付
- ・県退職共済事業の説明会参加者に資料配付

③ 平成30年度の加入状況

73法人 168事業所 3,789名

(2) 会員の健康管理

生活習慣病予防検診費用助成 1,264名

(3) 会員の慶事のお祝い

| | |
|-------------|------|
| ① 永年勤続記念品贈呈 | 506名 |
| ② 出産お祝品贈呈 | 95名 |
| ③ 資格取得記念品贈呈 | 67名 |
| ④ 結婚お祝品贈呈 | 57名 |
| ⑤ 入学お祝品贈呈 | 152名 |

(4) 会員のリフレッシュ

| | |
|-------------|--------|
| クラブサークル活動助成 | 1,787名 |
|-------------|--------|

2 会員交流事業等の実施

(1) レジャー施設等利用補助券（1,000円相当）の発券

発券枚数：1,500枚 利用実績：1,037枚

指定施設：九州自然動物公園アフリカンサファリ、スギノイパレス、ラクテンチ、豊の国健康ランド、城島高原パーク、ハーモニーランド、うみたまご、くじゅう花公園、CITY SPA てんくう、元気の森（阿蘇ファームランド）

(2) 映画チケット（会員負担金 800円/枚）の発券

発券枚数：1,400枚（TOHOシネマズ全国共通券）

(3) 会員交流事業（37事業）

| 行事名 | 開催日 | 内 容 | 募集 | 申込 | 参加 |
|------------------------------|--------|-----------------------------|-----|------|-----|
| コンサート (9) | 5月26日 | 「TAO」コンサート | 20枚 | 193枚 | 20枚 |
| | 7月21日 | NUMBER SHOT 2018 | 20枚 | 63枚 | 20枚 |
| | 8月 3日 | 「MISIA」コンサート | 30枚 | 97枚 | 30枚 |
| | 8月28日 | 「郷ひろみ」コンサート | 20枚 | 47枚 | 20枚 |
| | 9月 7日 | 「さだまさし」コンサート | 30枚 | 136枚 | 30枚 |
| | 11月18日 | 「EXILE」コンサート | 20枚 | 109枚 | 20枚 |
| | 11月23日 | 「AAA」コンサート | 20枚 | 130枚 | 20枚 |
| | 12月21日 | 「葉加瀬太郎」コンサート | 20枚 | 171枚 | 20枚 |
| | 1月27日 | 「EXILE」コンサート | 20枚 | 141枚 | 20枚 |
| 観劇・ エンターテイ メント (11) | 5月～4月 | うみたまご年間パスポート | 50枚 | 222枚 | 50枚 |
| | 6月 9日 | 「立川談春」独演会 | 20枚 | 20枚 | 20枚 |
| | 7月29日 | 劇団四季「リトルマーメイド」 | 30枚 | 182枚 | 30枚 |
| | 8月18日 | 世界一受けたい授業 THE LIVE 恐竜に会える夏! | 20枚 | 53枚 | 20枚 |
| | 8月25日 | ディズニー・オン・アイス | 30枚 | 55枚 | 30枚 |
| | 9月28日 | 劇団四季「SONG&DANCE65」 | 20枚 | 86枚 | 30枚 |
| | 10月24日 | 舞台「魔界転生」 | 10枚 | 8枚 | 8枚 |
| | 11月23日 | 「綾小路きみまろ」ライブ | 30枚 | 165枚 | 30枚 |
| | 2月17日 | 爆笑お笑い in 別府フェス | 30枚 | 361枚 | 30枚 |
| | 3月 9日 | シルク・ドゥ・ザ・リョ「キュリオス」 | 25枚 | 171枚 | 25枚 |
| | 3月17日 | シルク・ドゥ・ザ・リョ「キュリオス」 | 25枚 | 157枚 | 25枚 |

| | | | | | |
|-------------|-------------------|------------------------------------|-------|------|------|
| スポーツ (4) | 5月13日 | フトバンク VS 日本ハム | 30枚 | 62枚 | 30枚 |
| | 6月17日 | フトバンク VS 広島カープ | 30枚 | 201枚 | 30枚 |
| | 8月11日 | フトバンク VS 日本ハム | 30枚 | 132枚 | 30枚 |
| | 12月～1月 | OBS ホール&木の花ガールズパック | 50枚 | 287枚 | 50枚 |
| グルメ (13) | 7月～9月 | つくみ満喫セット (ひゅうが井 食事券&つくみイルカ島入場券) | 50枚 | 339枚 | 50枚 |
| | 9月～11月 | 杉乃井ホテル「シーダ・パレス」ディナー券 | 30枚 | 239枚 | 30枚 |
| | 〃 | レゾナントホテル大分 ランチビュッフェ券 | 100枚 | 731枚 | 100枚 |
| | 〃 | ホテル日航大分オアシス利用券 | 100枚 | 265枚 | 100枚 |
| | 〃 | 木の花ガールズ食事券 (各店共通) | 100枚 | 312枚 | 100枚 |
| | 〃 | 湯布院ガーデンホテルランチ券 | 100枚 | 177枚 | 100枚 |
| | 〃 | 韓国苑 (グループ共通) 食事券 | 50枚 | 767枚 | 100枚 |
| | 〃 | 寿司めいじん (各店共通) 食事券 | 50枚 | 341枚 | 50枚 |
| | 2月～4月上旬 | イチゴ食べ放題 (40分) <杵築市> | 50枚 | 159枚 | 50枚 |
| | 〃 | イチゴ食べ放題 (40分) <大分市> | 50枚 | 353枚 | 50枚 |
| | 2月～3月 | レゾナントホテル大分 ランチビュッフェ券 | 50枚 | 970枚 | 90枚 |
| 〃 | 韓国苑 (グループ共通) 食事券 | 100枚 | 1161枚 | 100枚 | |
| 〃 | 寿司めいじん (各店共通) 食事券 | 50枚 | 500枚 | 50枚 | |

【介護支援専門員実務研修受講試験】

大分県から指定試験実施機関の指定を受け、介護支援専門員実務研修受講試験を次のとおり実施した。

- 1 試験日
平成30年10月14日 (日)
- 2 試験会場
大分大学 且野原キャンパス 大分市大字且野原700
- 3 受験申込期間
平成30年6月1日 (金) ～7月3日 (火)
- 4 合格発表
 - (1) 発表日時
平成30年12月4日 (火) 12時
 - (2) 掲示場所
 - ・社会福祉介護研修センターHP、県庁HP
 - ・県庁本館、県内各振興局の掲示板
- 5 受験者数等の状況
 - (1) 受験申込者数 549人
 - (2) 受験者数 495人
 - (3) 合格者数 69人 (合格率: 13.9%、全国平均: 10.1%)

6 主な業務内容

- ①試験会場の確保
- ②受験案内の作成、印刷
- ③試験概要の広報
- ④受験申込受付、申込書・受験整理票の整理
- ⑤受験資格審査、受験票発送
- ⑥試験対応（試験監督員への説明会、試験会場準備、試験問題袋詰、警備員の確保）
- ⑦採点集計業務、受験データ等チェック
- ⑧HP、掲示板等での合格発表、本人への合否通知
- ⑨試験結果の本人への簡易開示

社会福祉研修部

【社会福祉従事者等研修事業】

県市町村の福祉関係行政職員、社会福祉施設及び社会福祉協議会の役職員など、社会福祉従事者の資質向上のための研修を実施し、マンパワーの育成に努めた。

(1) 行政職員研修

| 研修名 | 対象者 | 日数 | 参加者 |
|-------------|------------|----|-----|
| 新任職員研修 | 着任後1年未満の職員 | 2日 | 92名 |
| 高齢者福祉担当職員研修 | 高齢者福祉担当職員 | 1日 | 44名 |
| 障がい福祉担当職員研修 | 障がい者福祉担当職員 | 1日 | 8名 |

(2) 社会福祉施設職員等研修

① 階層別研修

| 研修名 | 対象者 | 日数 | 参加者 |
|---------------|------------------------------------|----|------|
| 新任職員研修 | (前期) | 2日 | 140名 |
| | (後期) | 2日 | 128名 |
| 中堅職員研修 (Aコース) | 各職場において、中堅職員に相当する者 (Aコース、Bコースの選択制) | 2日 | 122名 |
| 中堅職員研修 (Bコース) | | 2日 | 111名 |
| 指導監督職員研修 | 指導監督職員 | 2日 | 66名 |
| 施設長研修 | 施設長 | 1日 | 62名 |
| 理事(長)研修 | 法人の理事長及び理事 | 1日 | 112名 |

② 職種別研修

| 研修名 | 対象者 | 日数 | 参加者 |
|---------------|-------------|----|-----|
| 高齢者福祉施設相談職員研修 | 高齢者福祉施設の相談員 | 1日 | 71名 |

| | | | | |
|---------------------|-----|--|-------|------|
| 新任介護担当職員 研修 | 前期 | 新任介護担当職員 | 3日 | 59名 |
| | 後期 | | 2日 | 56名 |
| 介護職員中堅研修 | | 介護担当職員(3年以上) | 1日 | 34名 |
| 障がい児(者)施設等職員研 修 | | 直接処遇職員 | 2日 | 70名 |
| 事務担当職員研修 | | 事務担当職員 | 2日 | 69名 |
| 給食担当職員研修 | | 給食担当職員 | 2日 | 112名 |
| 看護担当職員研修 | | 看護担当職員 | 1日 | 78名 |
| 介護支援専門員実務研修 | | 受講試験合格者 | 15日 | 79名 |
| 介護支援専門員 専門(更新)研修 | 課程Ⅰ | 6か月以上 | 9日 | 133名 |
| | 課程Ⅱ | 3年以上 | 8日4組 | 473名 |
| 介護支援専門員更新研修 | | 介護支援専門員証の有効 期間が1年以内に満了す る者(実務未経験者) | 11日3組 | 326名 |
| 介護支援専門員再研修 | | 介護支援専門員証の有効 期間が失効した者 | 11日3組 | 42名 |
| 相談支援従事者初任者研修 | | 相談支援専門員に従事す る者 | 5日 | 266名 |
| 相談支援従事者現任研修 | | 相談支援専門員の現任者 | 3日 | 91名 |

③ 課題別研修

| 研 修 名 | 対 象 者 | 日 数 | 参 加 者 |
|---------------------------|---|------|-------|
| 放課後児童支援員認定資格研 修 | 放課後児童支援員 | 4日2組 | 239名 |
| 認知症介護基礎研修 | 介護保険施設等の介護職 員 | 1日 | 103名 |
| 認知症介護実践者研修 | 介護保険施設等の実務者、 グループホームの計画策 定担当者就任予定者等 | 7日3組 | 207名 |
| 認知症介護実践リーダ-研修 | 介護保険施設等の実務者 | 10日 | 48名 |
| 認知症対応型サービス事業開 設者研修 | 開設者、代表者、役員 | 1日 | 9名 |
| 認知症対応型サービス事業管 理者研修 | 管理者の就任予定者 | 3日 | 65名 |
| 小規模多機能型サービス等計 画作成担当者研修 | 計画作成担当者、就任予 定者 | 2日 | 21名 |

| | | | |
|----------------------|---------------------------|----|-----|
| 〈介護支援専門員実践力向上 研修〉 | 介護支援専門員 | 1日 | 15名 |
| 〈福祉サービス人材育成研修〉 | 指導的職員、中堅職員、 人事担当者等 | 1日 | 31名 |
| 〈レジリエンス養成研修〉 | 社会福祉施設等職員、社 協職員で中堅以上の者 | 1日 | 37名 |

(3) 地域福祉活動従事者研修

① 社会福祉協議会職員研修

| 研 修 名 | 対 象 者 | 日 数 | 参 加 者 |
|----------|----------|-----|-------|
| 業務担当職員研修 | 福祉活動専門員等 | 1日 | 22名 |
| 事務担当職員研修 | 事務担当職員 | 1日 | 26名 |
| 理事（会長）研修 | 会長、理事 | 1日 | 13名 |

平成 30 年度大分県福祉サービス運営適正化委員会事業報告

大分県福祉サービス運営適正化委員会は、運営監視合議体と苦情解決合議体の 2 つの委員会により、日常生活自立支援事業の監視を通じ、同事業の適正な推進と利用者等からの苦情の適正な解決を図ることに努めた。

1 福祉サービス利用援助事業の監視

大分県社会福祉協議会から契約締結審査会や市町村社会福祉協議会の現物調査等日常生活自立支援事業の実施状況について報告を受け、本事業全般の監視を行った。

(1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、福祉サービス利用援助事業実施状況についての報告を受け、事業内容や個別ケースについて必要に応じて助言を行う。

※平成 30 年度は開催無し。

(2) 福祉サービス利用援助事業に係る現物調査

日常生活自立支援事業担当者とともに福祉サービス利用援助事業を行う社会福祉協議会を訪問し、現地にて調査を実施し、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス等関係書類の確認を行った。

(全調査者数：229 件)

| 対象期間 | 対象社協名 | 調査日 | 調査件数 |
|-----------------------------|--------------|--------------|------|
| 平成 30 年 4 月 ～平成 31 年 3 月 | 玖珠町 | 10 月 3 日(水) | 1 7 |
| | 九重町 | 10 月 3 日(水) | 1 4 |
| | 宇佐市 | 10 月 4 日(木) | 1 9 |
| | 豊後高田市 | 10 月 4 日(木) | 2 3 |
| | 姫島村 | 10 月 9 日(火) | 2 |
| | 国東市 | 10 月 9 日(火) | 7 |
| | 竹田市 | 10 月 10 日(水) | 1 8 |
| | 豊後大野市 | 10 月 10 日(水) | 1 3 |
| | 日出町 | 10 月 29 日(月) | 7 |
| | 津久見市 | 10 月 30 日(火) | 7 |
| | 臼杵市 | 10 月 30 日(火) | 1 3 |
| | 杵築市 | 11 月 8 日(木) | 8 |
| | 由布市 | 11 月 15 日(木) | 1 4 |
| | 別府市 | 11 月 15 日(木) | 8 |
| | 中津市 | 11 月 16 日(金) | 1 5 |
| | 佐伯市 | 11 月 19 日(月) | 1 4 |
| 大分市 | 11 月 20 日(火) | 1 3 | |
| 日田市 | 11 月 21 日(水) | 1 7 | |

2 福祉サービスに関する苦情の解決

福祉サービス利用者本人や家族などからの苦情や相談に対し、助言や関係機関につなぐなどの対応をした。また、福祉サービス提供事業所における苦情解決体制整備を促進するため、事業所を対象とする研修会を開催するとともに、直接事業所を訪問し体制整備の促進を図った。

(1) 苦情解決合議体の開催

審議案件無しのため、開催無し。

(2) 福祉サービスに関する苦情解決セミナーの開催

事業所段階での苦情解決が円滑に図られるように、社会福祉施設の苦情解決責任者や苦情受付担当者及び第三者委員を対象としたセミナーを開催し、苦情を福祉サービスの質の向上へどうつなげるのか等について研修し、以て現場における良質なサービス提供のための体制整備を促した。

| 開催年月日 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| 平成31年2月19日 9:50～16:00 | 参加者：120名 内容：1 「福祉サービスにおける苦情相談対応の実際と対応方法」 講師：淑徳大学総合福祉学部 准教授 山下興一郎 氏 |

(3) 会議・研修への参加

| 開催年月日 | 会議および研修会名 | 主催団体 |
|--------------------|-----------------------------|-------------------|
| 平成30年7月18日 | 平成30年度運営適正化委員会事業研究協議会 | 全国社会福祉協議会 |
| 平成30年12月10日 | 平成30年度九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議 | 佐賀県福祉サービス運営適正化委員会 |
| 平成30年10月30 ～31日 | 平成30年度 運営適正化委員会相談員研修会 | 全国社会福祉協議会 |

(4) 福祉サービス提供事業者等に対する巡回指導

施設からの相談等により、事業所を訪問し体制整備の促進を図るとともに適正な運営の支援を行った。

| 実施期間 | 種 別 | 件 数 |
|---------------------|--------|-----|
| 平成30年4月～ 平成31年3月 | 高齢者施設等 | |
| | 障害者施設等 | 1 |
| | 児童養護施設 | |
| | 計 | 1 |

(5) 広報・啓発等

各種研修等において制度の説明を行うとともにパンフレット等配付し、広く制度の周知を図った。

| 作成・配付物 | 主な配付先 |
|--------|--|
| パンフレット | 大分県介護研修センター介護教室、介護支援専門員実務研修、地域包括支援センター研修会、民生委員児童委員研修会、権利擁護・成年後見セミナー等 |
| ホームページ | 一般県民等 |

3 苦情等の受付及び対応等

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 受付件数(月別、受付方法別)

・受付方法は電話が最も多い。年間を通して、月平均2、3件(新規)の苦情件数となっている。

※「一般」には、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数を記入。

| | | 受 付 方 法 | | | | | | 計 | | 備 考 |
|------|-----|---------|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|
| | | 来 所 | | 電 話 | | 書 面 | | | | |
| | | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | |
| H30年 | 4月 | | | | 3 | | | | 3 | |
| | 5月 | 1 | | 1 | | | | 2 | | |
| | 6月 | 1 | | 4 | 2 | | | 5 | 2 | |
| | 7月 | | | | | | | | | |
| | 8月 | | | 4 | | | | 4 | | |
| | 9月 | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | |
| | 10月 | | | | 2 | | | | 2 | |
| | 11月 | | | 4 | 1 | | | 4 | 1 | |
| | 12月 | | | 2 | | | | 2 | | |
| H31年 | 1月 | | | 3 | 2 | | | 3 | 2 | |
| | 2月 | | | | | | | | | |
| | 3月 | | | 4 | | | | 4 | | |
| 合計 | | 2 | | 23 | 11 | | | 25 | 11 | |

(2) 平成30年度種別・申出人の属性

- 申出人のその他、代理人は友人・知人である。
- 高齢者分野・障がい分野から苦情や相談が多い。申出人は利用者本人と家族の割合が多い。
- その他分野の苦情には、病院、社協や生活保護に関するものが含まれる。
- 一般相談は、制度に関する質問などがある。

| 申出人 分野 | 利用者(本人) | | 家族 | | 代理人 | | 職員 | | その他 | | 合 計 | | 備 考 |
|-----------|---------|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|
| | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | その他 | |
| 高齢者 | 2 | 4 | 6 | 2 | | | | 1 | | | 8 | 7 | |
| 障がい | 7 | 1 | 4 | 1 | | | 1 | 1 | | | 12 | 3 | |
| 児 童 | | | 3 | | | | | | | | 3 | | |
| その他 | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | 1 | |
| 合 計 | 10 | 6 | 13 | 3 | | | 2 | 2 | | | 25 | 11 | |

(3) 種別並びに苦情内容の区分

- 苦情の内容としては、①サービス内容（職員の接遇）に関する内容が多かった。
- 被害・損害の内容としては、怪我による争いのものがあった。
- あっせんや通知に至るまでの苦情解決対応は無かった。

| 苦情の相手先 | 区 分 | 受 付 | 苦 情 苦情解決の結果 | | | | | | 一 般 相 談 |
|--------|-------------------|-----|------------------|------------------|------------------|--------|-------------|-------------|------------------|
| | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | |
| | | | 相 談 助 言 | 紹 介 伝 達 | あ っ せ ん | 通 知 | そ の 他 | 継 続 中 | |
| 合 計 | ①サービス内容（職員の接遇） | 6 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ②サービス内容（サービスの質や量） | 6 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③利用料 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ④説明・情報提供の不足 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | ⑤被害・損害 | 8 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | ⑥権利侵害 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ⑦その他 | 7 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 合 計 | 36 | 15 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |

(内訳)

| | | | | | | | | | |
|-------------|-------------------|---|---|---|--|--|--|--|---|
| 高 齢 者 | ①サービス内容（職員の接遇） | 0 | | | | | | | |
| | ②サービス内容（サービスの質や量） | 3 | 1 | 2 | | | | | |
| | ③利用料 | 0 | | | | | | | |
| | ④説明・情報提供の不足 | 3 | 1 | | | | | | 2 |
| | ⑤被害・損害 | 4 | 2 | 1 | | | | | 1 |
| | ⑥権利侵害 | 1 | 1 | | | | | | |
| | ⑦その他 | 3 | 3 | | | | | | |
| 障 が い | ①サービス内容（職員の接遇） | 4 | | 4 | | | | | |
| | ②サービス内容（サービスの質や量） | 3 | 1 | 2 | | | | | |
| | ③利用料 | 1 | | 1 | | | | | |
| | ④説明・情報提供の不足 | 2 | | 2 | | | | | |
| | ⑤被害・損害 | 2 | 2 | | | | | | |
| | ⑥権利侵害 | 0 | | | | | | | |
| | ⑦その他 | 2 | 1 | 1 | | | | | |
| 児 童 | ①サービス内容（職員の接遇） | 2 | 1 | 1 | | | | | |
| | ②サービス内容（サービスの質や量） | 0 | | | | | | | |
| | ③利用料 | 0 | | | | | | | |
| | ④説明・情報提供の不足 | 0 | | | | | | | |
| | ⑤被害・損害 | 1 | 1 | | | | | | |
| | ⑥権利侵害 | 0 | | | | | | | |
| | ⑦その他 | 0 | | | | | | | |
| そ の 他 | ①サービス内容（職員の接遇） | 0 | | | | | | | |
| | ②サービス内容（サービスの質や量） | 0 | | | | | | | |
| | ③利用料 | 1 | | 1 | | | | | |
| | ④説明・情報提供の不足 | 0 | | | | | | | |
| | ⑤被害・損害 | 1 | | | | | | | 1 |
| | ⑥権利侵害 | 1 | 1 | | | | | | |
| | ⑦その他 | 2 | | | | | | | 2 |

※1つのケースで区分が複数にまたがっているケースも、主たる区分のみを記入している。
(受付件数を、受付方法別や種別・属性別等の集計件数と合わせるため)

苦情受付件数 年次別推移

(単位：件、回)

| 区分／年度 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 苦情 | 3 | 20 | 18 | 23 | 11 | 28 | 23 | 27 | 28 | 27 | 26 | 50 | 36 | 40 | 42 | 14 | 38 | 38 | 25 | 517 |
| 一般 | 17 | 39 | 74 | 86 | 72 | 60 | 33 | 33 | 36 | 63 | 42 | 25 | 17 | 12 | 10 | 1 | 4 | 7 | 11 | 642 |
| 合計 | 20 | 59 | 92 | 109 | 83 | 88 | 56 | 60 | 64 | 90 | 68 | 75 | 53 | 52 | 52 | 15 | 42 | 45 | 36 | 1,159 |
| 対応延回数 | 21 | 142 | 121 | 137 | 97 | 100 | 103 | 162 | 141 | 228 | 230 | 203 | 119 | 126 | 120 | 33 | 123 | 114 | 72 | 2,392 |

※昨年度と比較すると相談件数は横ばいである。平均対応時間は30分～1時間。
 対応延回数から見ると、月平均10件程度の相談を受けた。

